SHARP　AQUOS

取扱説明書

液晶カラーテレビ

形　名

エル シー　エル

LC-60L5
LC-52L5
LC-46L5
LC-40L5

電子取扱説明書の使いかた⇒**54**ページ

リモコンの 取扱説明 ? を押すと、
電子取扱説明書が、
画面に表示されます。

テレビ台など
は別売りです。

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用前に「安全上のご注意」（**6** ページ）を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができるところに必ず保存してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と、保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。
- 基本部のセットイラストは、LC-60L5 で記載しています。

AQUOS City
AQUOSと暮らす喜びがもっと広がります。
http://aquos.jp/にアクセスし会員登録してください。

付属品

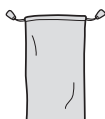
リモコン ×1

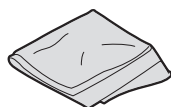
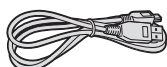
リモコン用乾電池※
（単３形乾電池）×2

※ アルカリ乾電池を
ご使用ください。

乾電池を入れて
使います。
⇒**45**ページ

3D メガネ ×1

メガネケース ×1

ノーズパッド大 ×1
ノーズパッド小 ×1
(出荷時取付済)

メガネ拭き用クロス ×1

USBケーブル
（1 m）×1

3D で見るときに使います。
⇒電子取説「目次から探す」−「映像・音声調整」−「3D メガネの使いかた」

B-CAS カード
赤 ×1

青 ×1

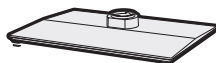
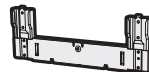
B-CASカードの台紙

（2011年6月現在）

- B-CAS カードは本体を覆っているシートに貼り付けられている **B-CAS パンフレットの袋の中の台紙**についています。
- 開封すると添付されている契約約款に同意したとみなされます。開封前に必ず契約約款をよくお読みください。

デジタル放送を見るときに使います。
⇒**27**ページ

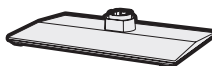
LC-60L5

スタンド ×1　スタンド金具 ×1　スタンドカバー ×1

スタンド取付ネジ
M5（5mm×14mm）×4

スタンド金具取付ネジ
M6（6mm×20mm）×4

スタンドカバー取付ネジ
M4（4mm×30mm）×2

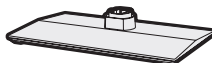
LC-52L5 ／ LC-46L5

スタンド ×1　スタンド金具 ×1　スタンドカバー ×1

スタンド取付ネジ
M5（5mm×14mm）×4

スタンド金具取付ネジ
M6（6mm×20mm）×4

スタンドカバー取付ネジ
M4（4mm×8mm）×1

LC-40L5

スタンド ×1　スタンド金具 ×1　スタンドカバー ×1

スタンド取付ネジ
M5（5mm×14mm）×3

スタンド金具取付ネジ
M6（6mm×20mm）×3

スタンドカバー取付ネジ
M4（4mm×8mm）×1

本機に取り付けます。⇒**24**ページ

取扱説明書※（本書）×1

かんたん !! ガイド※ ×1

保証書 ×1

※ 当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。
This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

別売品について

- 液晶カラーテレビ専用の別売品をとりそろえております。お近くの販売店でお買い求めください。
- 本機に適合する別売品が新しく追加発売になることがあります。また、新たに適合となる別売品もあります。ご購入の際には、最新のカタログで適合性をご確認いただき、販売店にご相談の上、お買い求めください。

（2011年6月現在）

No.	品　名	形　名	対応機種
1	システムラック	AN-65SR3	LC-60L5　LC-52L5 LC-46L5　LC-40L5
2	壁掛け金具	AN-52AG6	LC-60L5　LC-52L5 LC-46L5
3	壁掛け金具	AN-37AG4	LC-40L5
4	3D メガネ	AN-3DG10	LC-60L5　LC-52L5 LC-46L5　LC-40L5

◇**おしらせ**◇

- 壁に掛けて設置する場合は **84 〜 86** ページをご覧ください。この場合、付属のスタンドを取り付ける必要はありません。
- LC-60L5 の金具取付ピッチは 400mm × 400mm です。
- LC-52L5 の金具取付ピッチは 400mm × 400mm です。
- LC-46L5 の金具取付ピッチは 400mm × 400mm です。
- LC-40L5 の金具取付ピッチは 300mm × 300mm です。

もくじ

はじめにお読みください

設置・接続

基本の使いかた

故障かな？

お役立ち情報(仕様など)

English Guide

付　録

次の内容は、Web版取扱説明書(PDF)のみ掲載しています。

◇**おしらせ**◇
- Web 版取扱説明書は、AQUOS サポートステーション「Q&A 情報」からダウンロードできます。

  AQUOS サポートステーション
  http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

本書の表記について

- 電子取説　電子取扱説明書の説明をご覧いただくマークです。
- Web　Web 版取扱説明書(PDF)の説明をご覧いただくマークです。
- 本書に掲載している画面表示やイラストは説明用のものです。実際の表示とは多少異なります。
- 本書では、特に機種名を明示している場合を除いて LC-60L5 を例にとって説明しています。LC-52L5、LC-46L5、LC-40L5 は外形寸法などは異なりますが使いかたは同じです。

◇**おしらせ**◇
- 本機を廃棄または譲渡する場合には、個人情報の消去(初期化)をお願いします。(⇒ **79** ページ)

安全上のご注意

本機をお使いになる前に必ず読み、正しく安全にお使いください。

- この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、つぎのように区分しています。
- 内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

危険 人が死亡または重傷を負うおそれが高い内容を示しています。

警告 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

注意 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

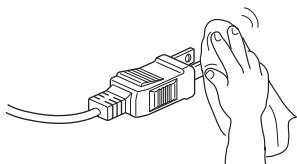
図記号の意味

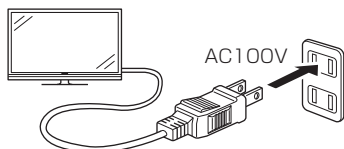
気をつける必要があることを表しています。

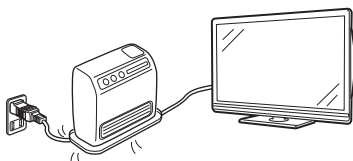
してはいけないことを表しています。

しなければならないことを表しています。

⚠警告

電源プラグの刃や刃の付近に、ホコリや金属物が付着しているときは、プラグを抜いて乾いた布で取り除く

- そのまま使用すると火災･感電の原因となります。

交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない

- 火災･感電の原因となります。

電源コードに重いものを載せたり、本機の下敷きにしたりしない

- 火災･感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたり、加熱したりしない

- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）交換をご依頼ください。そのまま使用すると、コードが破損して、火災･感電の原因となります。

本機の裏ぶたを外したり、改造したりしない

- 内部には電圧の高い部分があるため、さわると感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店にご依頼ください。

⚠警告

異物を入れない

禁止

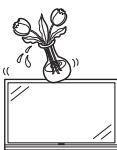
- 通風孔（裏ぶたのすき間）などからもの（可燃性･導電性のものを含む）を入れると、火災･感電の原因となります。特にお子様にはご注意ください。

不安定な場所に置かない

禁止

- 落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

本機の上に花びん等、水の入った容器を置かない

水ぬれ禁止

- 水がこぼれるなどして中に入ると、火災･感電の原因となります。

テレビに水が入るような使いかたをしたり、ぬらしたりしない

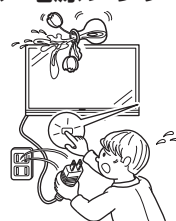
水ぬれ禁止

- 火災･感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

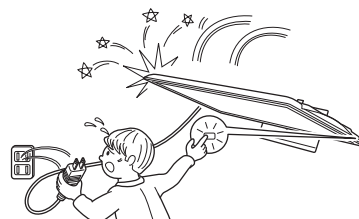
風呂やシャワー室では使用しない

風呂、シャワー室での使用禁止

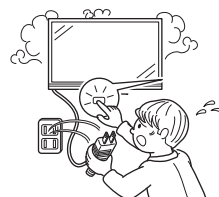
- 火災･感電の原因となります。

内部に水や異物が入ったときは、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- そのまま使用すると火災･感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

落としたり、キャビネットを破損したときは、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- そのまま使用すると火災･感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

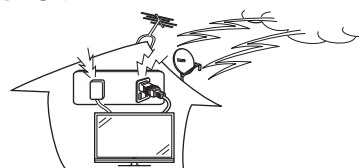
煙やにおい、音などの異常が発生したら、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

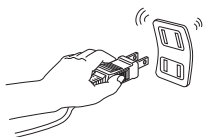
- 異常状態のまま使用すると火災･感電の原因となります。修理を販売店に依頼してください。
- お客様自身による修理は絶対におやめください。

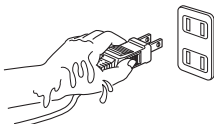
雷が鳴り出したら、アンテナ線やプラグに触れない

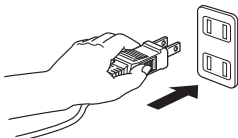
接触禁止

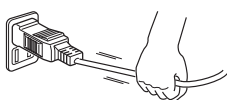
- 感電の原因となります。

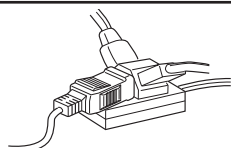
次のページに続く

⚠注意

電源プラグはゆるみのあるコンセントに接続しない

- 発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店に交換の依頼をしてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

- 感電の原因となることがあります。

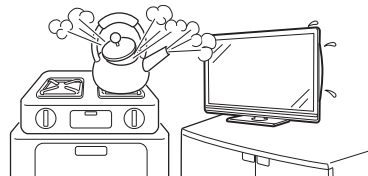
電源プラグは確実に差し込む

- 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ホコリが付着して火災·感電の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

- 電源コードが傷つき、火災·感電の原因となることがあります。

タコ足配線をしない

- 火災·感電の原因となることがあります。

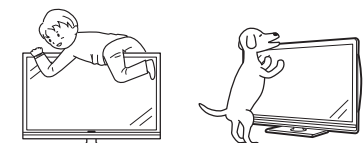
電源コードを熱器具に近づけない

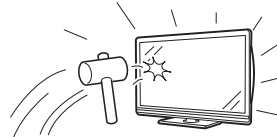
- 電源コードの被覆が溶けて火災·感電の原因となることがあります。

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かない

- 調理器具や加湿器などのそばに置くと、火災·感電の原因となることがあります。

風通しの悪いところに入れない·密閉した箱に入れない·じゅうたんや布団の上に置かない·布などをかけない

- 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

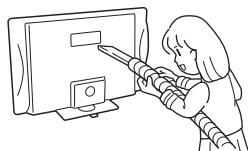
重いものを置いたり、上に乗ったりしない

- 倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。特にお子様やペットにはご注意ください。

液晶画面に衝撃を与えない(物を当てたり、先の尖ったもので突いたりしない)

- 液晶画面のパネルが割れることがあります。

スタンドの角度を調整するときは注意する

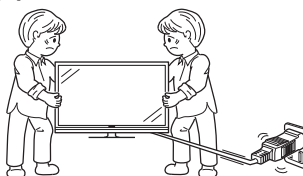
- 手や指がはさまれてけがの原因となることがあります。また無理に傾けると転倒して落下やけがの原因となることがあります。

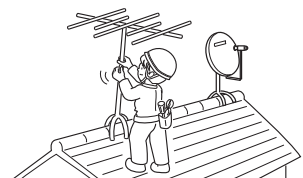
⚠注意

通風孔に付着したホコリやゴミをこまめに取り除く
内部の掃除は販売店に依頼する

- 内部や通風孔にホコリをためたまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。内部の掃除費用については、販売店にご相談ください。

お手入れのときや長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

- 感電や火災の原因となることがあります。

移動させるときは、接続されている線などをすべて外す

- 接続線を外さないで移動させると、電源コードが傷つき火災･感電の原因となることがあります。

アンテナ工事は、技術経験が必要ですので販売店にご相談ください

- 送配電線の近くに設置してしまうと、アンテナが倒れた際に感電の原因となることがあります。
- BS･110 度 CS デジタル放送受信アンテナは強風の影響を受けやすいので堅固に取り付けてください。

健康のために、次のことをお守りください

- 連続して使用する場合は、1 時間ごとに 10 分～ 15 分の休憩を取り、目を休ませてください。
- 新聞が楽に読める程度の明るさの場所で使用してください。
- 日光が画面に直接当たる所では使用しないでください。
- この製品を使用しているときに身体に疲労感、痛みなどを感じたときは、すぐに使用を中止してください。使用を中止しても疲労感、痛みなどが続く場合は、医師の診察を受けてください。
- ごくまれに、強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ている際に、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす方がおられます。このような経験のある方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。また本製品を使用しているときにこのような症状が起きたときは、すぐに使用を中止して医師の診察を受けてください。

免責事項

お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

次のページに続く

アルカリ電池についての安全上のご注意

⚠注意

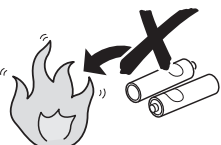
- 液もれ･破裂･発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

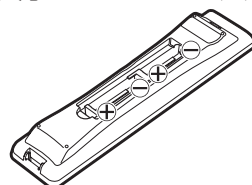
電池は幼児の手の届く所に置かない

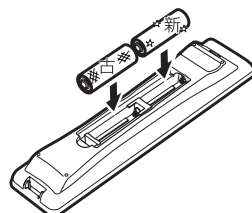
- 電池は飲み込むと、窒息の原因となったり、胃などに止まったりして大変危険です。
  飲み込んだおそれがあるときは、ただちに医師と相談してください。

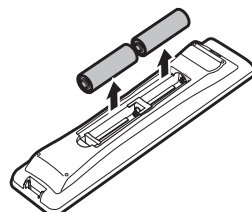
電池のアルカリ液がもれたときは素手でさわらない

- 電池のアルカリ液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- 皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師と相談してください。

電池は火や水の中に投入したり、加熱･分解･改造･ショートしない。乾電池は充電しない

- 電池の破裂･アルカリ液もれにより、火災･けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 電池の外装ラベルをはがしたり、傷つけないでください。発熱事故の原因となることがあります。

電池はプラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる

- 間違えると電池の破裂･アルカリ液もれにより、火災･けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

指定以外の電池を使わない。新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

- 電池の破裂･アルカリ液もれにより、火災･けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す

- 電池を入れたままにしておくと、過放電によりアルカリ液がもれ、故障･火災･けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

保存のしかた

- ⊕、⊖の方向をそろえて、低温で乾燥した涼しい場所および湿気の少ない風通しのよい場所に保存してください。

廃棄のしかた

- ⊕と⊖をセロハンテープで絶縁して廃棄します。各自治体によって「ゴミの捨てかた」が違います。地域の条例に従ってください。

3D メガネについての安全上のご注意

⚠危険

■ 加熱禁止について

3D メガネを火の中に入れたり、加熱したり、高温になる場所に放置したりしない

- 本製品はリチウムイオンポリマー充電池を内蔵しているため、発火·破裂による火傷や火災の原因になります。

3D メガネについての安全上のご注意

⚠警告

■ 3D メガネの電源供給について

雷が鳴り出したら、USB 電源供給での 3D メガネ使用を中止し、テレビ本体の USB 端子と 3D メガネの電源供給用端子から USB ケーブルを外す

- 感電の原因となります。

■ 充電について

充電時は、3D 映像に対応した当社製テレビの USB 端子に付属の USB ケーブルを接続して使用する

- 他の機器による充電は、電池の液もれや、発熱、破裂の原因になることがあります。

■ 分解禁止について

3D メガネを分解したり、改造しない

- 火災や視聴時の異常による体調不良の原因となります。

■ 誤飲防止について

付属のノーズパッドは、お子様の手の届く場所に置かない

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

■ 給電について

給電時は、3D 映像に対応した当社製テレビの USB 端子に USB ケーブルを接続して使用する

- 他の機器による給電は、電池の液もれや、発熱、破裂の原因になることがあります。

3D メガネについての安全上のご注意

⚠注意

■ 3D メガネについて

3D メガネに物を落としたり、力を加えたり、踏んだり、落としたりしない

- ガラス部分などが破損してけがの原因となることがあります。

- メガネのレンズが割れた際は、目や口に破片が入らないようにしてください。

3D メガネを装着時は、フレームの先端に注意する

- 目をついてけがの原因となることがあります。

3D メガネのヒンジ部に指をはさまないようにする

- けがの原因となることがあります。
- 特にお子様にご注意ください。

■ 3D 映像の視聴について

- 3D 映像の見え方には個人差があります。

光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人、酒気帯びの人は 3D メガネを使用しない

- 病状悪化の原因となることがあります。

体調がすぐれないときは、3D の視聴は控える

3D メガネで視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、使用を中止する

- そのまま視聴すると体調不良の原因となることがあります。適度な休憩をとってください。

- 休憩をとっても疲労感、不快感が取れない場合は、使用を中止してください。

次のページに続く

3D メガネについての安全上のご注意

⚠注意

■ 3D 映像の視聴について(つづき)

3D 映像(映画、ゲーム、パソコン等)をご覧になる場合は、1 時間程度を目安に適度に休憩をとる

- 長時間の視聴による目の疲れの原因となることがあります。
- 休憩に必要な長さや頻度は個人差がありますので、ご自身で判断ください。

3D メガネを使用しているときに誤ってテレビ画面や人をたたかない

- 3D 映像のため、画面との距離を誤り、画面をたたきけがの原因となることがあります。

3D の映像を見るときは 3D メガネを使用する

3D メガネは、両目を水平に近い状態で視聴する

近視や遠視の方、左右の視力が異なる方や乱視の方は、視力矯正メガネの装着などにより、視力を適切に矯正したうえで 3D メガネを使用する

3D メガネを装着中も映像が２重に見える状態が続くとき、立体感が感じにくいときは使用を中止する

- 長時間の使用による目の疲れの原因となることがあります。

3D の映像を見るときは画面の有効高さの 3 倍程度の視距離で見る

(推奨距離):

60V 型	2.2m 程度
52V 型	1.9m 程度
46V 型	1.7m 程度
40V 型	1.5m 程度

- 推奨距離より近距離でのご使用は目の疲れの原因となることがあります。

■ 3D メガネの使用について

- 3D メガネやレンズは精密部品です。
  取り扱いには十分ご注意ください。

3D メガネでの視聴年齢については、5 ～ 6 歳以上を目安にする

お子様が 3D メガネで視聴する場合は、必ず保護者が同伴する

- お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがあります。
- お子様が視聴の際は、保護者の方が目の疲れがないか、ご注意ください。

3D メガネを使用するときは周囲に壊れやすいものを置かない

- 3D 映像を実際のものに間違えて身体を動かし、周囲のものを破損してけがの原因となることがあります。

3D メガネをかけたまま移動しない

- 周りが暗くなり、転倒などによるけがの原因となることがあります。

3D メガネは、指定の用途以外には使用しない

3D メガネを割れた状態で使用しない

- けがや目の疲れの原因となることがあります。

3D メガネに異常･故障があったときは直ちに使用を中止する

- そのまま使用するとけがや目の疲れ、体調不良の原因となることがあります。

肌に異常を感じたら 3D メガネの使用を中止する

- ごくまれに塗料や材質でアレルギーの原因となることがあります。

鼻やこめかみが赤くなったり、痛み、かゆみを感じたら 3D メガネの使用を中止する

- 長時間の使用による圧力により発生することがあり、体調不良の原因となることがあります。

水ぬれ禁止

3D メガネに水をかけたりぬらしたりしない

- 故障の原因になります。

■ 3D メガネに給電しながら使用するとき

3D メガネをかけたまま移動しない

- ケーブルに引っ掛けるなど、テレビの転倒、けがの原因となることがあります。

USB ケーブルを 3D メガネにつないで使用するときは、周りの人が足を引っ掛けることがないように注意する

- テレビの転倒、けがの原因になることがあります。

使用上のご注意

守っていただきたいこと

キャビネットのお手入れのしかた

- 汚れは柔らかい布(綿、ネル等)で軽く拭きとってください。化学雑巾(シートタイプのウエット・ドライのものも含め)を使うと本体キャビネットの成分が変質したり、ひび割れなどの原因となる場合があります。
- 硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、キャビネットの表面に傷がつきます。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした柔らかい布(綿、ネル等)をよく絞って拭きとり、柔らかい乾いた布で仕上げてください。
- キャビネットにはプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどで拭いたりすると変質したり、塗料がはげることがあります。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

液晶ディスプレイパネルのお手入れのしかた

AQUOSクリーニングクロス推奨品
24×24cm:
CA300WH1※
40×30cm:
CA300WH2※

※ 販売店またはシャープホームページ内のシャープいい暮らしストア(ネット販売)でお求めください。

- お手入れの際は、必ず本体の電源スイッチを「切」にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- ディスプレイパネルの表面は、柔らかい布(綿、ネル等)で軽く乾拭きしてください。ディスプレイパネルの保護のため、ホコリのついた布や洗剤、化学雑巾(シートタイプのウエット・ドライのものも含め)などを使わないでください。パネルの表面がはく離することがあります。
- 硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、パネルの表面に傷がつきます。
- 汚れがひどい場合は、柔らかい布(綿、ネル等)を軽く水で湿らせて、そっと拭いてください。(強くこすったりすると、ディスプレイパネルの表面に傷が付きます。)
- ディスプレイパネルの表面にホコリがついた場合は、市販の除塵用ブラシ(静電気除去ブラシ)をお使いください。

3D メガネのお手入れのしかた

- お手入れの際は、付属のメガネ拭き用クロスをご使用ください。クロスにほこりなどが付着していると、製品に傷がつきます。ご使用前にほこりなどをはらってください。なお、ベンジンやシンナーなどは、塗装がはがれる原因になりますので、使用しないでください。
- お手入れの際に、3D メガネを水などの液体につけないでください。
- 保管の際は、湿度の高いところや、温度が高くなるところを避けてください。

静止画を長時間表示しないでください

- 残像の原因となることがあります。

取扱い上のご注意

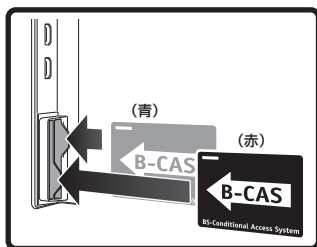
- 液晶画面を強く押したり、ボールペンのような先の尖ったもので押さないでください。また、落としたり強い衝撃を与えないようにしてください。特に液晶画面のパネルが割れたり、傷がつく原因となります。
- 振動の激しいところや不安定なところに置かないでください。また、絶対に落としたりしないでください。故障の原因となります。

次のページに続く

守っていただきたいこと

ステッカーやテープなどを貼らないでください

- キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。

B-CAS カードは 2 枚挿入し、必要なときだけ抜き差しする

- 必要以外に抜き差しすると故障の原因となることがあります。
- B-CAS カードの中には IC チップが内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れたりしないでください。
- 本機に差し込むときは「逆差し込み」や「裏差し込み」にならないよう、上図のとおりに挿入してください。

使用が制限されている場所

- 航空機の中など使用が制限または禁止されている場所で使用しないでください。事故の原因となるおそれがあります。

国外では使用できません

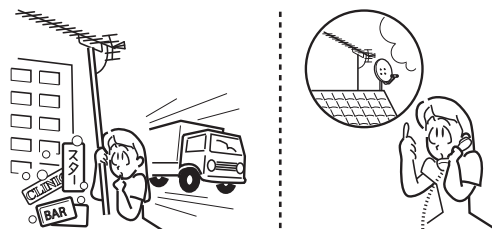
- この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。(This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.)

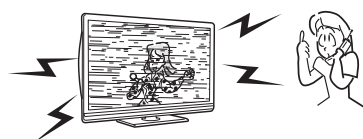
長期間ご使用にならないとき

- 長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

電源プラグを抜く

- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグを抜くときの手順は ⇒ **78** ページをご覧ください。

アンテナについて

- 妨害電波の影響を避けるため、交通のひんぱんな自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。
  万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。
- アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となりますのでご注意ください。BS·110 度 CS デジタル放送用のアンテナ線には、必ず BS·110 度 CS デジタル用アンテナケーブル（市販品）を使用してください。
- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧になれます。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、販売店にご相談ください。

電磁波妨害に注意してください

- 本機の近くで携帯電話、ラジオ受信機、トランシーバー、防災無線機などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

守っていただきたいこと

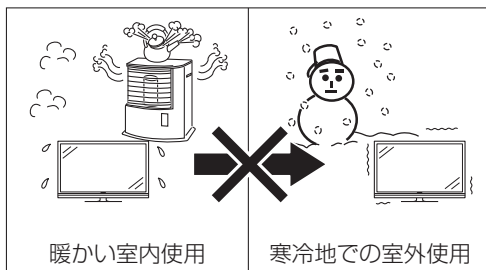
使用温度について

- 室温が 0℃～ 40℃の状態でご使用ください。室温の温度変化は、1 時間あたりの温度変化を10℃以内に保つことをおすすめします。寒冷地区でのご使用の場合は、特につゆつきにご注意ください。

結露(つゆつき)について

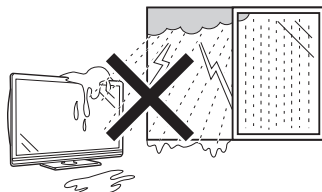
- 本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずにお待ちください。そのままご使用になると故障の原因となります。

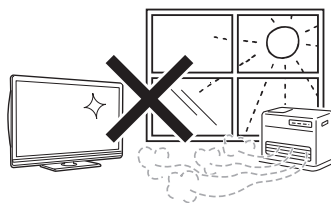
- 本機を冷え切った状態のまま室内に持ち運んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ(結露)、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。

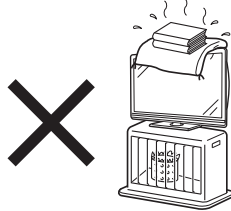
急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は避けてください

- 急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は、画面の表示品位が低下する場合があります。

低温になる部屋(場所)でのご使用の場合

- ご使用になる部屋(場所)の温度が低い場合は、画像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見えることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や液晶画面の故障の原因となります。(使用温度:0℃～ 40℃)

雨天・降雪中でのご使用の場合

- 雨天・降雪中でのご使用の場合は、本機をぬらさないようにご注意ください。

直射日光・熱気は避けてください

- 窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えます。

設置について

- 発熱する機器の上には本機を置かないでください。
- 本機の上には物を置かないでください。

次のページに続く

守っていただきたいこと

3D メガネの使用について

- 3D メガネの近くで強い電磁波を生じる機器（携帯電話、ハンディ無線機など）を使用しないでください。誤動作の原因となります。
- 高温あるいは低温では 3D メガネは十分な性能を発揮できません。使用温度をお守りください。（使用温度 10℃～ 40℃）
- 3D メガネは正しく装着してください。上下を反対にしたり、前後を逆にしたりすると、正しい立体像が見られません。
- 3D メガネをかけた状態では、ほかのディスプレイ（パソコン画面、デジタル時計、電卓など）の表示が見づらくなることがあります。3D 映像以外は、3D メガネを外して見てください。
- 3D メガネは、両目を水平に近い状態で視聴してください。横になったり顔を傾けたりすると、映像が暗くなったり 3D 効果を感じにくくなったりすることがあります。
- 蛍光灯などの照明によっては、ちらついて見えることがあります。このような場合は、蛍光灯を暗くしたり消したりして視聴してください。

無線ＬＡＮ使用上のご注意

無線 LAN をご利用の場合は、電波や個人情報などに関して守らなければならない注意事項があります。次の内容およびご使用の無線 LAN 機器の取扱説明書を必ずご覧になり正しくお使いください。
お客さま、または第３者使用による誤った使用、使用中に生じた故障、その他の不具合、この製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いません。

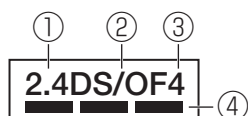
■ 電波に関する使用上のご注意

- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合認証を受けたモジュールを内蔵しています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。
- 本製品は、技術基準適合認証を受けたモジュールを内蔵していますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
  - 本製品を分解／改造すること
  - 内蔵している無線 LAN モジュールに貼ってある証明レーベルをはがすこと
- **本製品は、次の場所で使用しないでください。ノイズが出たり、送信／受信ができなくなる場合があります。**
  本機と同じ周波数帯（２．４GHz ／５GHz）を利用する無線通信機器である Bluetooth、無線 LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。（環境により電波が届かない場合があります。）

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業･科学･医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、お客様相談センター（⇒ **93** ページ）にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
- その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お客様相談センター（⇒**93**ページ）へお問い合わせください。

守っていただきたいこと

• 本製品に貼られているラベルの見かたは次のとおりです。

①使用周波数帯域	2.4GHz
②変調方式	DS-SS 方式 /OFDM 方式
③想定干渉距離	40m以下
④周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避可能

IEEE802.11b/g/n

IEEE802.11a/n

J52 W52 W53 W56

• W52（5.2GHz 帯　36、40、44、48ch）が利用できます。
• W53（5.3GHz 帯　52、56、60、64ch）が利用できます。
• W56（5.6GHz 帯　100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch）が利用できます。

※W 52 ／W 53 は、電波法により屋外での使用が禁止されています。

■ 個人情報（セキュリティー関連）に関する使用上の注意事項について

• 無線 LAN 機器をご利用の場合は、暗号設定有無に関わらず、電波を使用している関係上、傍受される可能性があります。
• 無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用して本機と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、通信内容を盗み見られる／不正に侵入されるなどの可能性があります。
無線アクセスポイントの取扱説明書の手順に従って、セキュリティー設定をおこなった状態で、本機をお使いください。
• 無線接続設定時に利用権限がない機器およびネットワークとの接続をしないでください。
• 第三者に譲渡したり廃棄するなどお客様以外の方へ渡る場合は、無線設定情報を初期化してください。（⇒ホームメニューから「設定」ー「（視聴準備）」ー「通信（インターネット）設定」ー「LAN 設定」ー「無線設定」または **79** ページ（個人情報初期化）

■ その他

• 一般的な無線ＬＡＮ機器として、ご家庭宅内でお使いください。
  – 機密を要する重要な通信や、人命に関わる通信など、重要な通信には使用しないでください。
  – 病院内や医療機器のある場所やその近くで使用しないでください。
• すべての住宅環境でワイヤレス接続、性能を保証するものではありません。
次のような場合は、電波が届かなくなったり、電波が途切れたり通信速度が遅くなることがあります。
  – コンクリート、鉄筋、金属が使われている建造物での利用
  – 障害物の近くへの設置
  – 同じ周波数を利用する無線通信機器との干渉
  – 電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ
• 本機は次の認証を取得しています。
  – IEEE802.11a/b/g/n（WPA2™）（Wi-Fi アライアンスの認定プログラム）
  – Wi-Fi Protected Setup™（Wi-Fi アライアンスの認定プログラム）
• 無線 LAN を利用するためには無線 LAN アクセスポイントが必要になります。アクセスポイントの取扱説明書をご覧いただき設置･設定を行ってください。
• 本機に USB 無線 LAN アダプターを使用すると電波法に準拠しない電波を発する可能性がありますので、USB 無線 LAN アダプターは使用しないでください。
• くわしくは、SHARP Web ページ内の AQUOS サポートステーション「Q&A 情報」をご覧ください。

AQUOS サポートステーション
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

廃棄するときのお願い

充電式電池のリサイクルご協力のお願い

- 充電式電池はリチウムイオンポリマー充電池を使用しています。
- この電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
- 電池の交換、廃棄に際してはリサイクルにご協力ください。

Li-ion 00

リチウムイオンポリマー充電池のリサイクルマークです。

- ご使用済みの電池は､｢当店は充電式電池のリサイクルに協力しています。｣のステッカーを貼ったシャープ商品取扱い店へご持参ください。
- リサイクルのときは、次のことにご注意ください。
  - （＋）端子と（－）端子にテープを貼る。
  - 外装カバー（被覆･チューブなど）を剥がさない。
  - 分解しない。
  - 傷つけない。
- 詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。
  ホームページ：http://www.jbrc.net/hp

本製品を廃棄するとき以外は絶対に分解しないでください。

⚠危険

本製品専用の充電池のため、本製品以外に使用しない

禁止

取り出した充電池は充電しないでください。

- 火への投入、加熱をしないでください。
- くぎで刺したり、衝撃を与えたり、分解･改造をしないでください。
- 切断したケーブルを、互いに接触させたり、金属などに接触させないでください。
- 金属などと一緒に持ち運んだり保管しないでください。
- 火のそばや炎天下など高温の場所で充電･使用･放置しないでください。
  発熱･発火･破裂の原因になります。

⚠警告

取り出した充電池やねじなどは、お子様の手の届くところに置かない

禁止

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼす原因になります。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

電池の液がもれたときは、素手で液をさわらない

指示

液が目に入ったときは、失明の原因になります。

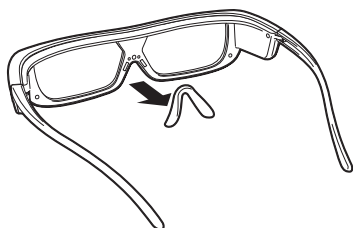
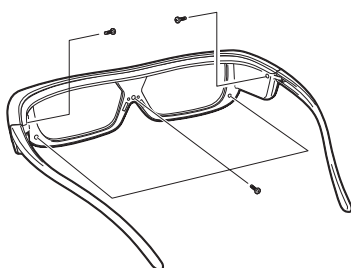
- 目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと医師にご相談ください。

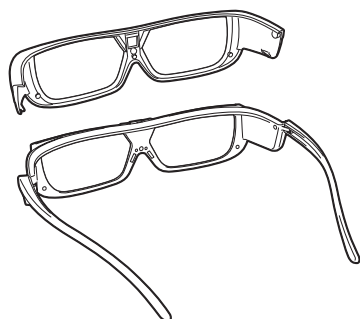
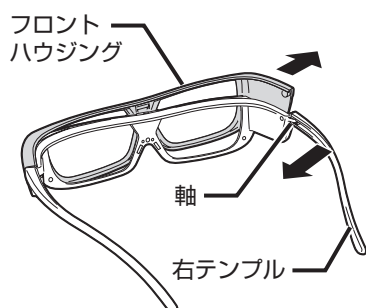
液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になります。

- きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

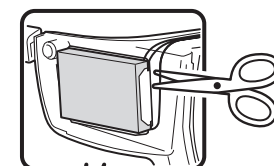
3D メガネを廃棄するには

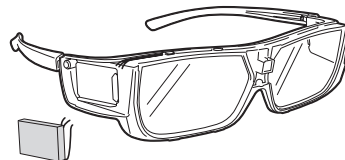
・ 充電池を使いきってから、下記の手順で分解してください。

1 **ノーズパッドを手で引っ張って外す**

2 **市販の精密プラスドライバーで、ねじ5本を外す**

3 **右テンプル部の軸付近を手で内側に引っ張りながら、フロントハウジングを外側にめくるように手で外す**

⚠ 注意

・ **火ばな･ショートすると充電池が破裂するおそれがあります。**

4 **充電池ユニットのケーブル3本を1本ずつハサミで切断する**

・ 充電池ユニットは、右テンプル部の根元ふくらみ部分の中にあります

・ 切断した充電池のケーブルの先端は、ビニールテープなどで絶縁してください。

5 **充電池ユニットごと手前に引っ張って、リアハウジングから引き剥がす**

・ 各自治体によって「ゴミの捨てかた」が異なります。地域の条例に従ってください。

本体各部のなまえ

- LC-60L5 を例に説明していますが、LC-52L5、LC-46L5、LC-40L5 も端子の配置は同じです。
- 3D メガネについては、電子取説「目次から探す」－「映像・音声調整」－「3D メガネの使いかた」－「3D メガネの各部のなまえ」をご覧ください。

前面

3D 赤外線発信部

スタンド
⇒**24**ページ

リモコン受光部
⇒**45**ページ
- リモコンをここに向けて操作します。

明るさセンサー受光部

IrSS™ 受光部
- IrSS™ 機器をここに向けて操作します。

スピーカー
- 左右にあります。

REC(録画)ランプ
- 市販の USB-HDD の録画中に、赤色で点灯します。

TIMER (タイマー) ランプ
- おはようタイマーを設定しているときや番組の視聴予約・録画予約しているときに点灯します。

POWER(電源)ランプ
- 緑色点灯：動作状態
- 赤色点灯：待機状態
- 消灯：電源オフ状態

⇒**44**ページ

右側面

電源スイッチ
⇒**44**ページ

ホーム(メニュー)ボタン
⇒**52**ページ

入力／放送切換(決定)ボタン
- ホームメニューを操作するときは、決定ボタンとして使います。

選局(∧順／∨逆)ボタン
- ホームメニューを操作するときは、上下カーソルボタンとして使います。

音量(＋／－)ボタン
- ホームメニューを操作するときは、左右カーソルボタンとして使います。

背面

B-CAS カードは必ず挿入してください。

- B-CAS カードはデジタル信号の暗号化を解除する「鍵」のような役割をしていますので、B-CAS カードが挿入されていないと、デジタル放送が視聴できません。

入力 6（映像･音声）／音声出力

- 入力と出力を切換えられる端子です。出力に切換えた場合は、音声のみの出力になります。「入力／音声出力設定」で切換えます。
- 工場出荷時は入力端子としてはたらきます。
- 映像端子は、入力専用です。

LAN 端子

- インターネットやアクトビラ、IPTV、デジタル放送の双方向通信で使用します。(LAN: ローカルエリアネットワークの略称)

USB2 端子

- USB2 端子は、電源供給で動作するポータブルハードディスクに対応しています。

◇おしらせ◇

ヘッドホン端子について

- ステレオミニプラグ(φ 3.5mm)の付いたヘッドホンをご用意ください。
- ヘッドホンをつないだときでも、スピーカーから音を出すようにすることができます。
  (電子取説「目次から探す」－「便利な機能を使う」－「視聴中の便利な使いかた」－「ヘッドホンで聞くときの音の出かたを変える」)

本機を設置する

基本的な準備のながれ

- 本機の設置･接続･受信設定などの基本的な進めかたのながれです。

1 本機を設置する場所を決める
⇒23ページ

2 スタンドを取り付ける
⇒24ページ

3 B-CAS(ビーキャス)カードを挿入する
⇒27ページ

4 アンテナをつなぐ
⇒28~31ページ
- 壁のアンテナ端子のかたちが異なる場合は､「壁のアンテナ端子のかたちが異なる場合」(⇒**下記**)をご覧ください。

5 他の機器をつなぐ
⇒32ページ

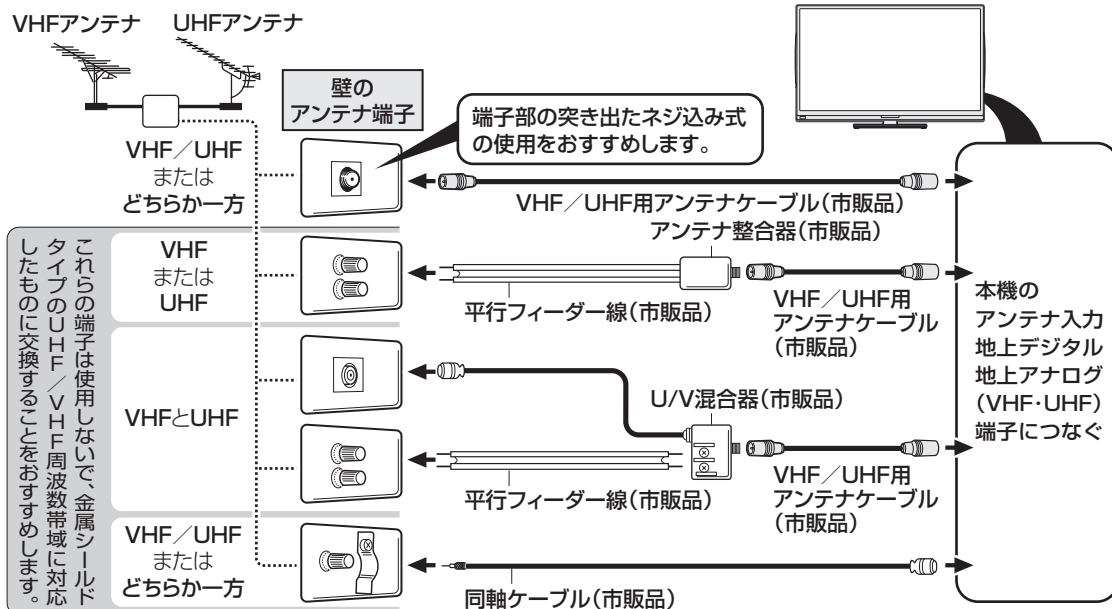
6 電源コードをつなぐ
⇒42ページ

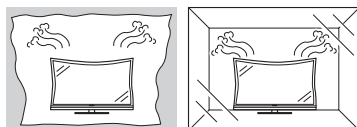
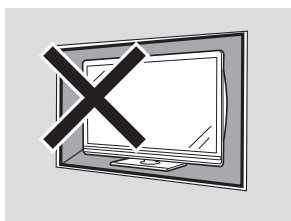
7 本機を固定する(転倒を防ぐ)
- 本機を設置し、転倒の防止をします。(⇒**43**ページ)
- 壁に掛けて設置できます。(⇒ **84** ～ **86** ページ)

8 かんたん初期設定をする
⇒46~50ページ
- 画面の指示に従って設定を進めます。
- 受信の設定は、個別に行えます。(⇒ **59** ～ **60**､**63** ～ **64** ページ)

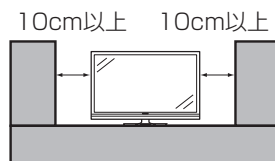
- 操作に困ったときは､⇒**65**～**72**ページをご覧ください。

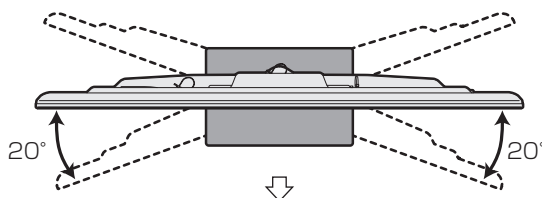
壁のアンテナ端子のかたちが異なる場合
- 壁のアンテナ端子のかたちが **28** ページの記載と異なる場合は、市販のケーブルなどを使って、以下のように接続します。

1 本機を設置する場所を決める

- 本機は付属のスタンドを取り付けて設置します。
- 別売の壁掛け金具などを使って設置することもできます。(別売品について⇒**3**ページ)
- 以下のような設置のしかたをしないでください。

禁止

  - 風通しの悪いところに入れない
  - 密閉した箱に入れない
  - じゅうたんや布団の上に置かない
  - 布などをかけない
  - 極端に温度が高い場所や低い場所には設置しない(使用温度 0℃～ 40℃)
  - 湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かない。
- 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。壁に埋め込む設置や枠で囲むなどの設置はしないでください。

設置の際には以下の点をお守りください。

- 傾斜のない、平らな安定した場所に設置してください。すべりやすい面、カーペットなどの柔らかい面、不安定な場所を避けて設置してください。
- 持ち上げたり、運んだりする場合は、液晶パネルやスピーカーを持たないでください。
- 左右それぞれ10cm以上のスペースを空けてください。

- 左右のスペースが少ないとスピーカーからの音が聞こえにくくなる場合があります。また、設置している周囲の環境によっては、音声の聞こえ方が変化する場合があります。このような場合は、ホームメニューから「設定」－「(視聴準備)」－「視聴設定」の「音質補正(設置部屋別)」または「音質補正(設置場所別)」や「設定」－「(音声調整)」で調整してください。
- 台の上に設置する場合は、本機の重量に耐えうる、十分な幅と奥行きのある、堅固で転倒しにくい台をお使いください。
- 転倒防止策を実施してください。(⇒ **43** ページ)
- キャスター付きのテレビ台をご使用の場合、移動するとき以外は必ずキャスター用受皿を使用してテレビ台を固定してください。

角度調整のしかた

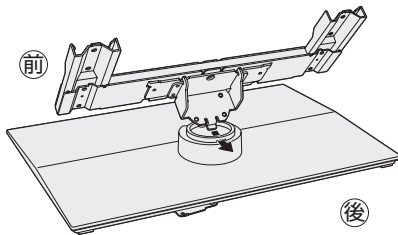
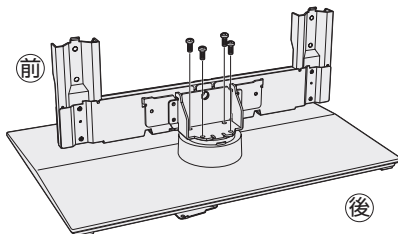
- スタンド下部 (図の濃い色の部分)を片方の手でしっかりと押さえ、手をはさまないように注意しながら本体を回転させます。左右各 20 度の範囲内で調整できます。

2 スタンドを取り付ける

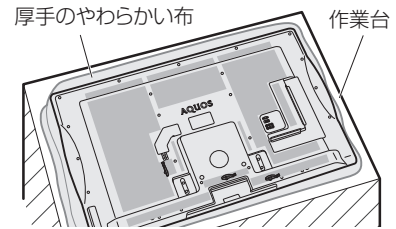
◆ 重　要 ◆
- 必ず2人以上で、スタンドの取り付けを行ってください。

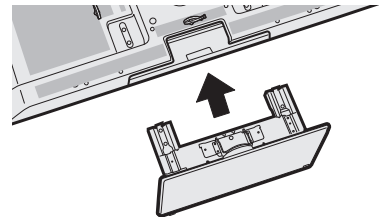
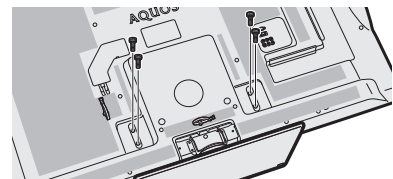
◇おしらせ◇
- 本機を設置する際は、壁や柱、またはテレビを設置する台に固定して転倒を防いでください。(⇒ **43** ページ)

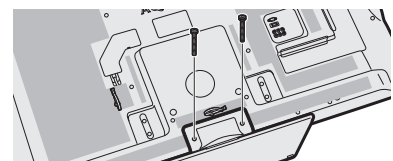
LC-60L5 の場合

ネジは、JIS 2番のプラスドライバー(市販品)で締めてください。電動ドライバーを使う場合、締め付けトルクは約2.0N·m(20kgf·cm)に設定してください。

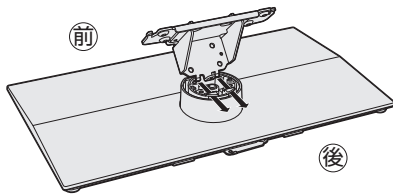
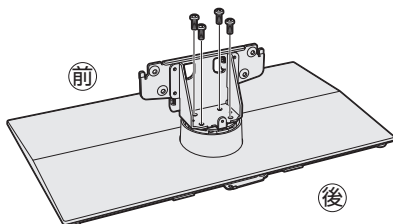
1 スタンド金具のツメをスタンドの穴に引っかけて、スタンド金具をスタンドに取り付ける

2 付属のスタンド金具取付ネジ(6mm×20mm 4本)で、スタンド金具とスタンドを固定する

- 固定後はぐらつきやゆるみなどがないか、確実にネジが締まっているか、確かめてください。

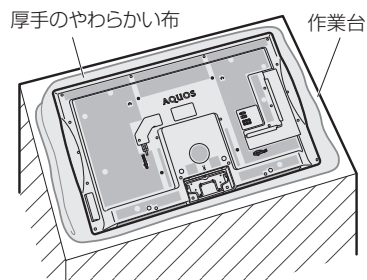
3 本機のディスプレイ部を寝かせる

- テーブルなどの台の上に毛布などの柔らかい布を敷き、その上に本機を寝かせます。
- テーブルなどの台がない場合は、梱包ケースを簡易テーブルとして代用することができます。詳しくは、梱包ケース前面の「簡易テーブルの作りかた」をご覧ください。

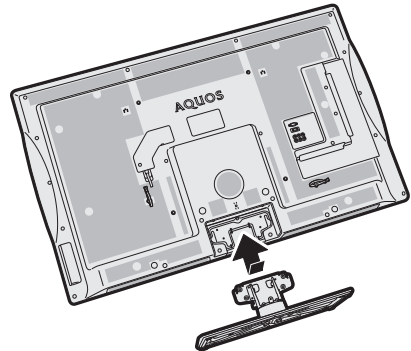
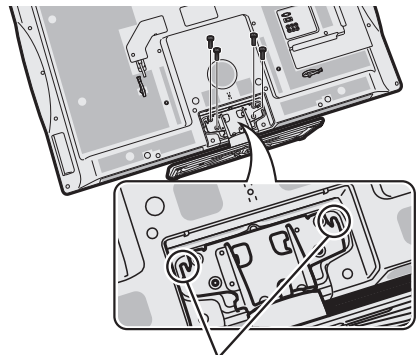
4 スタンドを本機に取り付ける

5 付属のスタンド取付ネジ(5mm×14mm 4本)で、本機とスタンドを固定する

- 固定後はぐらつきやゆるみなどがないか、確実にネジが締まっているか、確かめてください。

6 付属のスタンドカバー取付ネジ(4mm×30mm 2本)で、スタンドカバーを取り付ける

LC-52L5 ／ LC-46L5 の場合

ネジは、JIS 2 番のプラスドライバー（市販品）で締めてください。電動ドライバーを使う場合、締め付けトルクは約 2.0N·m（20kgf·cm）に設定してください。

1 スタンド金具のツメをスタンドの穴に引っかけて､スタンド金具をスタンドに取り付ける

2 付属のスタンド金具取付ネジ(6mm×20mm 4本)で、スタンド金具とスタンドを固定する

- 固定後はぐらつきやゆるみなどがないか、確実にネジが締まっているか、確かめてください。

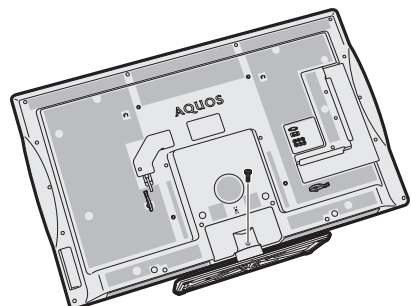
3 本機のディスプレイ部を寝かせる

- テーブルなどの台の上に毛布などの柔らかい布を敷き、その上に本機を寝かせます。

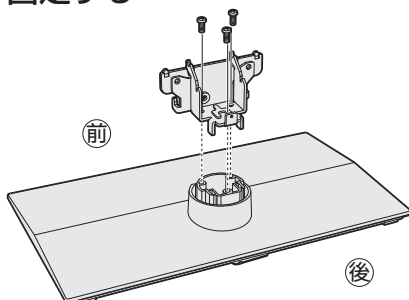
4 スタンドを本機に取り付ける

5 付属のスタンド取付ネジ(5mm×14mm 4本)で、本機とスタンドを固定する

本体にあるミゾとスタンドの突起部にすき間ができないように取り付けてください。
すき間があると設置した際に画面が左右に傾いてしまいます。

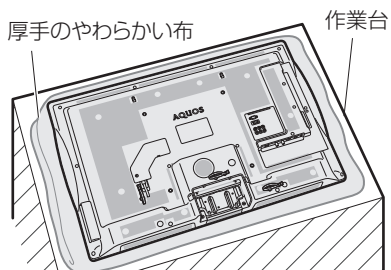
- 固定後はぐらつきやゆるみなどがないか、確実にネジが締まっているか、確かめてください。

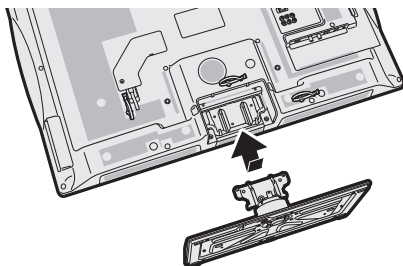
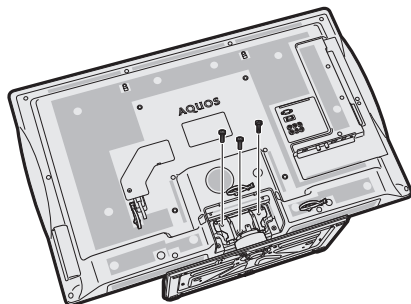
6 付属のスタンドカバー取付ネジ(4mm×8mm 1本)で、スタンドカバーを取り付ける

次のページに続く

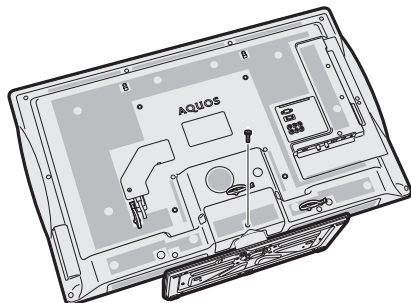
LC-40L5 の場合

ネジは、JIS 2 番のプラスドライバー（市販品）で締めてください。電動ドライバーを使う場合、締め付けトルクは約 2.0N·m（20kgf·cm）に設定してください。

1 付属のスタンド金具取付ネジ(6mm×20mm 3本)で、スタンド金具とスタンドを固定する

・ 固定後はぐらつきやゆるみなどがないか、確実にネジが締まっているか、確かめてください。

2 本機のディスプレイ部を寝かせる

・ テーブルなどの台の上に毛布などの柔らかい布を敷き、その上に本機を寝かせます。

3 スタンドを本機に取り付ける

4 付属のスタンド取付ネジ(5mm×14mm 3本)で、本機とスタンドを固定する

・ 固定後はぐらつきやゆるみなどがないか、確実にネジが締まっているか、確かめてください。

5 付属のスタンドカバー取付ネジ(4mm×8mm 1本)で、スタンドカバーを取り付ける

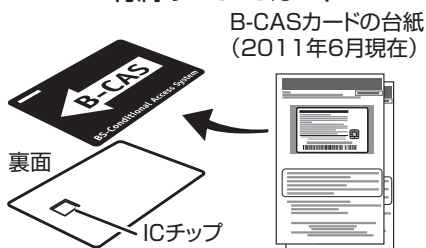
3 B-CAS（ビーキャス）カードを挿入する

- デジタル放送（地上デジタル放送、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送）を楽しむために、**B-CAS（ビーキャス）カードを本機に必ず入れてください。**B-CAS カードを入れないと、デジタル放送が映りません。
- B-CAS カードには視聴情報などが記憶されます。
- B-CAS カードの取り扱いについて詳しくは、カードを貼ってある台紙の説明をご覧ください。
- 登録には代表カード（赤いB-CAS カード）を使用します。

B-CAS カードの抜き差しについて
- B-CAS カードに関するメッセージが画面に表示されたとき以外は、カードを抜き差ししないでください。
- B-CAS カード挿入口には、本機に付属している B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。
- 万一、B-CAS カードを抜く場合は、ホームメニューから「設定」－「（視聴準備）」－「各種設定」－「電源スイッチ設定」を「モード 2」に設定して本体の電源スイッチで電源を切り、電源コンセントを抜いた状態で、B-CAS カードを持ち、ゆっくりと抜いてください。

B-CAS カードは大切に保管してください。
- 仮に他人があなたの B-CAS カードを使用して有料放送を視聴した場合でも、視聴料はあなたの口座に請求されます。

B-CAS カードの取り扱いについて
- 折り曲げたり、変形させたり、傷をつけたりしない
- 重いものを載せたり、踏みつけたりしない
- IC チップには触れない
- 分解、加工しない
- 破損などにより B-CAS カードの再発行を依頼する場合は、費用が必要です。詳しくは、B-CAS カスタマーセンターにご連絡ください。

B-CAS カードについてのお問い合わせ先
B-CAS カード　カスタマーセンター
電話　0570-000-250
（2011 年6月現在）

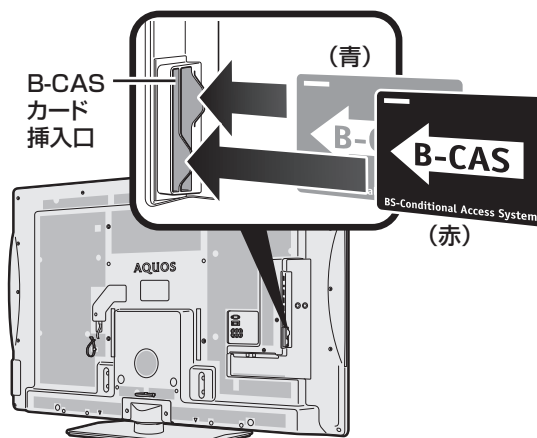
付属のB-CASカード

開封すると添付されている契約約款に同意したとみなされます。開封前に必ず契約約款をよくお読みください。

1 B-CASカードの台紙の内容を読む

- B-CAS カードは本体を覆っているシートに貼り付けられている B-CAS パンフレットの袋の中の台紙についています。

2 内容に同意の上でB-CASカードを台紙からはずす

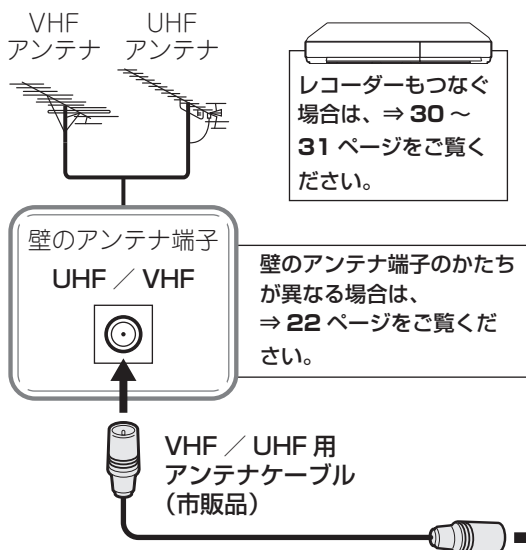
3 B-CASカードを正しい向きで奥までしっかり差し込む

- 青い B-CAS カードは画面側の B-CAS 挿入口に、赤い B-CAS カードはもう一方の B-CAS 挿入口に差し込んでください。

- すべての接続を終えて電源を入れた後、ホームメニューから「設定」－「（お知らせ）」－「システム動作テスト」を行うと、カード番号が表示され、B-CAS カードが正しく挿入されているか確認できます。

4 アンテナをつなぐ（テレビだけをつなぐ場合）

地上デジタル放送・地上アナログ放送用アンテナとつなぐ

- 地上デジタル放送と、地上アナログ放送（従来の放送）を見るための接続です。

地上デジタル放送の受信には、UHF対応のアンテナが必要です。
（一部取り替えや調整、ブースターの追加などが必要になることがあります。）

ケーブルテレビを見るときは

- 接続については、CATV（ケーブルテレビ）会社にお問い合わせください。

◇**おしらせ**◇

- **CATV（ケーブルテレビ）会社が地上デジタル放送をパススルー方式（⇒ 58 ページ）で再送信している場合は、地上デジタル放送が楽しめます。**
- 本機で受信できるのは、「UHF 帯」、「VHF 帯」、「ミッドバンド（MID:C13 ～ C22）帯」、「スーパーハイバンド（SHB:C23 ～ C62）帯」です。トランスモジュレーション方式の場合、ケーブルテレビ専用受信機を介して視聴できます。

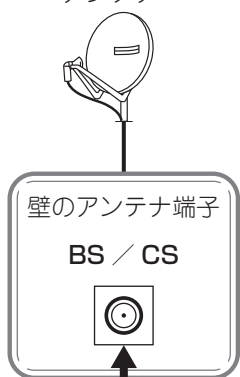
BS・110度CS デジタル放送用 アンテナとつなぐ

• ご使用の環境により、以下のどちらかの接続を行ってください。

個人でアンテナを設置しているとき

（BS・110度CSデジタルと UHF／VHFが別の端子のとき）

BS・110度CS
デジタル共用
アンテナ

壁のアンテナ端子
BS／CS

BS・110度CS
デジタル用
アンテナケーブル
（市販品）

マンションなどの共聴システムで受信しているとき

（BS・110度CSデジタルと UHF/VHFが混合されているとき）

BS・110度CSデジタル用

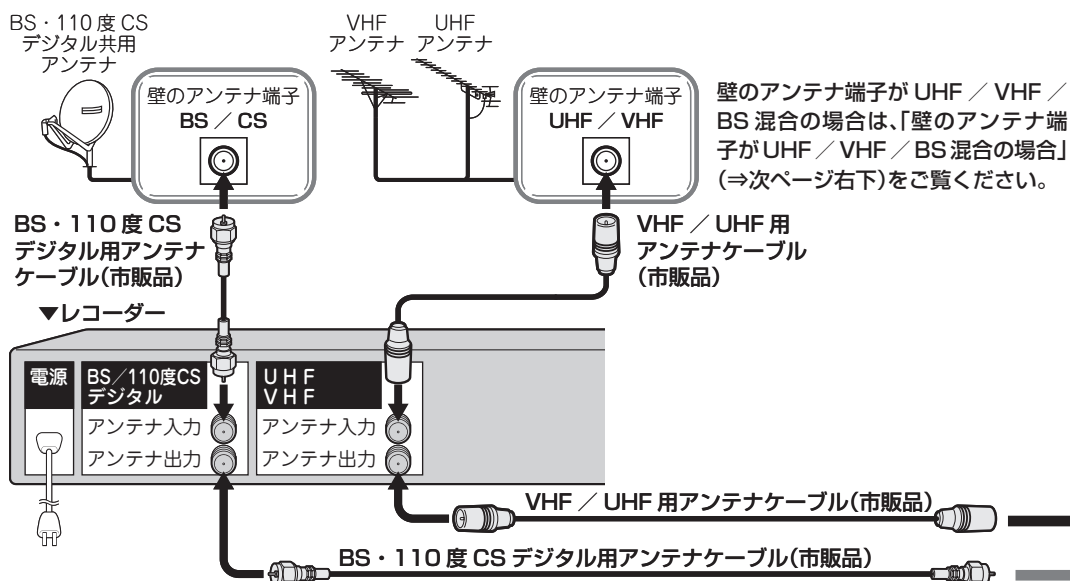
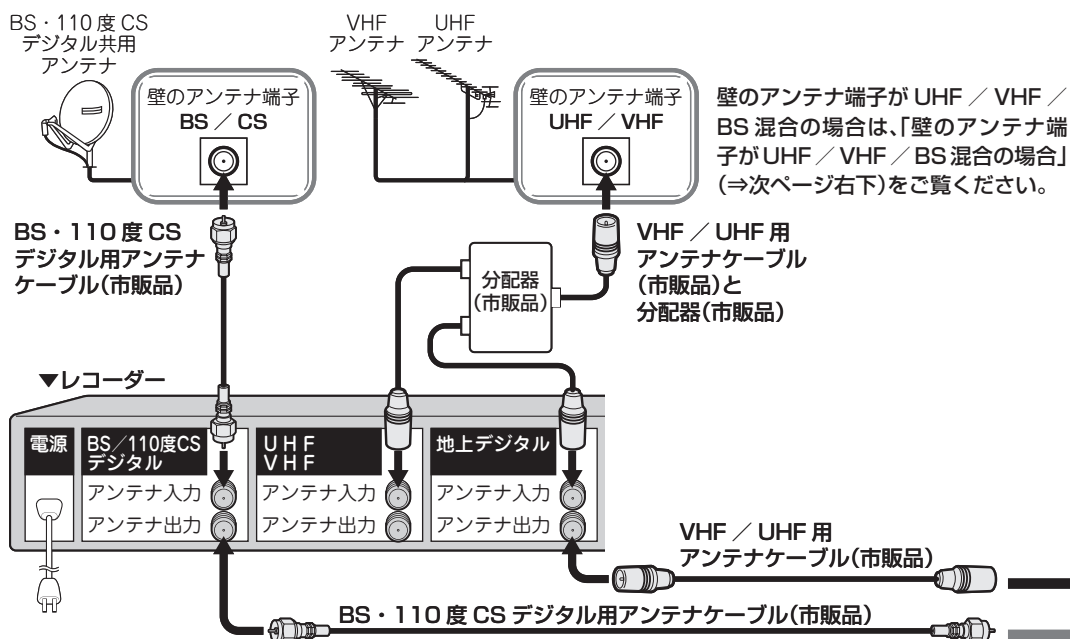
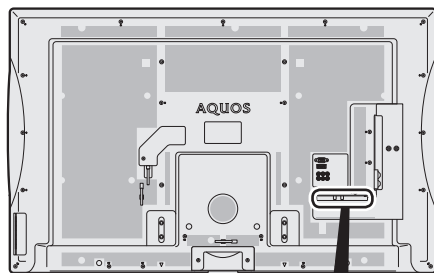
VHF／UHF用

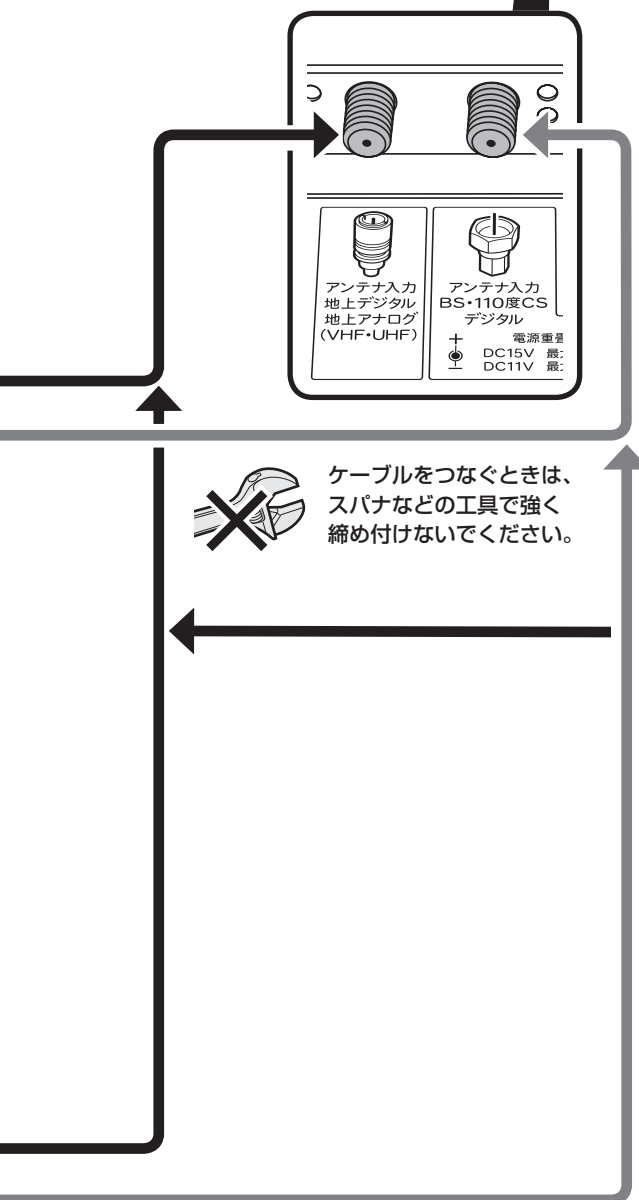
◇おしらせ◇

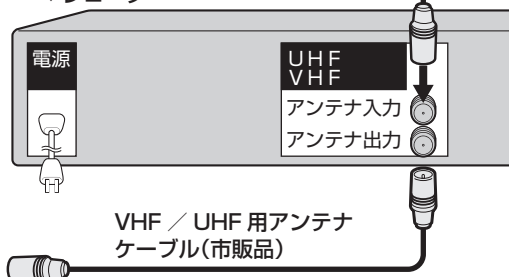
• **接続をやり直すときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。**
（⇒ **42**·**78** ページ）（BS·110度CSデジタルアンテナ入力端子は、BS·110度CSデジタルアンテナに取り付けられたBS·110度CSコンバーターに＋15V／＋11Vの電源を供給する働きも持っています。この電源は、アンテナに対して電源を供給するためのものです。本機とアンテナの間にブースターなどの機器を取り付けて使用される場合は、専用の電源が必要です。）
• 市販のブースター、アンテナ線や分配器をご使用になる場合は、110度CS帯域（2.6GHz）まで対応しているものをご使用ください。（アンテナ線はS-5C-FBなど。）詳しくはお買いあげの販売店にご相談ください。
• 従来のBSアナログアンテナでは、110度CSデジタル放送は受信できません。また、BSデジタル放送も場合によっては映らないことがあります。

4 アンテナをつなぐ（レコーダーもつなぐ場合）

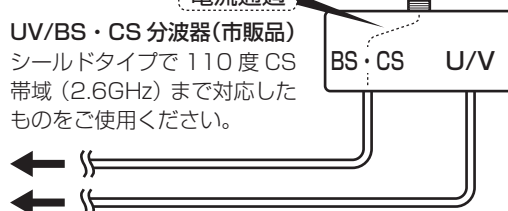
デジタルチューナー搭載のレコーダーの場合

地上デジタルと地上アナログの入力が同じ端子のレコーダーにつなぐとき

地上デジタルと地上アナログの入力が別々の端子のレコーダーにつなぐとき

▼本体背面

アンテナケーブルは、できるだけ太くて短いアンテナケーブルをお使いください。
アンテナケーブルが長くなるほど受信した電波の強度が弱くなります。

ケーブルをつなぐときは、スパナなどの工具で強く締め付けないでください。

デジタルチューナーを搭載していないレコーダーの場合

壁のアンテナ端子がUHF／VHF／BS混合の場合は、「壁のアンテナ端子がUHF／VHF／BS混合の場合」（⇒下記）をご覧ください。

壁のアンテナ端子がUHF／VHF／BS混合の場合

- UV/BS･CS分波器（市販品）を使って、VHF/UHF用とBS･110度CSデジタル用の信号を分けてから録画機器やテレビにつなぎます。

UV/BS・CS分波器（市販品）
シールドタイプで110度CS帯域（2.6GHz）まで対応したものをご使用ください。

5 他の機器をつなぐ

・本機に他の機器をつなぐ場合は、以下をご覧ください。

ファミリンク対応機器をつなぐ

⇒**36ページ**

・ファミリンク機能を搭載している AQUOS レコーダー・プレーヤー・オーディオなどのつなぎかたです。

レコーダーやプレーヤーをつなぐ

⇒**34ページ**

・ファミリンク対応機器以外のレコーダーやプレーヤーなどのつなぎかたです。

パソコンをつなぐ

⇒**38ページ**

ネットワークにつなぐ

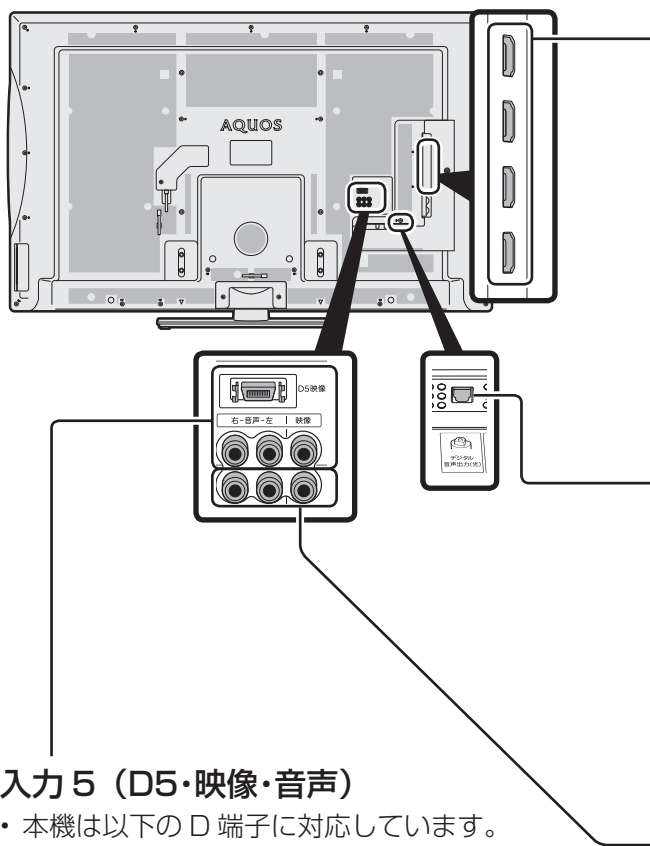
⇒**40ページ**

USBハードディスクをつなぐ

⇒**41ページ**

ゲームやカラオケの反応が遅いときは

・ゲームのキー操作に対して画面の反応が遅く感じられる場合やカラオケの音声が遅れて感じられる場合は、AV ポジションを「ゲーム」に変更し、ホームメニューから「設定」－「(映像調整)」－「プロ設定」－「QS 駆動」の設定を「スタンダード」または「しない」に変更してください。

レコーダーやプレーヤー・オーディオ機器などをつなぐ

入力５（D5・映像・音声）

・本機は以下の D 端子に対応しています。
D5：高精細　D4：高精細　D3：高精細
D2：高画質　D1：標準

・D 端子識別を設定してください。
（⇒電子取説「目次から探す」－「映像・音声調整」－「画面のサイズや位置を調整する」－「画面のサイズを調整する」）

ゲームのプレイ時間を表示することができます

・ゲームに夢中で時間を忘れてしまうことのないように、経過時間を表示させることができます。
・入力 1 ～ 7 を選んでいるときにホームメニューから「設定」－「(安心・省エネ)」－「ゲーム時間表示設定」で設定します。
・外部入力で AV ポジションを「ゲーム」にしているときに、30 分経過するたびに画面左下にメッセージが表示されます。

入力１～４（HDMI）

対応している映像信号

- 1080p(24Hz/30Hz/60Hz)、720p(30Hz/60Hz)、1080i、480p、480i、VGA、SVGA、XGA、WXGA、SXGA、SXGA+

対応している音声信号

- 種類：
  リニア PCM、AAC、ドルビーデジタル
- サンプリング周波数：
  48kHz ／ 44.1kHz ／ 32kHz

◇**おしらせ**◇

- 映像の種類と画質については
  (⇒電子取説「目次から探す」−「番組の選びかた」−「はじめに」−「用語の解説」)

HDMI、HDMI ロゴおよび高品位マルチメディアインターフェイスは、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

デジタル音声出力(光)端子

- 本機から MPEG2 AAC ／ドルビーデジタル音声フォーマットを出力できます。

デジタル音声出力（光）端子は
上記以下のものを使用してください。

入力６（映像・音声）／音声出力

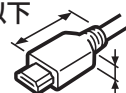
- 入力と出力を切換えられる端子です。工場出荷時は入力端子としてはたらきます。
- ホームメニューから「設定」−「（機能切換）」−「外部端子設定」−「入力／音声出力設定」で切り換えます。
- 出力に切り換えた場合は、音声のみの出力されます。映像は出力されません。

アナログ音声端子が付いたオーディオ機器をつなぐ場合

- ホームメニューから「設定」−「（機能切換）」−「外部端子設定」−「入力／音声出力設定」を選んで「音声出力 1」または「音声出力 2」に設定してください。

HDMI 機器を接続するときは

- ＨＤＭＩケーブルの接続部は下記以下のものを使用してください。

長さ：50mm以下

厚さ：12mm以下

- 必ず市販の HDMI 規格認証品(カテゴリー 2 推奨)をご使用ください。規格外のケーブルを使用した場合、映像が映らない、音が聞こえない、ファミリンクが動作しない、映像にノイズが発生するなど、正常に動作しない場合があります。
- 1080p の映像信号を入力するときは、HIGH SPEED(カテゴリー 2)に対応した HDMI ケーブルをお使いください。
- ３D 映像に対応した機器をつなぐときは HDMI1.4 に対応した HDMI ケーブルのご使用をおすすめします。

◇**おしらせ**◇

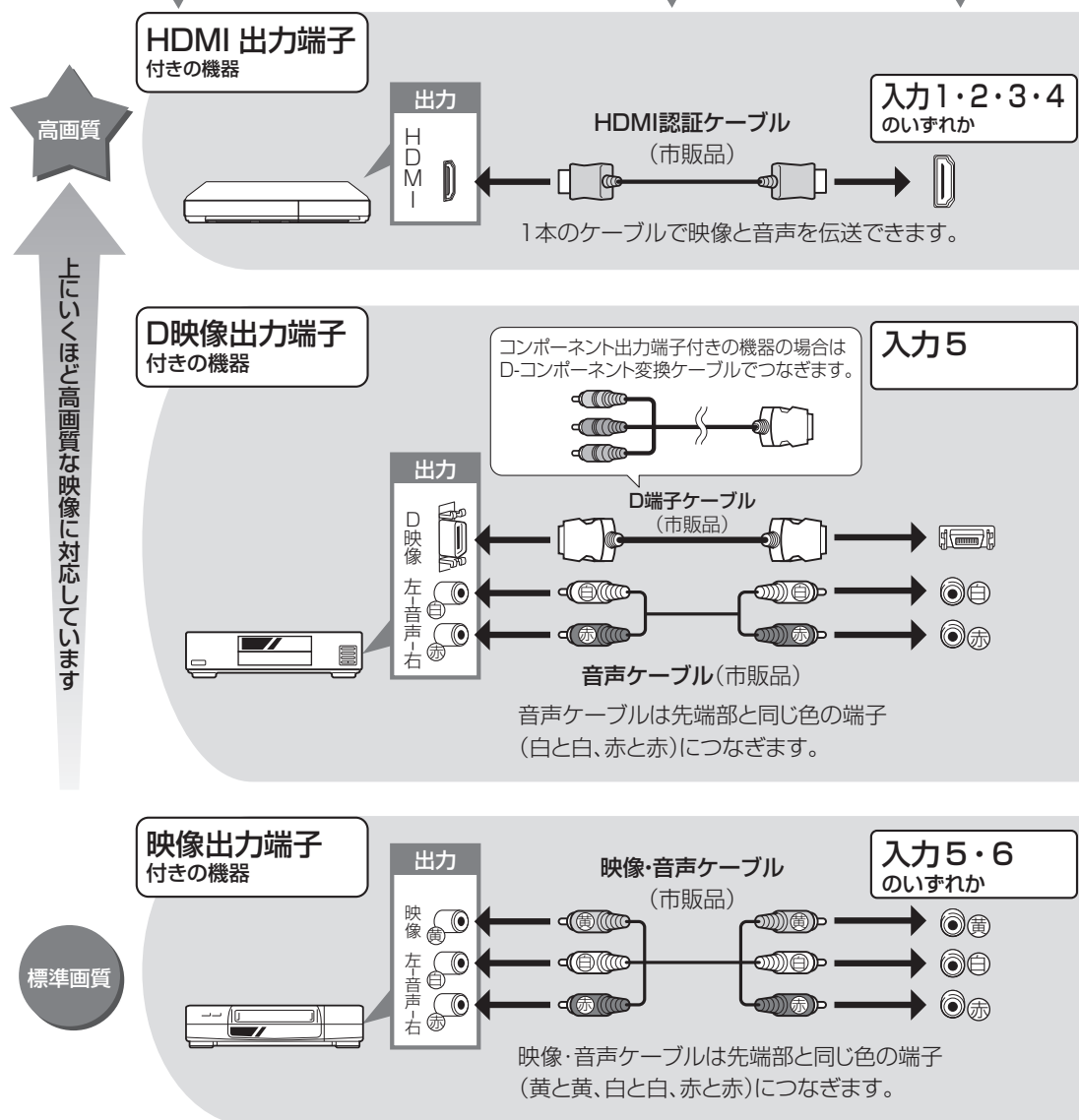
- 入力 4 にレコーダーやオーディオを接続するときは、ホームメニューから「設定」−「(機能切換)」−「外部端子設定」−「入力音声選択」を選んで「HDMI のみ」にしてください。(工場出荷時は、「HDMI のみ」に設定されています。)
- ファミリンクに対応していない機器をつないだとき、その機器の電源が勝手に入ったりチャンネルが切り換わってしまう場合は、ホームメニューから「リンク操作」−「ファミリンク設定」−「ファミリンク制御(連動)」を選んで「しない」に設定してください。

ファミリンク対応 AQUOS レコーダーや AQUOS オーディオなどをつないだときは

- 本機のリモコンで操作できます。
  (⇒電子取説「目次から探す」−「ファミリンク機能」−「ファミリンクとは」)

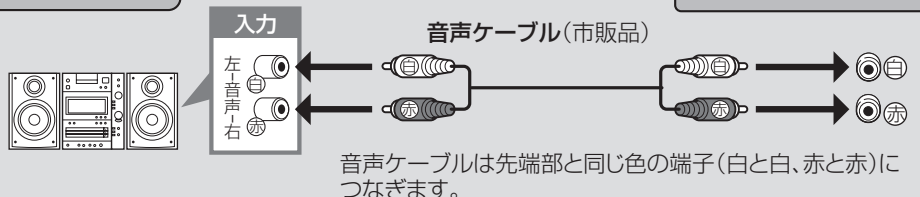
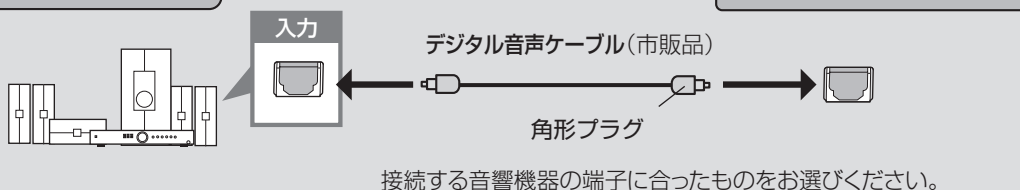
次のページに続く

レコーダーやプレーヤーをつなぐ

- お手持ちの録画·再生機器の出力端子を確認し、高精細·高画質に対応した出力端子とつなぐと、よりきれいな映像が楽しめます。ただし、高精細·高画質に対応した端子でも標準画質で入力された映像は標準画質になります。
- つなぐ機器の端子については、機器の取扱説明書を併せてお読みください。

レコーダーをお持ちの場合

- プレーヤーなどの機器を接続するときは、本機に直接接続してください。レコーダーを通して本機で映像を見ると、コピーガード機能の働きにより、映像が正常に映らないことがあります。

オーディオ機器をつなぐ

- 音響機器をつないで、迫力ある音声で楽しむこともできます。

接続するときに気をつけること

- 接続の前に、接続する機器と、本機の電源を切ってください。
- 接続ケーブルのプラグは奥までしっかり差し込んでください。しっかり差し込めていないと、画像や音声にノイズや雑音が出る原因となります。
- 接続ケーブルを端子から抜くときは、ケーブルを引っ張らずにプラグを持って抜いてください。
- 複数の機器を接続したときは、お互いの干渉を防ぐため、使わない機器の電源は切ってください。
- 接続した機器の再生映像や音声にノイズや雑音が出るときは、接続した機器と本機を十分に離してください。

ファミリンク対応機器をつなぐ

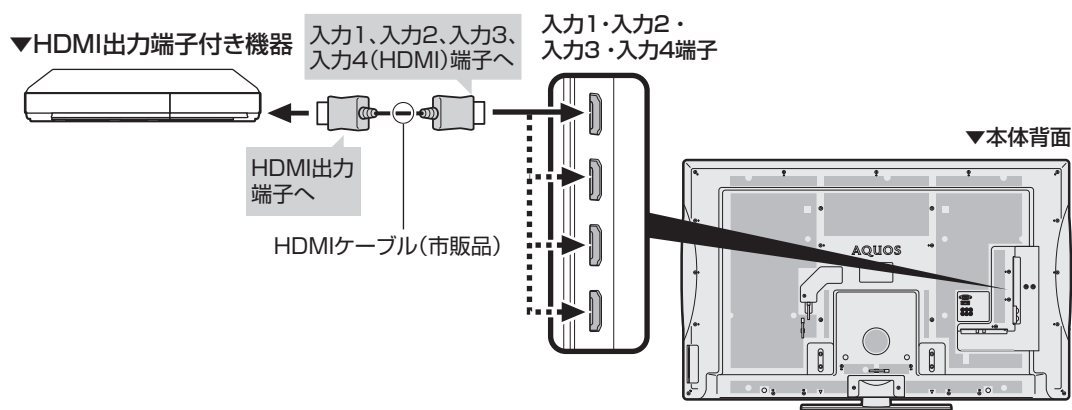
- 接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。
- ファミリンクで操作できる AQUOS レコーダーは 3 台までです。
- HDMI ケーブルは必ず市販の HDMI 規格認証品（カテゴリー 2 推奨）をご使用ください。規格外のケーブルを使用した場合、映像が映らない、音が聞こえない、映像にノイズが発生する、ファミリンクが動作しないなど、正常に動作しない場合があります。
- 1080p の映像信号を入力するときは、HIGH SPEED（カテゴリー 2）に対応した HDMI ケーブルをお使いください。
- AQUOS レコーダーや AQUOS オーディオをつないで 3 D コンテンツをお楽しみいただく場合は 3 D対応の機器をご使用ください。
- 3D 対応のファミリンク機器については SHARP Web ページ内の AQUOS サポートステーション「他の機器と接続するには→ 3D 対応の AQUOS について」をご覧ください。

AQUOS サポートステーション
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

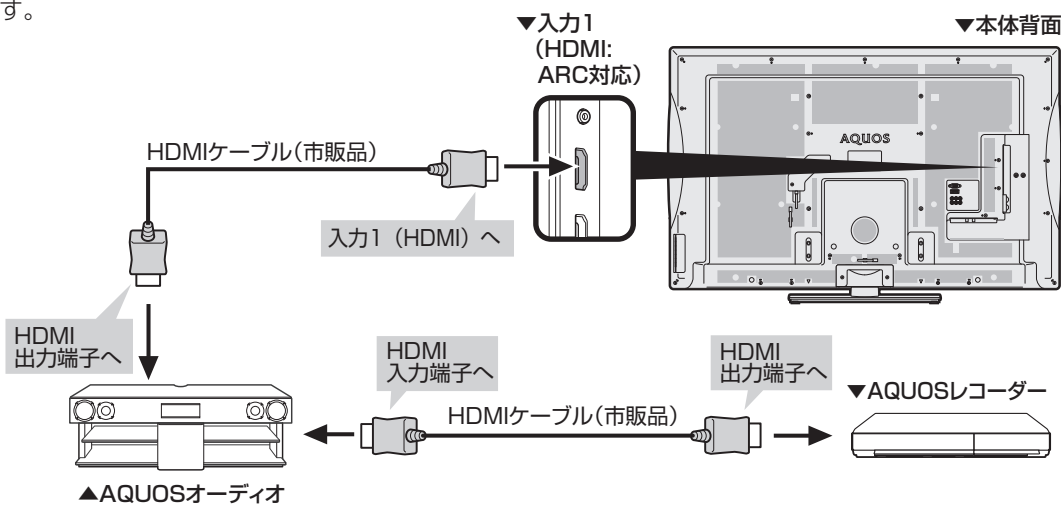
- ３D 映像に対応した AQUOS レコーダーをつなぐときは、HDMI1.4 に対応した HDMI ケーブルのご使用をおすすめします。
- ここで説明している接続方法以外で接続した場合には、正しく動作しないことがあります。

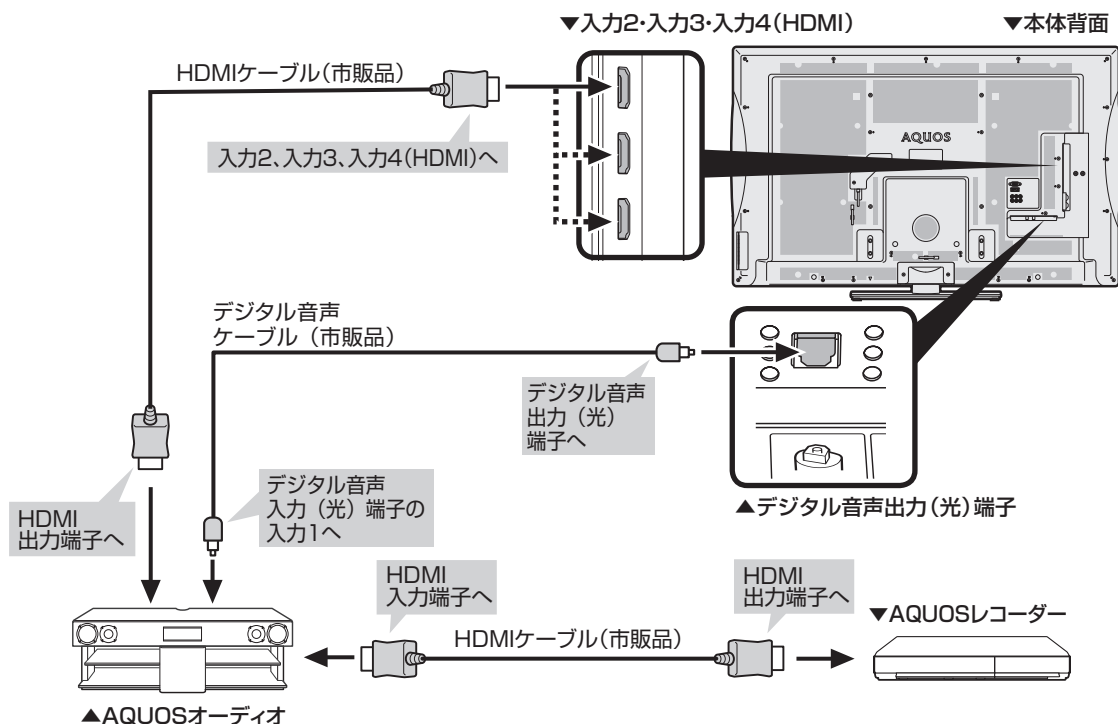
◆ 重 要 ◆

- HDMI ケーブルや電源コードを抜き差ししたり、機器との接続方法を変えた場合は、すべての周辺機器の電源を入れた状態で本機の電源を入れ直し、本機の入力を入力 1 ～ 4 に切り換えて映像と音声が正しいことを確認してください。

本機と AQUOS レコーダーをつなぐ

AQUOS オーディオを同時につなぐとき

本機の入力 1（HDMI）端子につなぐ場合

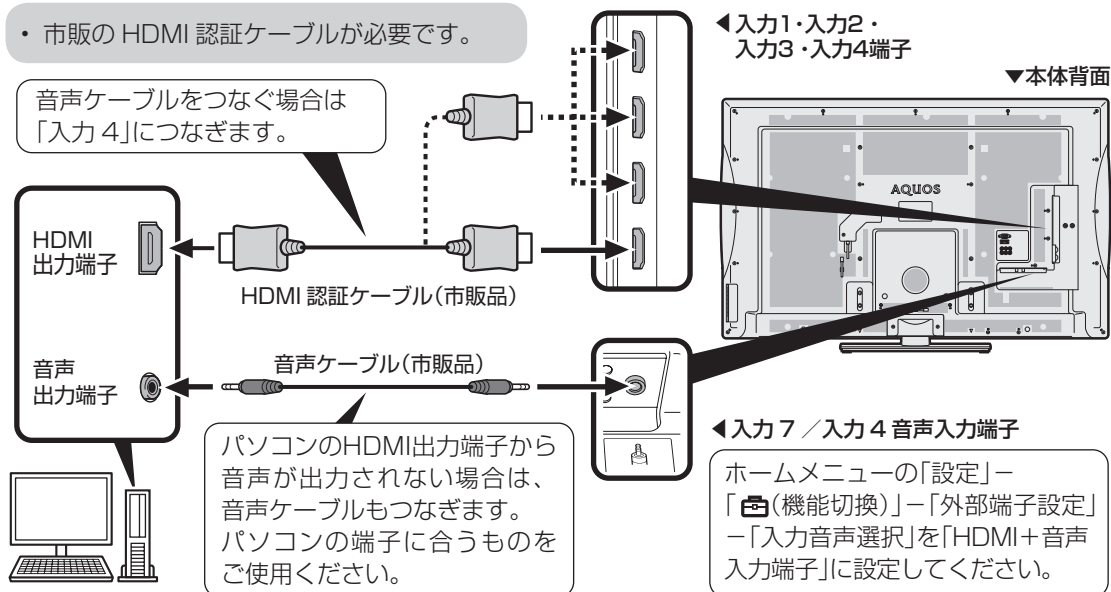
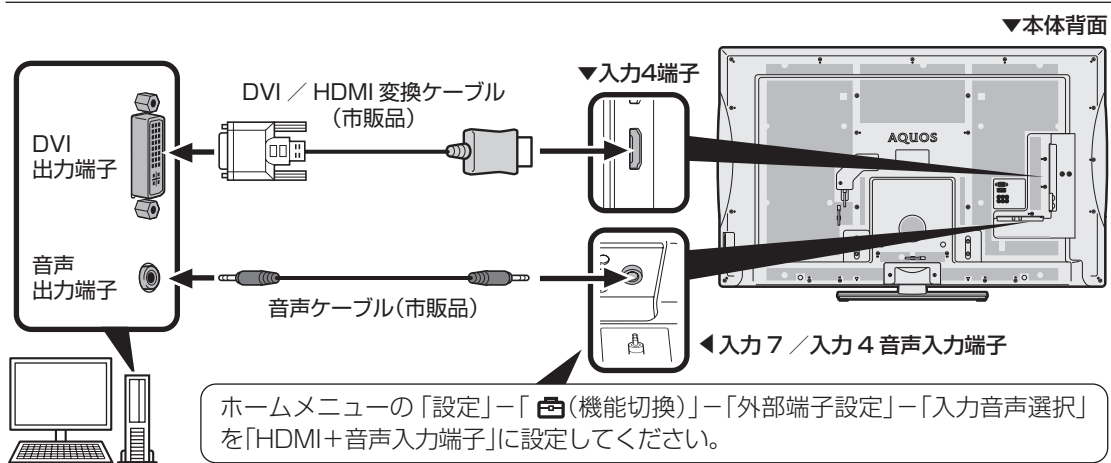
- 本機の入力 1（HDMI）端子は ARC（オーディオリターンチャンネル）に対応しています。本機の入力 1（HDMI）端子に ARC 対応の AQUOS オーディオをつなぐと、本機から AQUOS オーディオへの音声出力も HDMI ケーブル 1 本で可能なため、デジタル音声ケーブルをつなぐ必要がありません。
- ARC に対応した HDMI ケーブルをお使いください。ARC に対応していない HDMI ケーブルの場合、音が出ない、音が途切れる、ノイズが混ざるといった症状が発生することがあります。
- ARC に対応していない AQUOS オーディオを接続する場合は、デジタル音声ケーブルの接続も必要です。

本機の入力 2、入力 3、入力 4（HDMI）端子につなぐ場合

- 本機から AQUOS オーディオに音声信号を出力するために、本機と AQUOS オーディオをデジタル音声ケーブルで接続してください。

パソコンをつなぐ

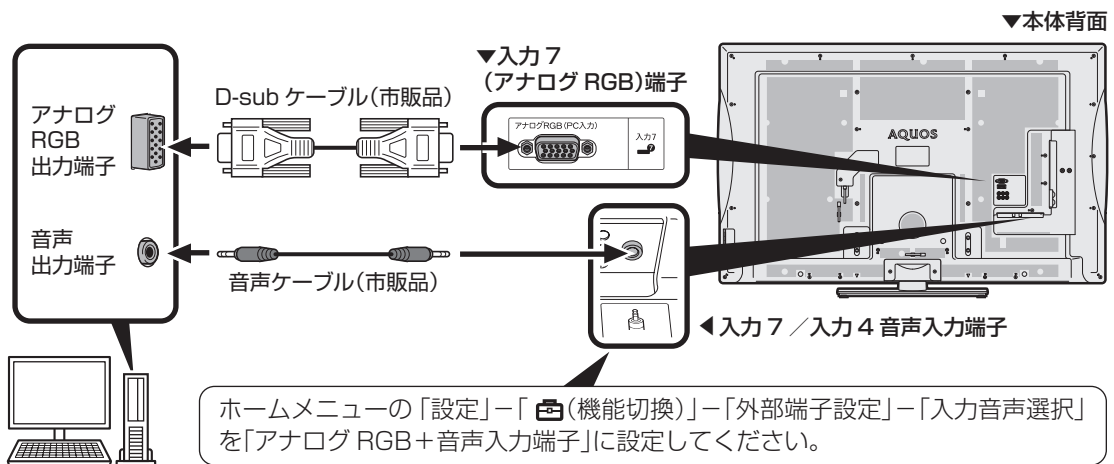
本機を HDMI 出力端子付きパソコンのモニターとして使う場合（デジタル接続）

- 市販の HDMI 認証ケーブルが必要です。

本機を DVI 出力端子付きパソコンのモニターとして使う場合（デジタル接続）

ホームメニューの「設定」－「（機能切換）」－「外部端子設定」－「入力音声選択」を「HDMI＋音声入力端子」に設定してください。

- 市販の DVI/HDMI 変換ケーブルと音声ケーブルが必要です。
- 音声ケーブルはパソコンの端子に合うものをご使用ください。
- 本機の HDMI 端子とパソコンの DVI 端子を変換ケーブルで接続しても、パソコンによっては HDMI 規格に対し十分サポートされていないものもあり、パソコンの画面が正しく表示されなかったり、まったく表示されない場合があります。
- 本機で対応していない信号が入力されたときには「この入力信号には対応しておりません」と表示されます。その場合はお使いのパソコンの取扱説明書にもとづき本機で対応している信号に設定してください。

本機をアナログ RGB 出力端子付きパソコンのモニターとして使う場合（アナログ接続）

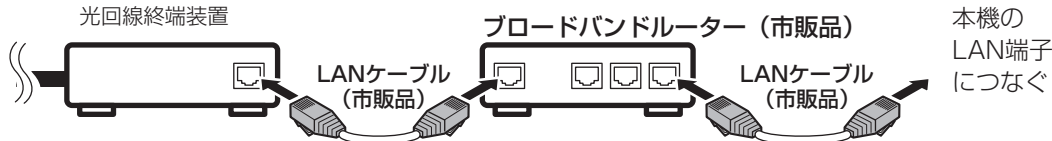
- 市販の D-sub ケーブルと音声ケーブルが必要です。
- 音声ケーブルはパソコンの端子に合うものをご使用ください。

ネットワークにつなぐ

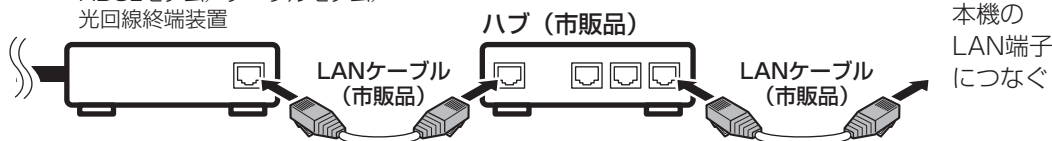
- 本機をインターネットに接続するためには、ブロードバンド環境が必要です。
- **IPTV やアクトビラ ビデオなどの映像配信サービス(動画)をご利用いただくには、光回線(FTTH)が必要です。映像配信サービス(動画)をご利用いただく場合、本機と回線終端装置は LAN ケーブルで接続してください。LAN ケーブル接続以外では諸条件(ノイズなど)によって通信速度が一時的に低下し、画像の乱れや停止などが発生することがあります。**
- IPTV のご利用には、実効速度(常時)20Mbps 以上の光回線(FTTH)が必要です。
- アクトビラ ビデオ・フルのご利用では、実効速度(常時)12Mbps 以上(3D に対応している作品の場合は 16Mbps 以上)の光回線(FTTH)が必要です。

本機をインターネットに接続する

- 本機の LAN 端子とブロードバンドルーターの LAN 側の端子を LAN ケーブルで接続します。

接続例
ADSLモデム／ケーブルモデム／光回線終端装置などに、ルーター機能が付いていない場合

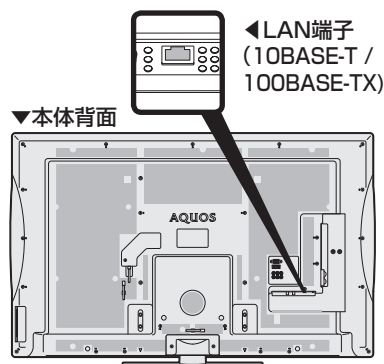
信号変換機器(ルーター機能なし)
・ADSLモデム／ケーブルモデム／光回線終端装置

接続例
ルーター機能付きADSLモデム／ケーブルモデム／光回線終端装置などに、LAN端子の空きがない場合

信号変換機器(ルーター機能付き)
・ADSLモデム／ケーブルモデム／光回線終端装置

接続例
ルーター機能付きADSLモデム／ケーブルモデム／光回線終端装置などに、LAN端子の空きがある場合

信号変換機器(ルーター機能付き)
・ADSLモデム／ケーブルモデム／光回線終端装置

本機のLAN端子
につなぐ

接続例
無線LAN環境の場合

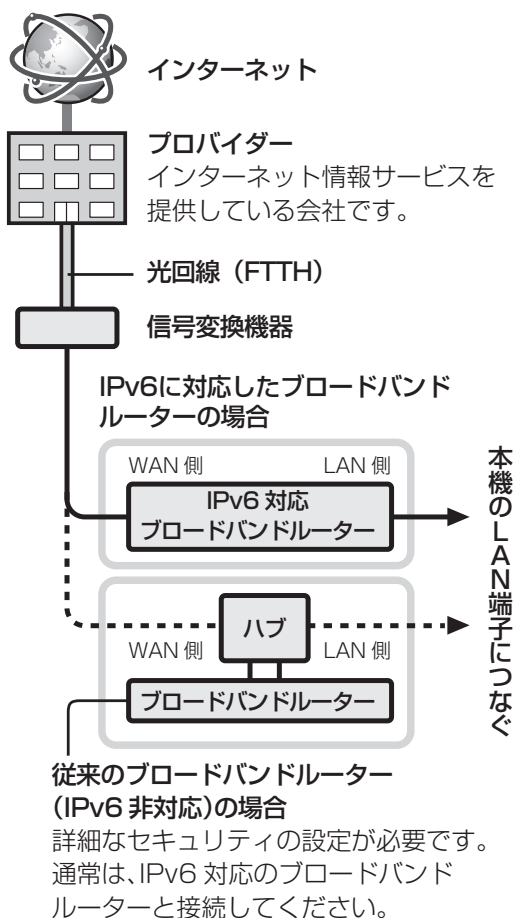
電子取説 「目次から探す」─「インターネット」─「ネットワークの準備」─「アクセスポイントに接続する」をご覧ください。

IPTV（ひかり TV）を見るための つなぎかた

- ご契約の IPTV サービスによって必要になるブロードバンド環境が異なります。詳しくは IPTV サービス申込書や接続に関する案内などをご覧ください。ただし、**本機は IPTV のチューナーを内蔵しているため、IPTV を受信するためのセットトップボックス(STB) は不要です。**

IPv6 環境の場合

- IPTV サービスが、IPv6 方式の場合に必要な接続です。

◆ 重 要 ◆

- **本機の IPv6 接続は IPTV の受信にのみ使用します。**インターネットやホームネットワーク機能をお使いになるときは、IPv4 環境も必要です。

IPv4 環境の場合

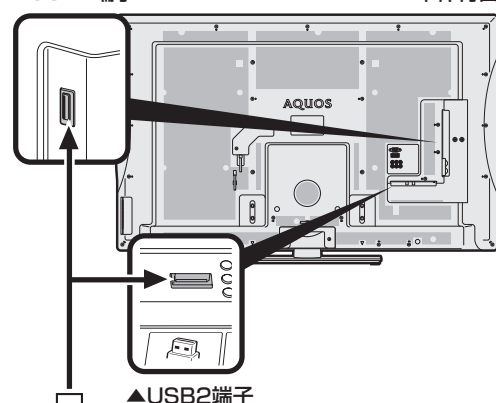
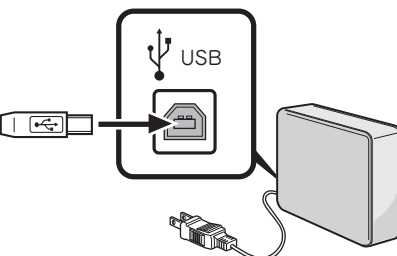
- ブロードバンドルーターと本機を接続してください。(⇒ **40** ページ)

USB ハードディスクを つなぐ

- 本機の USB 端子に、市販の USB ハードディスクをつなぎます。
- 接続には、市販の USB ケーブルを使います。

◆ 重 要 ◆

USB ハードディスクを取りはずすときは

- 電子取説「目次から探す」−「USB ハードディスク」−「準備」−「USB ハードディスクを取りはずすときは」をご覧ください。

USB ハードディスク
（ホームページで紹介している市販品）

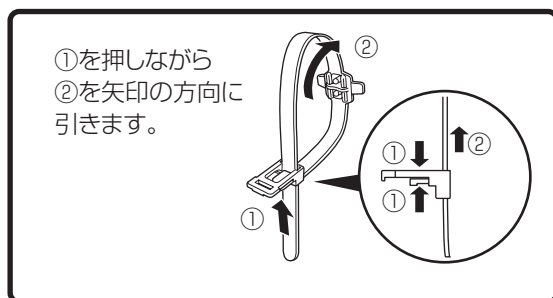
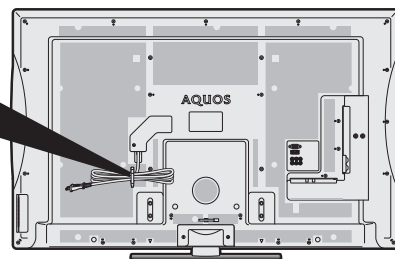
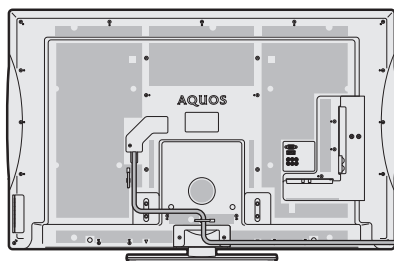
必ず電源を切ってから、接続してください。

6 電源コードをつなぐ

⚠注意 接続が終わるまでは、電源を入れないでください。

・背面の電源コードの電源プラグを、ご家庭のコンセントに接続します。

1

2

・本機は電源コンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにしてください。

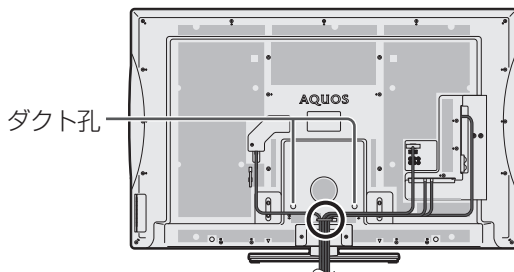
電源プラグ

電源コンセント（AC100V）

◆ 重 要 ◆

・電源コードのプラグは抜けないように、確実に接続してください。
・電源プラグは、コンセントに差し込んだ直後に抜かないでください。まれに、初期設定の状態に戻り、「番組予約」などが消去されます。このような場合、必要に応じて再度、設定を行ってください。（再設定できないものもあります。）
・使用中にいきなり電源プラグを抜いたり、電源をしゃ断したりしないでください。故障の原因になります。

つないだケーブルやコードをケーブルバンドに通す

・本機につないだケーブルが誤って強く引かれた場合、端子部が破損するおそれがあります。端子部の負荷を軽減して破損防止を図るために、ケーブル類は必ずケーブルバンドに通してください。

◆ 重 要 ◆

・ケーブルをまとめるときにダクト孔をふさがないように注意してください。

7 本機を固定する（転倒を防ぐ）

⚠注意

- 地震等での製品の転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止対策を行ってください。
- 転倒･落下防止器具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒･落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適切な補強を施してください。
  また、転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したものですが、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。

- 転倒防止を行う前にすべての接続を済ませておいてください。

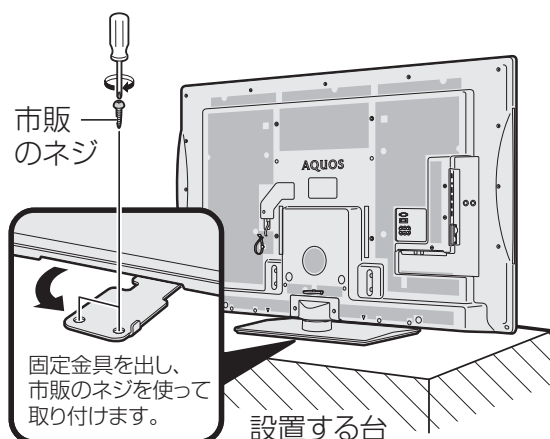
テレビ台などに固定する

◆ 重　要 ◆

- 必ず 2 人以上で作業を行ってください。
- 台の上に設置する場合は、本機の重量に耐えうる、十分な幅と奥行きのある、堅固で転倒しにくい台をお使いください。
- 設置する台がガラスや金属など市販のネジで固定できない場合は、壁や柱に固定してください。(⇒**右記**)

1 設置する台などの上に位置決めする

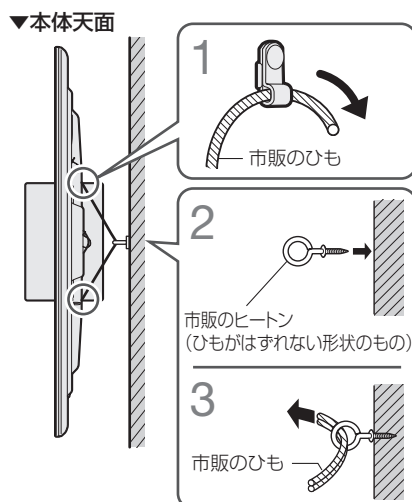
2 市販のネジを使い､固定金具の穴に上からネジを取り付けて固定する

- 市販のネジは、確実に固定できる形状のものを使用してください。

壁や柱に固定する

1 背面のクランプに市販のひもを取り付ける

2 壁または柱に､市販のヒートン(ひもがはずれない形状のもの)を取り付ける

- 取り付けたヒートンが容易にはずれないことを、確認してください。

3 クランプと､壁または柱に取り付けたヒートンの穴に､市販の丈夫なひもを通して本機を固定する

電源の入れかた

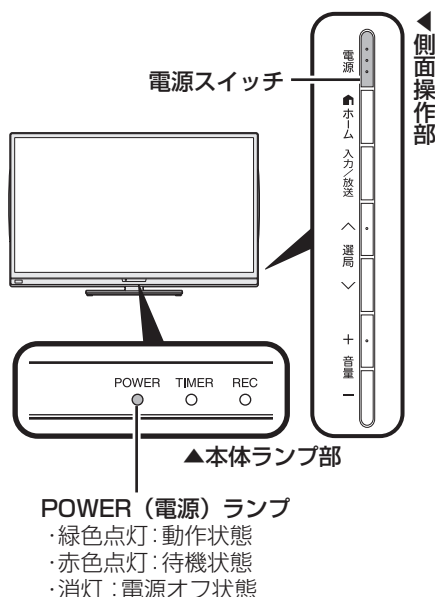
電源を入れる

- すべての接続を終了してから、電源を入れてください。

接続などの基本的な準備のながれ

- ⇒ **22** ページをご覧ください。

1 本体の側面操作部にある電源スイッチを押し、電源を入れる

- POWER(電源)ランプが緑色に点灯します。

2 リモコンの電源ボタンで電源を入/切する

電源 を押す

◆ 重　要 ◆

- 電源プラグを抜くときは、⇒**78**ページの手順に従ってください。

◇おしらせ◇

- 本機の電源を切る際、電源が切れるまでにしばらく時間がかかることがあります。(本機内部の情報をメモリーに記憶するための時間です。)

消費電力について

- 本体の電源を切っても、電源コードを接続している場合は微少な電力が消費されています。

クイック起動機能について

- リモコンで電源を入れたとき、起動時間を短縮してすぐに操作できる状態にする機能です。
- ホームメニューから「設定」−「(視聴準備)」−「各種設定」−「クイック起動設定」で設定します。(この機能を使用すると待機時の消費電力が増えますので、あらかじめ同意の上でご使用ください。)

◇おしらせ◇

- スマートフォンとの連携機能をご利用になる場合は、「クイック起動設定」を「する」に設定する必要があります。かんたん初期設定の手順**10**(⇒**48**ページ)で「する」を選ぶと設定されます。

録画予約設定時や録画中は本体の電源スイッチで電源オフにしないでください

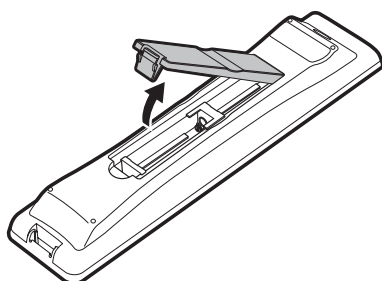
- ホームメニューから「設定」−「(視聴準備)」−「各種設定」−「電源スイッチ設定」を「モード 2」に変えた場合は、録画予約の待機中や録画実行中に本体の電源スイッチを押して「電源オフ」にしないでください。

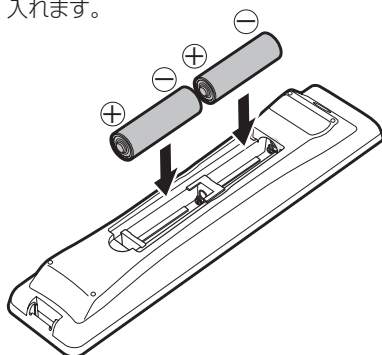
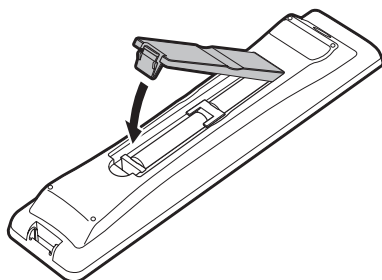
  本体の電源をオフにすると…
  - 予約が実行されません。
  - 録画が停止します。

リモコンを準備する

リモコンに乾電池を入れる

1 リモコン裏側の電池カバーを開ける

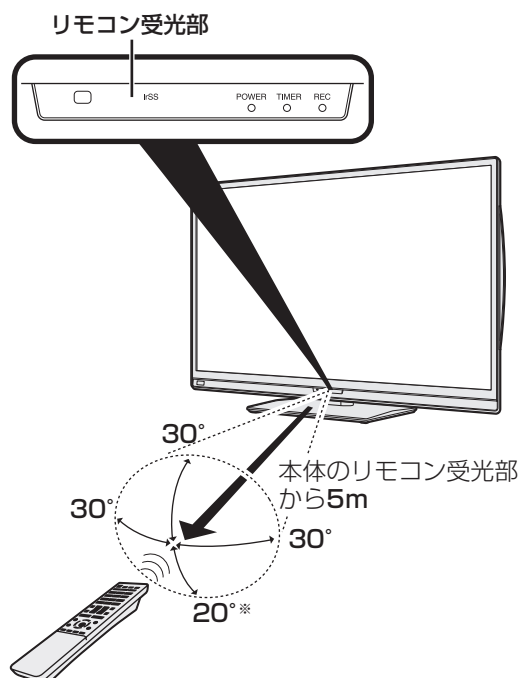
△部分を軽く押しながら、カバーを矢印の方向にスライドします。

2 付属の単3形乾電池（アルカリ）を入れる

バネ状の部分に乾電池の⊖がくるように入れます。

3 電池カバーを元どおりに閉める

◇おしらせ◇

乾電池を交換するときは

- 乾電池は単 3 形のアルカリ乾電池をご使用ください。

リモコンで操作できる範囲

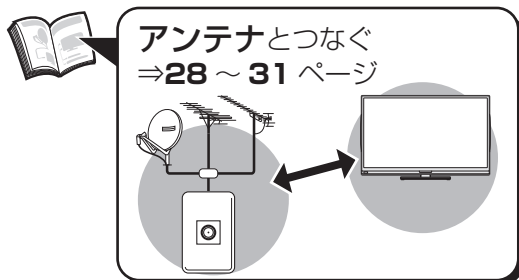
- リモコン送信の範囲と距離、本体のリモコン受信の範囲と距離を合わせて確実に 1 個のリモコンボタンを押してください。

※ 壁に掛けて設置するなどスタンドを使用しない場合、下方向の角度は約 30° になります。

◇おしらせ◇

リモコン使用上のご注意

- リモコンには衝撃を与えないでください。
- 水にぬらしたり湿度の高いところに置かないでください。
- リモコン番号(⇒**76**ページ)を設定する機能があるため、リモコンが付属している本機以外の AQUOS では正しく操作できない場合があります。
- リモコンを操作しても時々反応しなくなったときなどは、乾電池の寿命が考えられます。早めに新しい乾電池と交換してください。

かんたん初期設定をする

B-CAS（ビーキャス）カード
⇒ **27** ページ

- お買いあげ後、B-CAS カードを入れて、初めて電源を入れると「かんたん初期設定」の画面が表示されます。画面に従って操作・設定してください。

ネットワーク機能（インターネットや IPTV など）をお使いになる場合は

- ブロードバンドルーターと LAN 端子を市販の LAN ケーブルで接続してください。

かんたん初期設定の画面が表示されないときは

- ホームメニューから「かんたん初期設定」を行ってください。（⇒ **50** ページ）

◇おしらせ◇

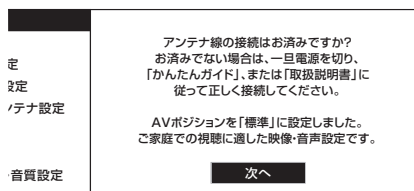
- かんたん初期設定中に戻るボタンで一つ前の画面に戻れます。

1 メッセージを確認して決定する

を押す

アンテナ線の接続はお済みですか?
お済みでない場合は、一旦電源を切り、
「かんたんガイド」、または「取扱説明書」に
従って正しく接続してください。

AVポジションを「標準」に設定しました。
ご家庭での視聴に適した映像・音声設定です。

次へ

途中で設定を中止するときは

- 電源をお切りください。再度電源を入れると「かんたん初期設定」画面が表示されます。

B-CAS カードが正しく挿入されていないときは画面にメッセージが表示されます。内容を確認して、B-CAS カードを正しく挿入してください。

- 電源を切り、⇒ **27** ページの手順に従って B-CAS カードを挿入してください。

リモコンと本体のリモコン番号が異なるときは

- 「リモコンと本機のリモコン番号が違うため操作できません。」と表示されます。
  ⇒ **76** ～ **77** ページの手順に従ってリモコン番号の設定を行ってください。

2 ①お住まいの地域を選ぶ

で選び 決定 を押す

お住まいの地域を設定してください。

北海道	東北
関東	甲信越／北陸
中部／東海	近畿
中国／四国	九州／沖縄

②お住まいの都道府県または地域を選ぶ

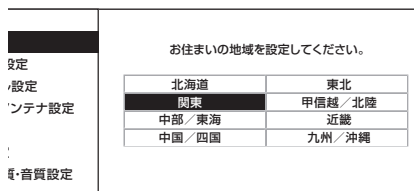
3 郵便番号を入力する

1 ～ 10 で入力し

を押す

お住まいの郵便番号を入力してください。

1 6 2 - 8 4 0 8

次へ

- 「0」を入力するときは 10 を押します。

◆ チャンネルを設定する

4 視聴したい放送を選ぶ

で選び 決定 を押す

- チャンネル設定が終わるまでしばらくお待ちください。
- 選んだ放送のチャンネルが登録されます。
- 手順 **5** の画面が表示されたらチャンネル設定は完了です。

◆ BS･CSアンテナを設定する

5 「する」または「しない」を選ぶ

で選び

を押す

- BS･CS アンテナを接続しない場合は「しない」を選び、次ページの手順 **7** に進みます。

設定
設定
ンテナ設定
BS／CSのアンテナを設定しますか?
設定しない場合は、「しない」を選択してください。
する　しない

- 「する」を選んだときは、「BS ／ CS アンテナ電源自動設定中」の画面が表示されます。次の画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

チャンネル設定の途中で、「地上デジタル放送のチャンネルが見つかりませんでした。」と表示されたときは

- **地上デジタル放送を受信できる地域の場合**
  下記の「かんたん初期設定の途中でアンテナの接続を確認するときは」をご覧ください。
- **まだ地上デジタル放送を受信できない地域の場合**
  決定ボタンを押してください。アナログ放送のチャンネル設定が始まります。

チャンネル設定の途中で、「地上アナログ放送のチャンネルが見つかりませんでした。」と表示されたときは

- **地上アナログ放送を受信する場合**
  本体の電源スイッチでいったん電源を切って VHF/UHF アンテナの接続を確認してください。電源を入れ直すとかんたん初期設定の画面が表示されます。
- **地上アナログ放送を受信しない場合**
  決定ボタンを押して手順 **5** へ進みます。

次の画面が表示されたときは

- **BS・CS アンテナを接続していないとき**
  「次へ」を選び決定ボタンを押してください。
- **BS・CS アンテナを接続しているとき**
  下記の「かんたん初期設定の途中でアンテナの接続を確認するときは」をご覧ください。

上記の画面で「手動で再設定」を選んだときは

接続確認
地域設定
郵便番号設定
チャンネル設定
受信強度が60以上になるように
アンテナの向きを調整してください。
BS･CS アンテナ電源　オート　入　切

- 左右カーソルボタンで、BS・CS アンテナに電源を供給するかを選び、決定ボタンを押したあと、「次へ」で決定ボタンを押すと、次ページの手順 **7** の画面が表示されます。

アンテナ接続を変更したときや移転などで BS・110 度 CS デジタル用アンテナの電源の設定を変えるときは
(⇒ 56 ～ 57 ページ)

かんたん初期設定の途中でアンテナの接続を確認するときは

- 終了ボタンを押し、表示される画面で「する」を選んで、いったん、かんたん初期設定を終了してください。その後「設定」－「 (視聴準備)」－「各種設定」－「電源スイッチ設定」を「モード 2」にし、電源スイッチで電源を切ってアンテナの接続を確認してください。かんたん初期設定をやり直すときは**50**ページをご覧ください。

次のページに続く

6 受信状態を確認して決定する

決定を押す

- 「受信状態:良好です。【A】」と表示されないときは下記の対処が必要です。

「受信状態：良好です。【A】」と表示されないときは

画面に表示されるメッセージ例	対処のしかた
受信強度が 60 以下です。【B】	受信強度が 60 以上になるようにアンテナの向きや接続を調整してください。
アンテナ信号が強すぎます。【C】	アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の取り付けが必要です。販売店などにご相談ください。
アンテナ信号が不足しています。【C】	ブースターの調整や取り付けが必要です。販売店などにご相談ください。
アンテナ信号が良くありません。【D】	受信強度が 60 以上で表示される場合、アンテナ信号が劣化しています。アンテナの設定が合っているか確認しても改善しない場合は、販売店などにご相談ください。
受信できません。【E】	**前**ページの「かんたん初期設定の途中でアンテナの接続を確認するときは」をご覧ください。

◆ ネットワーク(LAN)設定をする

7 LAN設定をする場合は「する」を選ぶ

で選び
決定を押す

- LAN 設定をしない場合は「しない」を選び、**次**ページの手順 **14** に進みます。
- LAN 設定が終わるまでしばらくお待ちください。

8 「確認」で決定する

を押す

9 電源を入れたときに表示する画面を設定する

で選び
を押す

「テレビ」
- テレビの画面が表示されます。

「テレビ＋インターネット」
- 左側にテレビの画面が表示され、右側にインターネットの画面が表示されます。

10 ホームネットワーク経由で本機の操作をする場合は「する」を選ぶ

で選び
を押す

- 「する」を選ぶと待機時の消費電力が増えます。あらかじめ同意の上でご使用ください。
- AQUOS リモートの対応機器については AQUOS サポートステーション「他の機器と接続するには」をご覧ください。
  AQUOS サポートステーション
  http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

11 「確認」で決定する

を押す

12 IPTV(ひかりTV)を見る場合は「する」を選ぶ

で選び
決定を押す

IPTV(ひかり TV)を見るには
- IPTV サービスの契約、光回線の契約、ブロードバンド環境が必要です。

13 「確認」で決定する

を押す

14 画質や音質を設定する場合は「する」を選ぶ

で選び
を押す

- AV ポジションがぴったりセレクトに設定されます。
  「お好み画質・音質設定」は AV ポジションが「ぴったりセレクト」のときに有効となる設定です。

15 ①お好みの画像（または音質）を選ぶ
②「次へ」を選ぶ

で選び
を押す

16 設定された内容を確認し、間違いがなければ「完了」を選ぶ

で選び
を押す

設定内容が表示されますので確認してください。

17 メッセージを確認して決定する

を押す

- これで設定は完了です。

映りかたを確かめましょう。

> 番組を選ぶ（基本的な選びかた）
> ⇒ **51** ページ
> 放送が受信できないときは
> ⇒ **66 ～ 69** ページ

◇**おしらせ**◇

- ホームメニューから「設定」−「✉（お知らせ）」−「システム動作テスト」を選んで、B-CAS カードが正しく挿入されているかをテストできます。

引っ越しなどで「かんたん初期設定」をやり直す場合は

- ホームメニューから「設定」－「（視聴準備）」－「かんたん初期設定」を選びます。
- 「かんたん初期設定」が表示されますので、かんたん初期設定を行ってください。（⇒**46**ページ）

110度CSデジタル放送を視聴するための準備

- 110度CSデジタル放送を初めて選局するときは、CSネットワーク情報を取得する必要があります。次の手順で操作してください。

1 **CSを押してCSデジタル放送を選ぶ**

2 **1を押して100chを選び、約5秒待つ**

3 **2を押して001chを選び、約5秒待つ**
- 2011年6月現在CS001chは放送されていません。

4 **番組表(予約)を押して、選局したい放送局のチャンネル番号が表示されることを確認する**

選局したい放送局のチャンネル番号が表示されない場合

- 1または2を押し、目的のチャンネル番号が表示されるまで、約5秒待ちます。（1または2を押したとき、「現在放送されていません。[E203]」と表示される場合がありますが、そのままの状態で約5秒待ってください。そのまま待つことでCSネットワーク情報を取得することができます。）

「かんたん初期設定」を行っても受信できない放送があるときや設定の変更をしたい場合

デジタル放送用アンテナの設定をする
（⇒ **56** ページ）
- デジタル放送のアンテナの向きの調整や信号の強さのテスト、BS·110度CSデジタル放送用アンテナへの電源供給の設定を行います。

お住まいの地域向けの地上デジタル放送を受信するために（地域選択／郵便番号設定）
（⇒ **58** ページ）
- デジタル放送の地域情報を視聴するために、お住まいの地域を選んで郵便番号を入力します。

地上デジタル放送のチャンネルを追加したり設定をやり直すときは（⇒**58**ページ）
- 受信できる地上デジタル放送のチャンネルを探します。

デジタル放送のチャンネルの個別設定
（⇒ **59** ページ）
- デジタル放送のチャンネルの設定を個別に変更することもできます

地上アナログ放送のチャンネルを追加したり設定をやり直すときは（⇒**61**ページ）
- 地上アナログ放送（従来のVHF·UHF放送）の受信設定です。工場出荷時は、東京地区で受信できるVHFチャンネルが設定されています。
- 受信できる地上アナログ放送のチャンネルを探します。

地上アナログ放送のチャンネルの個別設定
（⇒ **63** ページ）
- 地上アナログ放送のチャンネルの受信状態や設定を個別に変更することもできます。

CATV（ケーブルテレビ）のチャンネルの設定（⇒ **64** ページ）
- CATVチャンネルのスキップを解除します。

地デジ難視対策衛星放送を視聴するための設定
- BS291ch～BS298chは一般の方は視聴できない放送のため、非視聴に設定されています。この放送を視聴する場合は、スキップ設定（⇒**60**ページ）で「BSデジタル」の「地デジ難視対策衛星放送」を「一括設定」で「両方しない」に設定してください。

テレビを見る

1 テレビの電源を入れる

電源 を押す

POWER(電源)ランプ
緑色点灯:動作状態
赤色点灯:待機状態

2 放送の種類を選ぶ

地上 BS CS のいずれかを押す

- 見たい放送の種類を選びます。

地上	• 地上デジタル放送 • 地上アナログ放送 (2011 年 7 月 24 日までの放送)
BS	• BS デジタル放送
CS	• 110 度 CS デジタル放送

3 チャンネルを選ぶ

- 1 〜 12 または 選局 を押します。
- 選局 は押すごとに、見ている放送のチャンネルが切り換わります。

4 音量を調整する

＋音量－ や 消音 を押す

- 音量ボタンや消音ボタンで調整します。(入力ごとに別々の音量に設定できます。)
- 音量ボタンは、「＋」で音が大きく、「－」で音が小さくなります。
- 消音ボタンを押すと、一時的に音を消せます。

- 画面下部に音量レベルが表示されます。

番組表の使いかた

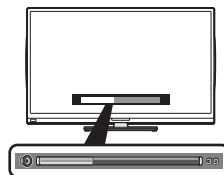
- 地上 BS CS を押して、見たい放送の種類を選びます。
- 番組表(予約) を押すと、番組表が表示されます。

番組表の画面例

で番組を選び、決定 を押す

放送中の番組を選ぶと
⇒放送中の番組が映ります。

放送前の番組を選ぶと
⇒予約になります。

番組表を消すときは

- 番組表(予約) または 終了 を押します。

本機の入力の切り換えかた

- 入力切換 を押すと、入力切換メニューが表示されます。
- 入力切換メニュー表示中に繰り返し押して、接続した機器の入力名を選びます。

連動データ放送の選びかた

- テレビ放送に連動したデータ放送がある場合は、データ連動 d を押すと連動データ放送が視聴できます。
- もう一度押すと、テレビ放送に戻せます。

ホームメニューの使いかた

- 本機の設定や操作を行うとき、その入り口となる画面のことを「ホームメニュー」と呼びます。
- ここでは、ホームメニューの見かたや使いかたについて説明します。

ホームメニューの画面例

ホームメニュー項目

ガイド表示
- 選択した項目のガイダンスが表示されます。
- 選択した項目により表示内容が変わります。
- この位置、もしくは画面下に表示されます。

機能選択メニュー項目
（ホームメニュー項目により、表示されない場合もあります。）
- アイコンを選びます。
- 選んだ機能選択メニュー名が表示されます。

テレビ　ツール　リンク操作　リンク予約　番組表予約　チャンネル　設定　ホーム

項目選択　決定 実行　戻る 前に戻る

視聴準備

かんたん初期設定
テレビ放送設定
通信(インターネット)設定
録画機器選択
USB-HDD設定
お好み画質・音質設定
視聴設定
各種設定
Language(言語)　[日本語]
個人情報初期化

ジャーナルニュース
視聴者が選ぶ「日本のリゾート　ベスト 10」の見どころを徹底紹介！

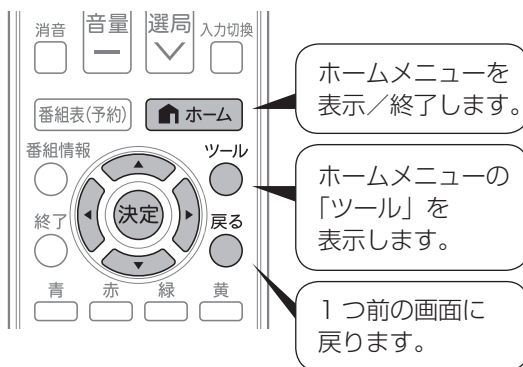
11/3［火］午前 11 時 00 分

番組タイトルと番組情報
- 視聴中の番組タイトルが表示されます。
- 視聴中の番組情報が、テロップとして流れます。

視聴中の画面
- ホームメニューを呼び出すと、視聴中の画面は縮小表示されます。

機能別選択・設定項目
- 項目によって、表示や操作のしかたは異なります。それぞれのページをご覧ください。

ホームメニューの操作に使うリモコンのボタン

- 本体のボタンでもホームメニューを操作できます。（⇒ **20** ページ）

ホームメニューの基本的な操作のしかた

1 ホームメニューを表示する

ホーム を押す

2 ホームメニュー項目を選ぶ

で選び 決定 を押す

例：レコーダー接続時

※ レコーダーがファミリンク接続されていないときは表示されません。

- ホームメニュー項目を選び直したいときは、戻るボタンを押します。
- リモコンのツールを押して、直接「ツール」を表示することもできます。

3 機能選択メニューがある場合は、項目を選ぶ

で選ぶ

例：「設定」の場合

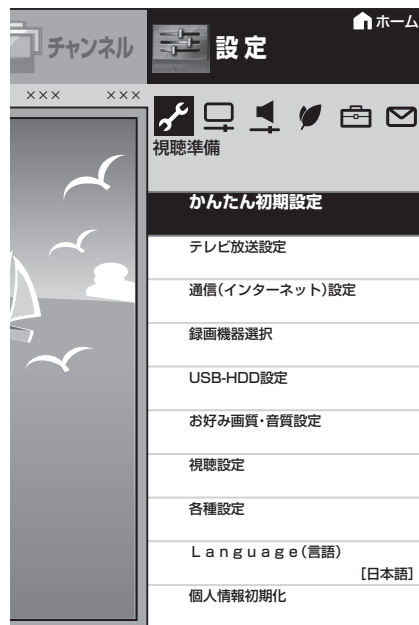
4 機能別選択・設定項目を選ぶ

で選び 決定 を押す

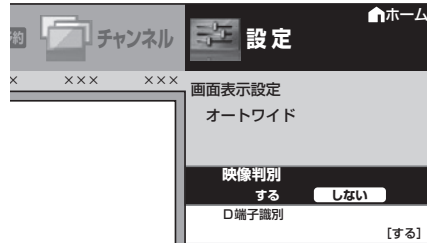
- 表示される項目は、状況によって異なります。
- 各項目については、電子取説「目次から探す」－「番組の選びかた」－「はじめに」－「ホームメニューの項目一覧」をご覧ください。

▼「視聴準備」の機能別項目例

5 ガイド表示に従って、操作を進める

で選び 決定 を押す

- 選んだ項目により、さらに項目を選ぶ操作が続くこともあります。
- 項目により、操作のしかたが異なります。ガイド表示をご覧ください。

▼ガイド表示の例

▼設定画面の例

電子取扱説明書の使いかた

- ご使用中に 取扱説明 ? (操作ガイド) を押すと、画面に取扱説明を表示できます。
- もくじやキーワードから探すときや、故障かな？と思ったときは、視聴中に 取扱説明 ? (操作ガイド) を押して、表紙から項目を選んでください。
- ホームメニューの設定などで、わからない場合は設定項目を選んだ状態か設定画面を表示しているときに 取扱説明 ? (操作ガイド) を押すと、その画面の説明が表示されます。

◇**おしらせ**◇

- 次の場合は電子取扱説明書を表示することはできません。
  ー 入力切換がインターネット、ホームネットワーク、USB メディア、IrSS のいずれかになっている場合
- 設定画面によっては、表紙が表示される場合があります。

項目を選んで説明を探す

1 視聴中に、電子取扱説明書を表示する

取扱説明 ? (操作ガイド) を押す

ホームメニューを表示している場合

- 選んでいる項目の説明が表示されます。

2 「目次から探す」を選ぶ

で選び 決定 を押す

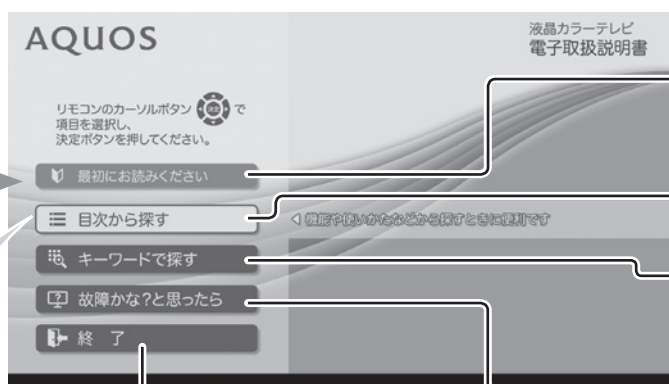
3 知りたい内容に当てはまる項目を選ぶ

で選び 決定 を押す

4 説明のタイトルを選ぶ

- 左右カーソルボタンでページを切り換えられます。
- 選んだ説明が表示されます。
- 画面上の下線が付いている文字を選んで、決定すると関連する説明が表示されます。

で選び 決定 を押す

電子取扱説明書の最初の画面について

- 電子取扱説明書のかんたんな使いかたや注意事項を記載しています。
- 機能や使いかたなどから探せます。
- 知りたい内容をキーワード（五十音順やアルファベット順）で探せます。
- 故障かな？と思ったときはご確認ください。
（⇒ **72** ページ）

- 電子取扱説明書を終了します。

「目次から探す」の中の記載内容について

番組の選びかた
・リモコン
・ホームメニュー
・番組表　など

テレビを見るための基本操作、文字入力のしかた、用語について説明しています。

USBハードディスク
・使うための準備
・録画・予約・再生
・2番組同時録画　など

USB ハードディスクを使って録画・再生する方法を説明しています。

インターネット
・使うための準備
・AQUOS. jp
・ブラウザの使いかた　など

テレビを有線／無線 LAN につなぎ、インターネットのコンテンツを楽しめます。

映像・音声調整
・画面サイズ
・画質設定
・3D映像　など

映像や音声をお好みに合うように調整する方法や3D 表示について説明しています。

ファミリンク機能
・使うための準備
・録画・予約・再生
など

ファミリンクに対応しているレコーダーやオーディオ機器などの活用のしかたを説明しています。

IPTV（ひかりTV）、アクトビラ、YouTube
・使うための準備
・動画再生　など

IPTV（ひかり TV）を見るための操作、インターネット上の動画再生のしかたを説明しています。

便利な機能
・2画面表示
・タイマー機能
・表示設定　など

視聴中の便利な機能、２画面表示のしかた、タイマー機能、表示やその他の設定のしかたを説明しています。

外部機器
・ビデオデッキ
・パソコン
・USBメモリー　など

DVD プレーヤーやパソコンの画面、USB メモリーに保存している画像などの表示のしかたを説明しています。

ホームネットワーク
・写真表示
・映像・音楽の再生
など

ホームネットワーク上のレコーダーやメディアサーバー、プリンターなどの活用のしかたを説明しています。

デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは

デジタル放送用アンテナの設定をする

- デジタル放送用のアンテナの接続を変更したときなどは、再度アンテナ設定画面を見ながらアンテナ電源の設定やアンテナの向きを調整します。(初めて設置するときや引っ越したときなどは、「かんたん初期設定」(⇒**46・50**ページ)を行ってください。)
- 地上デジタル放送にはアンテナ電源入/切の設定はありません。

アンテナ電源の設定

項目	内　容
オート	• 個人でアンテナを設置しているときに選びます。 • 本機の電源が入っているとき、アンテナ電源の設定を自動的に制御してアンテナに電源を供給します。(リモコンで電源を切ったときは、アンテナ電源も切れた状態になります。)
入	• 「オート」を選んでBSデジタル放送が受信できたりできなかったりするときは、「入」を選びます。 • 本機の電源が入っているとき、アンテナに電源を供給します。リモコンで本機の電源を切ったときも、常にアンテナ電源は「入」になります。
切	• 共聴アンテナに接続しているときなど、電源を供給しないときに選びます。 • アンテナ電源が常に「切」になります。

アンテナ設定画面について

- 共聴アンテナなどに接続したときの「BS･CSアンテナ電源」の設定を誤って「入」にしたり、新しくアンテナの接続を変更したりした場合で、「アンテナ線の接続や設定に不具合がありますのでアンテナ電源を「切」にしました。受信できない場合は、本体の電源を切ってから、アンテナの接続を確認してください。」などのお知らせが表示されたときは、電源を入れ直してください。
- アンテナ設定画面は無操作のまま 1 分経過しても消えません。消すときは、終了ボタンを押してください。

アンテナの電源の設定を変える/電波の強さ(受信強度)を確認する

- アンテナに電源を供給するかどうかの設定と、受信強度の確認･調整をします。

◆ 重　要 ◆

- アンテナ電源供給の設定は、アンテナに対して電源を供給するためのものです。もし、本機とアンテナの間にブースターなどの機器を接続して使用される場合は、専用の電源が必要です。

1 BSを押す

BSデジタル放送を選ぶ

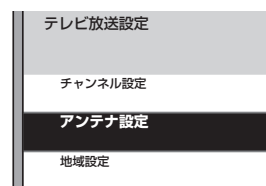
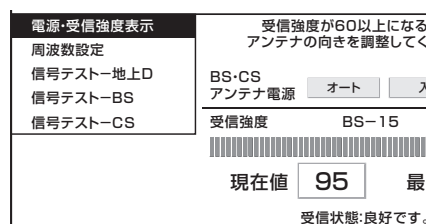
- 画面に「放送が受信できません」と表示されても、設定はできます。

2 ホームを押し　で選び　決定を押す

ホームメニューを表示して、「設定」−「(視聴準備)」−「テレビ放送設定」を選ぶ

3 で選び　決定を押す

「アンテナ設定」を選ぶ

4 で選び　決定を押す

「電源･受信強度表示」を選ぶ

◆ アンテナに電源を供給するための設定

5 「オート」「入」「切」のいずれかを選ぶ

で選ぶ

◆ 受信強度の調整

6 受信強度が最大になるようにアンテナの向きを調整する

- 受信強度が 60 以上になるように、アンテナの向きを調整してください。（アンテナの向きの調整が済んでいる場合は、この手順は必要ありません。）

7 調整が終わったら決定ボタンを押す

を押す

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

- 手順 **6** で「受信状態: 良好です。【A】」と表示されないときは、**48**ページをご覧になり適切な処置を行ってください。
- 手順 **5** または手順 **6** の画面で、「受信状態一覧へ」を選び決定を押すと受信状態一覧画面が表示されます。（⇒ **66** ページ）
- 受信強度表示はアンテナの角度の最適値を確認するためのものです。表示される数値などは、具体的な受信強度などを示すものではありません。（表示される数値は、受信 C/N※の換算値です。）
  ※受信 C/N とは放送に関する信号とノイズなどの不要な信号の割合です。

デジタル放送の受信強度の確認（信号テスト）をするときは

- 各デジタル放送の信号テストができます。

（例） BSデジタル放送の信号テストをする

1 **56ページの手順1〜3を行い、「信号テストーBS」を選び、決定する**

2 **カーソルボタンで確認したい項目を選び、決定する**

- 現在、信号が送られているのは「BS-1」「BS-3」「BS-9」「BS-13」「BS-15」「BS-17」です。（2011 年 6 月現在）

- 「受信状態: 良好です。【A】」と表示されていることを確認してください。
- 「受信状態: 良好です。【A】」と表示されないときは、**48** ページをご覧になり、適切な処置を行ってください。

3 **カーソルボタンで「終了」を選び、決定する**

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

地上デジタル放送・110 度 CS デジタル放送の受信強度の確認（信号テスト）について

- 手順 **1**（**56** ページの手順 **4**）で「信号テストー地上 D」または「信号テストー CS」を選び、決定ボタンを押します。あとは同じ要領で行ってください。

周波数設定について

- 手順 **1**（**56** ページの手順 **4**）で「周波数設定」を選ぶと、新しい衛星が追加されたり現在の衛星が故障したりした場合などに、新しい周波数を入力することで受信に必要な情報を取得できます。
  通常は、設定する必要はありません。
  （例:BS15 のアンテナ受信周波数 11996 を入力すると 15ch の受信強度が表示されます。）

お住まいの地域向けの地上デジタル放送を受信するために（地域選択／郵便番号設定）

- お住まいの地域に向けたデジタル放送の緊急ニュースなどの文字情報やデータ放送などの地域情報を受信するために必要です。
- チャンネル設定（⇒**右記**）の前に、必ず地域設定をしてください。

地域選択

- ホームメニューから「設定」－「🔧（視聴準備）」－「テレビ放送設定」－「地域設定」－「地域選択」を選び、お住まいの地域を選びます。

◇**おしらせ**◇

- 地域選択を変更した場合は、「チャンネル設定」から「地上デジタル一自動」を行ってください。

郵便番号設定

- ホームメニューから「設定」－「🔧（視聴準備）」－「テレビ放送設定」－「地域設定」－「郵便番号設定」を選び、お住まいの地域の郵便番号を［1］～［10］で入力します。
- 入力した番号を修正するときは、修正したい欄を左右カーソルボタンで選び、入力をやり直します。

◇**おしらせ**◇

- 郵便番号で「0」を入力したい場合は、［10］を押します。

地上デジタル放送のチャンネルを追加したり設定をやり直すときは

- 地上デジタル放送のチャンネル設定を再度行う場合の手順です。**チャンネル設定の前に、必ず「地域設定」（⇒左記）をしてください。**
- 地上デジタル放送を選んだ状態で、ホームメニューから「設定」－「🔧（視聴準備）」－「テレビ放送設定」－「チャンネル設定」－「地上デジタル」－「地上デジタル－自動」を選び、「する」を選びます。
- チャンネル設定が終わると結果の画面が表示されます。受信状態が悪い場合は、画面に表示される対処方法が必要です。

◆ **重　要** ◆

- 「地上デジタル一自動」を行った後で、新しく開始された放送チャンネルを追加する場合、「地上デジタル一自動」の代わりに「地上デジタル一追加」を選びます。すでに登録されているチャンネルはそのまま残り、新しく確認されたチャンネルが追加されます。追加が終わったら、「終了」で決定ボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

地上デジタル放送の CATV（ケーブルテレビ）放送対応について

- CATV による地上デジタル放送の視聴については、お客様が契約されている CATV 会社にお問い合わせください。
- 本機で受信できるケーブルテレビ（CATV）の方式は、「パススルー方式」（UHF 帯、ミッドバンド［MID］帯、スーパーハイバンド［SHB］帯、VHF 帯）です。「トランスモジュレーション方式」の場合、ケーブルテレビ専用受信機を介して視聴できます。
- CATV パススルー方式とは、CATV 配信局が地上デジタル放送を、内容はそのままで CATV 網に流す放送方式です。この方式では、地上デジタル放送が本来使っている UHF 帯のチャンネルとは異なる他のチャンネルに周波数を変換して再送信することがあります。

デジタル放送の チャンネルの個別設定

- 登録したデジタル放送のチャンネルは、次の設定内容を変更できます。

項目	内容
数字ボタン	• リモコンの数字ボタン(チャンネルボタン)を押したときに受信するチャンネルを設定します。
枝番	• 受信した放送局の3桁チャンネル番号が重複している場合は、4桁め(枝番)を変更して区別できます。 (地上デジタル放送の場合のみ)
スキップ	• 選局ボタンで選局をしたときに、視聴しないチャンネルを飛ばせます。 「する」でスキップが設定され、「しない」で解除されます。

◇**おしらせ**◇

地上デジタル放送の受信チャンネル番号と枝番について

- 地上デジタル放送では、1 ～ 12 の数字ボタン(チャンネルボタン)の番号のほかに、3 桁のチャンネル番号が付けられています。1 つの放送局が複数の番組を同時に放送する場合には、3 桁のチャンネル番号で区別することになります。
- 3 桁のチャンネル番号は、放送地域内(都府県、北海道は 7 地域)ではそれぞれ別番号になっています。したがって、通常は 3 桁で放送番組を特定できます。ただし、お住まいの地域により、隣接する他地域の放送も受信できることがあります。この場合は、3 桁チャンネル番号が重複することがあります。このときは、さらにもう 1 桁(これを「枝番」といいます)を入力して選局することになります。

(例)地上デジタル放送の数字ボタンを変更する

1 地上 / BS / CS のいずれかを押す

デジタル放送を選ぶ

2 ホーム を押し

で選び

を押す

ホームメニューを表示して、「設定」－「(視聴準備)」－「テレビ放送設定」を選ぶ

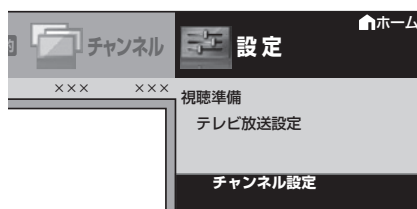
3

で選び

を押す

「チャンネル設定」を選ぶ

チャンネル　設定　ホーム
×××　×××
視聴準備
テレビ放送設定
チャンネル設定

4

で選び 決定 を押す

「地上デジタル」「BSデジタル」「CSデジタル」のいずれかを選ぶ

地上デジタル
BSデジタル
CSデジタル
地上アナログ

地上デジタル放送の受信チャンネルの
(チャンネル設定をする前に、必ず地
お住まいの地域に設定しておいてく

- 「地上デジタル」を選んだ場合は、手順 **5** に進みます。
- 「BS デジタル」または「CS デジタル」を選んだ場合は、手順 **6** に進みます。

5

で選び

を押す

「地上デジタル－個別」を選ぶ

地上デジタル－自動
－追加
－個別
－選局順
チャンネル更新設定

チャンネル	3桁
テレビ 1 ●●●●●	051
テレビ 2 ●●●●●	061
テレビ 3 ●●●●●	121
テレビ 4 ●●●●●	041
テレビ 5 ●●●●●	021

次のページに続く

6 変更したいチャンネルを選ぶ

で選び
を押す

7 「数字ボタン」を選ぶ

で選び
を押す

ルー自動	チャンネル	3桁	スキップ
ー追加	テレビ 1 ●●●●●	051-1	
ー個別	テレビ 2 ●●●●●	051-2	
ー選局順	テレビ 3 ●●●●●	121	
更新設定	テレビ 4 ●●●●●	041	
	テレビ 5 ●●●●●	021	

変更する項目を選択してください。

数字ボタン　枝番　スキップ　戻る

- 枝番を入力する場合は、「枝番」を選び、1～9を押します。
- チャンネルをスキップする場合は、「スキップ」を選び、左右カーソルボタンで「する」を選びます。このメニューで行ったスキップ設定は、**右記**のチャンネルスキップ設定と連動します。

8 入力欄に数字を入力して決定する

～
で入力し
決定
を押す

- 数字ボタンが重複している場合は、「数字ボタンが重複しています。置き換えますか？」と表示されます。(枝番の場合は、「枝番が重複しています。置き換えますか？」と表示されます。)

  数字ボタンを置き換える場合
  手順 **9** に進みます。
  置き換えずに別の数字にする場合
  画面の「戻る」を選び、別の数字を入力して決定ボタンを押してください。

9 「確認」を選ぶ

で選び
を押す

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

チャンネルスキップ設定

1 **「地上D」「BS」「CS」ボタンのいずれかを押して、デジタル放送を選ぶ**

2 **ホームメニューを表示して、「設定」－「(機能切換)」－「番組表設定」を選ぶ**

番組表設定

3 **上下カーソルボタンで「スキップ設定」を選び、決定する**

4 **上下カーソルボタンで「地上デジタル」「BSデジタル」「CSデジタル」のいずれかを選び、決定する**

5 **上下カーソルボタンで「放送事業者」を選び、決定する**

- 「スキップ設定を一括で行うか個別に行うかを選択してください」と表示されます。
- CS デジタルの場合、3 桁チャンネルの範囲を選び手順 **7** に進みます。

6 **カーソルボタンで「一括設定」または「個別設定」を選び、決定する**

- 「一括設定」を選んだ場合、「この放送事業者内の全てのチャンネルを番組一覧表と、選局順逆時にスキップしますか？」と表示されます。手順 **8** に進んでください。
- 「個別設定」を選んだ場合、手順 **7** へ進みます。

7 **スキップしたいチャンネルを選び、決定する**

8 **カーソルボタンで「両方する」「番組表のみ」「選局のみ」「両方しない」のいずれかを選び、決定する**

両方する	・選局時と番組表のどちらもスキップします。 ・この設定をしたチャンネルは、選局時と、番組表のどちらにも、表示されなくなります。
番組表のみ	・番組表のみ表示されなくなります。 ・選局時は表示されます。
選局のみ	・選局時のみ表示されなくなります。 ・番組表には表示されます。
両方しない	・選局時と番組表のどちらもスキップされません。 ・この設定をしたチャンネルは、選局時と番組表のどちらにも表示されます。

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

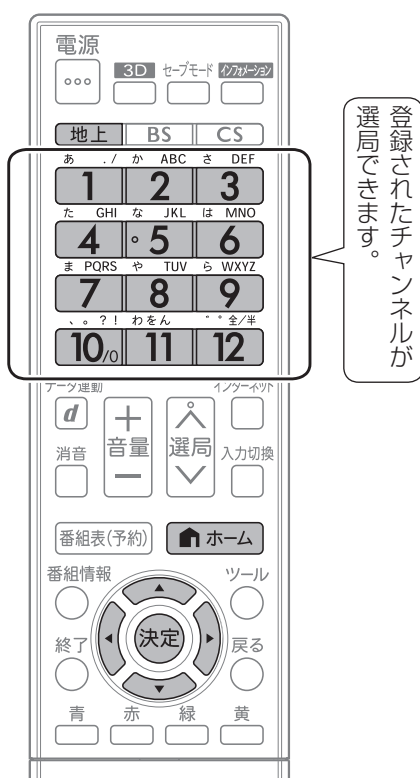
- 地デジ難視対策衛星放送(BS291ch ～ BS298ch)は一般の方は視聴できないため、工場出荷時の設定は、「両方する」になっています。この放送を視聴する場合は、BS デジタルの「地デジ難視対策衛星放送」を一括設定で「両方しない」に設定してください。

地上アナログ放送の受信の設定を個別に行うときは

地上アナログ放送のチャンネルを追加したり設定をやり直すときは

- お住まいの地域で受信できる VHF と UHF のチャンネルを自動的に登録できます。
- 登録できるチャンネルは最大 12 局です。

◆ 重 要 ◆

- 登録完了まで電源を切らないでください。
- この操作を行うと、現在登録されているチャンネルが消去され、新たにチャンネルが登録されます。

1 地上を押す

地上アナログ放送を選ぶ

2 ホームを押し で選び 決定を押す

ホームメニューを表示して、「設定」－「(視聴準備)」－「テレビ放送設定」を選ぶ

3 で選び 決定を押す

「チャンネル設定」を選ぶ

4 で選び 決定を押す

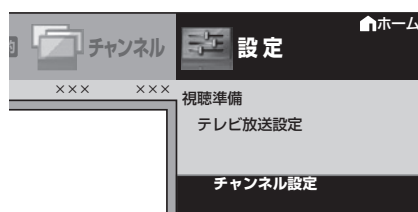
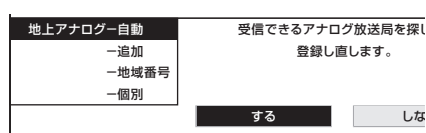
「地上アナログ」を選ぶ

5 で選び 決定を押す

「地上アナログー自動」を選ぶ

次のページに続く

6 「する」を選ぶ

で選び
決定
を押す

グー自動
ー追加
ー地域番号
ー個別

受信できるアナログ放送局を探して、
登録し直します。

する　しない

- 画面左上に「サーチ中」が表示されます。

- 見つかったチャンネルが表示されます。
- 放送チャンネルがまったく見つからない場合は、設定前のチャンネルが表示されます。
- チャンネル設定が完了すると「登録しました」と表示され、しばらくすると手順 **3** の画面に戻ります。
- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇おしらせ◇

「地上アナログー自動」を行っても受信できないチャンネルがあるときは

- 地域番号一覧表（Web **110**～**113**ページ）に掲載されている都市の近郊にお住まいの場合、掲載されているチャンネルと放送局名が正しい場合は、その都市の地域番号で設定してください。
- お住まいの都市の地域番号で設定しても受信できない場合があります。このときは、「地上アナログー追加」（⇒**前**ページの手順 **5**）または「地上アナログー個別」（⇒**63**ページ）を行ってください。
- 地域番号を設定したときに、地域番号一覧表に放送局名が記載されていないチャンネルは、自動的にチャンネルスキップされます。（地域番号「000」は除く）
- 地域番号設定をした後、「地上アナログー追加」を実行すると、受信できる放送局が増える場合があります。（UHF 放送が受信できる地域など）

「地上アナログー地域番号」について

- 「地上アナログー自動」を行ってもチャンネルが受信できない場合、「地域番号早見表」（Web **108**～**109**ページ）、「地域番号一覧表」（Web **110**～**113**ページ）で都市名･放送局名・受信チャンネルを確認し、**前**ページの手順 **5** で「地上アナログー地域番号」を選びます。お住まいの地域に最も近い都市名の地域番号を数字ボタン（チャンネルボタン）または左右カーソルボタンで入力し、「開始」で決定ボタンを押します。

「地上アナログー追加」について

- 空きチャンネルに追加できる放送局がないかどうかを自動で探したい場合、**前**ページの手順 **5** で「地上アナログー追加」を選び、左右カーソルボタンで「する」を選んで決定します。見つかったチャンネルが右側に表示されていきます。

地域番号早見表／地域番号一覧表
Web 108～113 ページ

地上アナログ放送のチャンネルの個別設定

• 登録したチャンネルは、個別に以下の項目を変更できます。

項目	内容
受信チャンネル	• リモコンの数字ボタン(チャンネルボタン)を押したときに選局するチャンネルを設定します。地域番号一覧表に当てはまらない地域や、地域番号によるチャンネル設定後に他の放送チャンネルを追加したいときは、この操作で一局ずつ設定してください。 • 新聞の番組表などのチャンネルの順番に合わせておくと便利です。
チャンネル表示	• 画面に表示されるチャンネル番号を設定します。お住まいの地域で使い慣れたチャンネル表示に変更できます。
受信微調整	• 受信中の映像(設定画面の背景で表示されている映像)が最も鮮明に見えるように、受信状態を調整します。－64～0～+63の範囲で調整できます。
スキップ	• 選局ボタンで選局をしたときに、視聴しないチャンネルを飛ばせます。「する」でスキップの設定をし、「しない」で解除されます。

1 地上 を押す

地上アナログ放送を選ぶ

2 ホーム を押し

で選び 決定 を押す

ホームメニューを表示して、「設定」－「(視聴準備)」－「テレビ放送設定」を選ぶ

3 で選び 決定 を押す

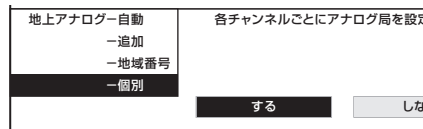
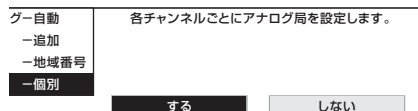
「チャンネル設定」を選ぶ

4 で選び 決定 を押す

「地上アナログ」を選ぶ

5 で選び 決定 を押す

「地上アナログ－個別」を選ぶ

6 で選び 決定 を押す

「する」を選ぶ

次のページに続く

7 変更したい「リモコン番号」(放送チャンネル)を選ぶ

で選ぶ

リモコン番号	5
受信チャンネル	5
チャンネル表示	5

- 地上アナログチャンネルは、「1」～「20」です。
- CATV チャンネルは「C13」～「C63」です。
- リモコン番号「1」～「12」を変更するときは、リモコンの数字ボタン(チャンネルボタン)を押しても選べます。

8 変更したい項目を選ぶ

で選ぶ

(例)受信チャンネルを変更する場合

リモコン番号	5
受信チャンネル	5
チャンネル表示	5
受信微調整	0 −64 +63
スキップ	する しない

9 画面の指示に従い、数値や項目を設定する

で選ぶ

- 詳しくは、前のページの表を参照してください。
- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

選局ボタンでCATV チャンネルを選局したいときは(CATV スキップ解除)

- CATV チャンネル(C13 ～ C63)は、工場出荷時にスキップ「する」の状態になっています。選局ボタンで選局したいときは、次の操作を行ってください。

1 前ページの手順1～6を行う

2 「リモコン番号」を選ぶ

で選ぶ

リモコン番号	5
受信チャンネル	5
チャンネル表示	5

3 スキップを解除したいCATVチャンネルを選ぶ

で選ぶ

(例)C13 チャンネルを選んだ場合

リモコン番号	C13

4 「スキップ」を選ぶ

で選ぶ

5 「しない」を選ぶ

で選ぶ

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇おしらせ◇

CATV(ケーブルテレビ)放送について

- CATV のサービスが行われている地域のみ受信できます。
- CATV を受信するときは、使用する機器ごとに CATV 会社との受信契約が必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画にはホームターミナル(アダプター)が必要になります。詳しくは CATV 会社にご相談ください。
- 本機の CATV チャンネルは、C13 ～ C63 チャンネルの範囲で選局できます。
(電子取説「目次から探す」−「番組の選びかた」−「番組の選びかた」−「ケーブルテレビのチャンネルを選ぶ」をご覧ください。)
- 「受信チャンネル」の設定で、CATV チャンネルを設定すると、リモコンの数字ボタン(チャンネルボタン)で CATV チャンネルを選局できます。
- 手順 **8** で「受信チャンネル」を選び、手順 **9** で右カーソルボタンまたは左カーソルボタンを押し続けると、放送を探して受信します。

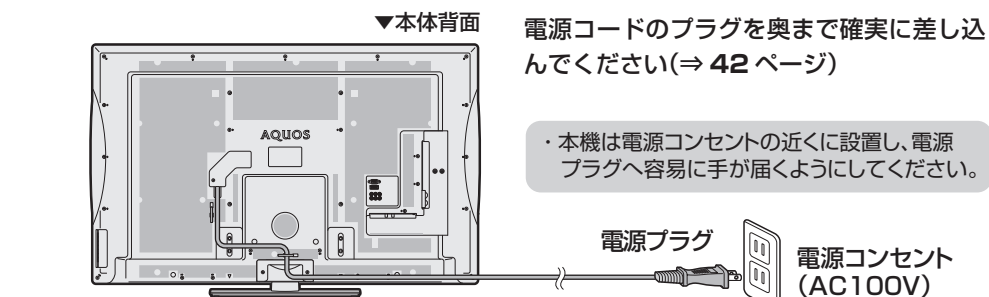
故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に**72**ページまでの内容と電子取扱説明書の「故障かな？と思ったら」をもう一度お調べください。
- アフターサービスについては「保証とアフターサービス」(⇒ **93** ページ)をご覧ください。

まず確認してください

電源が入らない

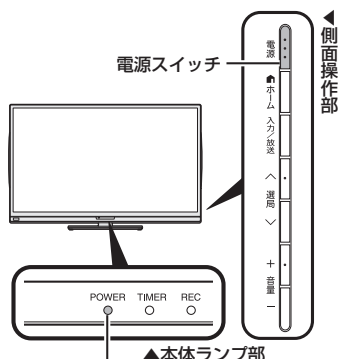
電源コードのプラグを奥まで確実に差し込んでください(⇒ 42 ページ)

- 本機は電源コンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにしてください。

※電源プラグはイラストと異なる場合がありますが、支障ありません。

◀側面操作部

電源スイッチ

▲本体ランプ部

POWER TIMER REC

POWER（電源）ランプ
・緑色点灯：動作状態
・赤色点灯：待機状態
・消灯：電源オフ状態

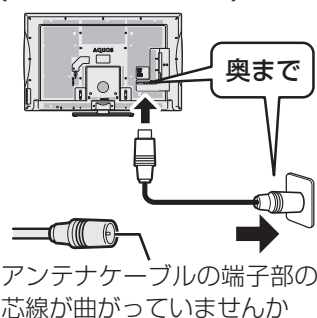
ランプが点灯していないときは、本体の電源スイッチを押して電源を入れてください。(⇒ 44 ページ)

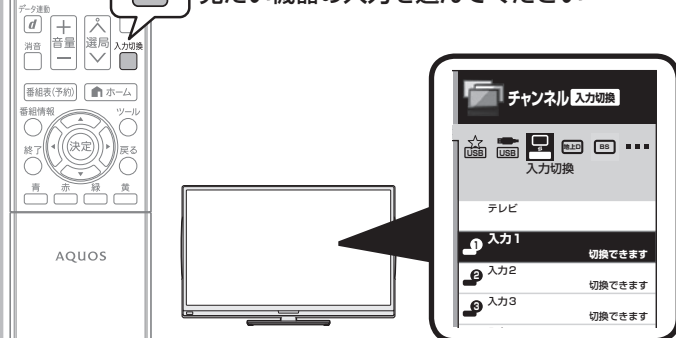
◇**おしらせ**◇

- 本機は本体の電源スイッチを押して切ってもPOWER(電源)ランプは消えません。リモコンでも電源を入れることができます。
- POWER(電源)ランプを消し、リモコンで電源が入らないようにするには、ホームメニューから「設定」－「(視聴準備)」－「各種設定」－「電源スイッチ設定」を「モード２」にしてください。

TV 放送が見られない

アンテナケーブルの端子を奥まで確実に差し込んでください(⇒ 28 ～ 31 ページ)

アンテナケーブルの端子部の芯線が曲がっていませんか

ビデオ・DVD が見られない

リモコンの入力切換ボタンを繰り返し押して、見たい機器の入力を選んでください

放送が受信できないときに確かめること

放送が受信できないときは

- 受信状態が悪い場合、次のような画面が表示されます。（画面は一例です。）

BS 103chが受信できません。【E202】 リモコンで放送切換や選局を確認ください。 アンテナの調整・接続を確認ください。 （?）取扱説明（操作ガイド）へ （決定）で受信強度表示へ	現在放送されていません。【E203】 番組表などで放送時間を確認してください。 雨や雪などの天候の影響で 一時的に受信できない場合もあります。 （?）取扱説明（操作ガイド）へ （決定）で受信強度表示へ

このような画面が表示されているときに（決定）を押すと、選局しているチャンネルの受信強度が表示されます。受信状態に応じた対処が必要です。（画面は一例です。）

受信状態の一覧画面について（画面は一例です）

- デジタル放送の各チャンネルの受信強度や地上デジタル放送で受信できるチャンネルなどが確認できます。

- 受信状態の一覧は、直前に視聴していた放送（「地上デジタル」または「BS デジタル」「110 度 CS デジタル」のいずれか一方）が表示されます。

受信状態一覧で、最新の状態を表示するには

- （決定）を押します。（表示が切り換わるまで時間がかかる場合があります。）

受信状態一覧の画面を消すときは

- （終了）を押します。

受信できないチャンネルが あるときは

受信状態一覧の、【ここをお確かめください】の表示内容を確認してください。

【ここをお確かめください】

テレビ　受信状態一覧　11/ 3［火］午前11:00

各チャンネルのアンテナ受信状態の一覧表示です。
（決定）キーを押すと受信状態を再確認することができます。

<BS・CS>
一部の放送の受信状態が悪くなっています。
◇設置されているBS･CSアンテナが、BSデジタル･110度CSデジタル放送受信に対応していない
◇アンテナケーブルや分配器などがデジタル対応でない
※アンテナ機器の交換は販売店などにご相談ください。

【ここをお確かめください】
◇BS･CSアンテナがBSデジタル･110度CSデジタルに対応しているかご確認ください。
◇アンテナケーブル、ブースターや分配器などは衛星デジタル放送の受信に対応したものをご使用ください。

- 地上デジタル放送用アンテナとの接続について⇒ **28** ～ **31** ページをご覧ください。
- BS･110 度 CS 放送用アンテナとの接続について⇒ **28** ～ **31** ページをご覧ください。
- 「アンテナ接続のワンポイントアドバイス」⇒ **68** ページもご覧ください。
- かんたん初期設定をやり直すとき⇒ **50** ページをご覧ください。
- 受信している放送局をリモコンの数字ボタンに割り当てることができます。
  数字ボタンが割り当てられていない場合は、3 桁入力で選局できます。

▼地上デジタル放送の受信状態一覧

<地上デジタル>

放送局	3桁		受信強度 xxxx/xx/xx	受信強度 現在	状態
NHK総合･東京	011	1	87	64	A
NHK教育･東京	021	2	87	65	A
日本テレビ	041	4	90	66	A
TBS	061	6	82	41	C
フジテレビジョン	081	8	77	35	C
テレビ朝日	051	5	85	53	B
テレビ東京	071	7	80	39	C
放送大学	121	12	80	43	C
tvk	–		32	0	☆E

- リモコンの数字ボタンを割り当てるには
  ⇒ **59** ページをご覧ください。

◇**おしらせ**◇

BS デジタル放送の受信状態について

- 現在、信号が送られているのは「BS-1」「BS-3」「BS-9」「BS-13」「BS-15」「BS-17」です。
  このため、「BS-5」「BS-7」「BS-11」の受信状態は表示されません。
  （2011 年 6 月現在）

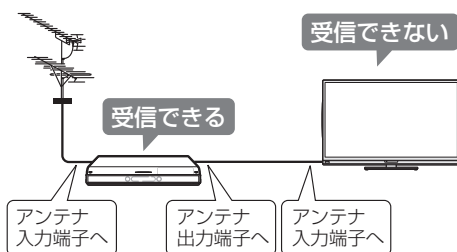
BS･110 度 CS デジタル放送について

- デジタル放送には有料放送があります。視聴するには、視聴契約する必要があります。
  BS･110 度 CS デジタル放送が受信できない場合は、視聴契約がお済みかどうかご確認ください。

アンテナ接続の ワンポイントアドバイス

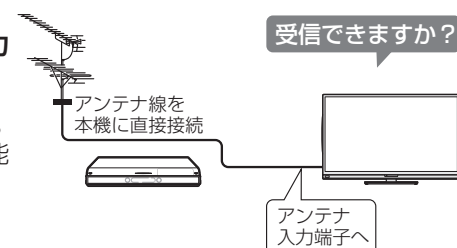
- お住まいの地域やチャンネルによっては電波が弱く、アンテナの接続方法やレコーダーなどの機器との接続により、映らない場合が考えられます。このような場合、アンテナの接続状況を変えていただくと映る場合がありますので、本ページを参考にご確認をお願いします。

こんなときは

アンテナ線を、レコーダーを経由して本機に接続している場合に、レコーダーは放送を受信できるのに本機は受信できない。

アドバイス

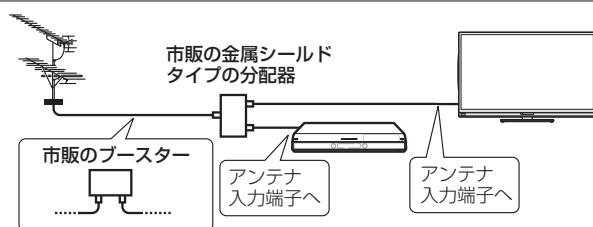
レコーダーに接続しているアンテナ線を本機の入力に直接接続してみてください。

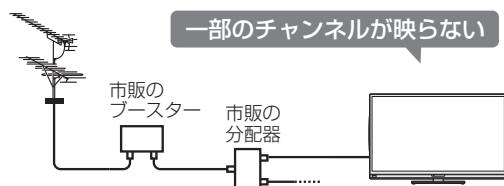
本機が受信できる場合は、本機の故障ではありません。

- レコーダーに内蔵されているアンテナ分配機能の性能により、本機が受信できないことがあります。

解決方法

アンテナ線を市販の金属シールドタイプの分配器で分配して、レコーダーと本機のそれぞれに接続してください。

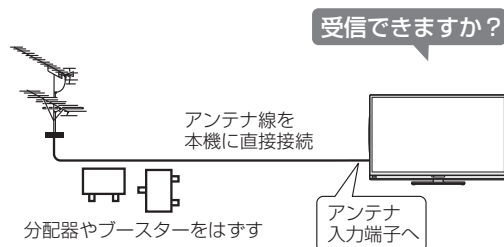
それでも受信できない場合は…

- アンテナ線を市販のブースターに接続してください。

こんなときは

分配器やブースターを使用している場合に一部のチャンネルだけ映らない。

アドバイス

使用している分配器やブースターをはずして、アンテナ線を本機に直接接続してみてください。
（レコーダーやパソコンなどの使用を止めて確認してください。これらの機器から発生する電波などによる障害も考えられます。）

正しく受信できる場合は、本機の故障ではありません。

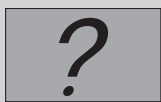
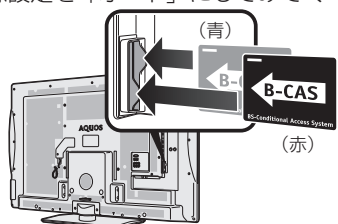
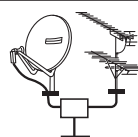
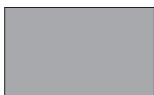
- 分配器やブースターの性能により、正しく受信できないことがあります。

解決方法

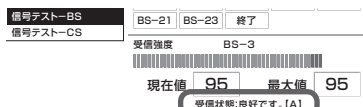
市販の、地上デジタル放送やＢＳデジタル放送に対応している分配器やブースターと交換してください。

それでも受信できない場合は…

- ご購入のご販売店などにご相談ください。

テレビが正しく映らないときや画質が悪いときは
（[E202]と表示される）

故障ではないことがあります。
お電話をする前に、
ここをお確かめください。

	こんな症状が出るときは	▶ここをお確かめください	▶参照ページ
地上アナログ放送	色じま模様が出る	・アンテナケーブルが古くなっていませんか。	−
	雪が降っているような画面になる	・アンテナ線が切れていませんか。	−
		・アンテナの向きは正しいですか。	−
		・平行フィーダー線の場合、本機から線をできるだけ離してください。	22
デジタル放送	映像も音声も出ない	・アンテナケーブルは接続されていますか。	28 ～ 31・68
		・端子を間違えて接続していませんか。	−
		・アンテナケーブルが切れていませんか。	−
		・BS･CS アンテナ電源設定を「オート」にしてみてください。「オート」に設定している場合は「入」にしてみてください。	56～57
		・B-CAS カードは正しく挿入されていますか。（青）（赤）	27
	映像にノイズ(モザイク状／ブロック状)や線が入ったり、ちらついたりする。 音声が途切れる。 映像が映らない／映らなくなる。	・アンテナの向きは正しいですか。	−
		・「受信状態：良好です。【A】」と表示されていることを確認してください。表示が異なる場合は、電子取説「故障かな？と思ったら」−「テレビ放送の受信」−「アンテナ受信強度に関するエラーメッセージ」をご覧になり必要な処置をしてください。	56～57
		・110 度 CS デジタル放送の場合は、アンテナケーブルや分配器は 110 度 CS 帯域対応のものを使用していますか。	−
	BSデジタル放送の一部のチャンネルが視聴できない	・WOWOW やスターチャンネルは有料です。視聴するためには契約をしてください。	73
		・地デジ難視対策衛星放送については、地デジ難視対策衛星放送受付センターへお問い合わせください。（0570-08-2200）	60
	110度CSデジタル放送が視聴できない	・アンテナやアンテナケーブル、分波器は 110 度 CS 帯域（2.6GHz）まで対応のものを使用していますか。	28～31
	画面にノイズが出る	・ノイズが出るときはケーブル同士を離すと軽減されることがあります。	−
		・アンテナケーブルは正しく接続されていますか。	28 ～ 31・68
	特定のチャンネルだけ映らない	・有料放送は視聴契約が必要です。	73
		・アンテナの受信強度を確認してください。	56～57

信号テスト−BS
信号テスト−CS
BS−21 BS−23 終了
受信強度 BS−3
現在値 95 最大値 95
受信状態:良好です。【A】

・アンテナの接続については、**28 ～ 31**、**68** ページをご覧ください。

本機の動作について確かめること

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
? 映像も音声も出ない	• 電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 • POWER(電源)ランプが緑色に点灯していますか。 • テレビ(地上アナログ放送、CATV)やデジタル放送を見たいのに、ビデオ入力などに切り換えられていませんか。 • 外部機器の映像が出ないとき、正しく入力切換ができていますか。 • 接続ケーブルが抜けていませんか。	42 44 51 51 –
リモコンが動作しない	• POWER(電源)ランプが緑色に点灯していますか。 • 乾電池の極性(⊕、⊖)が逆になっていませんか。 • リモコンの乾電池が消耗していませんか。 • リモコンはリモコン受光部に向けてお使いですか。 • リモコン番号が本体と一致していますか。画面左下に「リモコン番号の設定が異なります。」と表示されているときは、リモコン番号の設定が必要です。 以下の場合は、リモコンで動作しにくくなります。 • リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物がありませんか。 • リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっていませんか。 照明の向きを変えるなどしてみてください。 • 蛍光灯などが近くにありませんか。 • 受信設備の消耗減衰のために(映り等に影響する場合もあります)操作切換が遅くなることがあります。(天候等の環境で受信強度の数値が変動するとノイズの影響を受けます。) • 電池の端子が酸化(薄黒く)していませんか。室温が極端に低下していませんか。	44 45 45 45 76~77 –
音声は出るが映像が出ない	• 映像オフが「する」になっていませんか。選局ボタンを押してみてください。 • 映像ケーブルが抜けていませんか。	– 32
テレビの上部が熱い	• 内部の回路から発生する熱で温まった空気が自然な対流により、上部を通って抜ける構造になっているため、上部が温かくなります。本体の温度が異常に上昇したときは画面右下に「温度」または「モニター温度」の文字が点滅し、その後、自動的に電源が切れます。	–
画面右下に「温度」または「モニター温度」の文字が点滅し、その後、自動的に電源が切れる	• 本機の温度が上昇したためです。温度が上昇した原因を取り除いてください。 • 本機の設置状態や場所が、温度が上がりやすい状態にないかご確認ください。本機背面の通風孔がふさがらないように設置してください。 • 本機の内部や通風孔にたまっているホコリで、外部から取り除けるものはこまめに取り除いてください。内部のホコリの除去については、お買いあげの販売店にご相談ください。	– – –

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
リモコンや本体のボタンの操作ができない	• チャイルドロックが設定されていませんか。 • 本体とリモコンのリモコン番号を同じ番号に設定していますか。画面左下に「リモコン番号の設定が異なります。」と表示されているときは、リモコン番号の設定が必要です。 • 本体の電源スイッチを5秒以上押し続けてください。本機の電源がいったん切れますので、電源プラグをコンセントから抜いて約1分待ってから電源を入れ、操作をやりなおしてください。再度電源を入れた直後はデータ取り込みのため、画面表示には多少時間がかかります。	**–** **76~77** **–**

停電時は、設定が保持される項目と解除される項目があります

- テレビにおける設定内容(ホームメニュー内設定項目、音量など)は保持されます。
- 番組予約(視聴予約／録画予約)が、予約動作開始時刻を経過しているときは消去されます。
- 時刻設定は消去されます。時刻の自動設定がされないときは、ホームメニューから「設定」–「(視聴準備)」–「各種設定」–「時計設定」–「時刻設定」で設定してください。
- 停電前が下記の状態のものは解除されます。
  静止画·オフタイマー·消音(消音ボタンによる)·映像オフ·2 画面

電子取扱説明書のメニューについて

- 電子取扱説明書の「故障かな？と思ったら」には次の内容が掲載されています。
- 故障かなと思ったときは本書とともにご確認ください。

全般

本機の操作や電源に関して故障かなと思ったときにご覧ください。

3D映像

3D 映像を視聴できない場合にご覧ください。

無線LAN

無線 LAN で接続できない場合や無線 LAN に関するエラーメッセージが表示されたときにご覧ください。

映像・音声

音声が出ない、画面が暗いなど、映像や音声に関して故障かなと思ったときにご覧ください。

USBハードディスク

USB ハードディスクの録画･再生ができない場合や USB ハードディスクに関するエラーメッセージが表示されたときにご覧ください。

IPTV、アクトビラ、YouTube

IPTV、アクトビラ、YouTube などをご利用中に、お困りの場合はご覧ください。

テレビ放送の受信

放送が映らない、映りが悪いなど、テレビ放送の受信に関して故障かなと思ったときや受信強度、受信･視聴、B-CAS カードに関するエラーメッセージが表示されたときにご覧ください。

インターネット

インターネットに関して故障かなと思ったときにご覧ください。

その他

ファミリンクや IrSS™、USB メディア、ホームネットワークなどをご利用中にお困りの場合や、これらのエラーメッセージが表示されたときにご覧ください。

有料放送の受信について

WOWOW やスカパー!e2 などの有料放送を見るときは

- 有料放送を視聴するには、スカパー！ e2 などの各プラットホーム（運営会社）や放送局との視聴契約が必要です。それぞれの契約申込書に必要事項を記入し、郵送するか、下記にお問い合わせください。
（2011 年 6 月現在）

有料BS・110度CSデジタル放送局

WOWOW
- **カスタマーセンター**
  電話番号 :0120-580807
  受付 :9：00 ～ 20：00（年中無休）
  ホームページ:http://www.wowow.co.jp/

スター・チャンネル
- **スター・チャンネル　カスタマーセンター**
  電話番号 :0570-013-111
  PHS、IP 電話のお客様は 045-339-0399
  受付 :10：00 ～ 18：00
  ホームページ:http://www.star-ch.jp/
- スター・チャンネル　ハイビジョンの加入申し込みは、下記のスカパー！ e2　カスタマーセンターへお問い合わせください。

110度CSデジタル衛星サービス会社

スカパー！ e2　（CS1・CS2）
- **スカパー！ e2　カスタマーセンター**
  電話番号 :0570-08-1212
  PHS、IP 電話のお客様は 045-276-7777
  受付 :10：00 ～ 20：00（年中無休）
  ホームページ:http://www.e2sptv.jp/

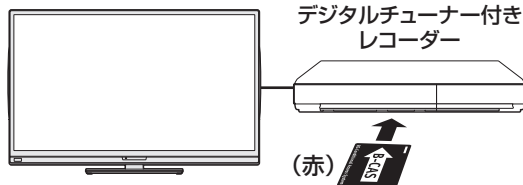
◇おしらせ◇
- 本機には電話回線端子がありませんので、電話回線を使用した新規加入のお申し込みはできません。

本機のレコーダー機能で有料放送を録画する場合には

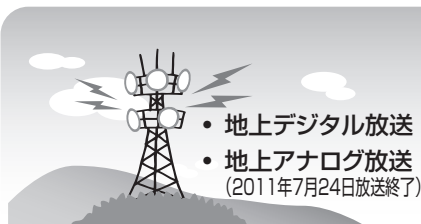
（赤）

- 本機の USB ハードディスクへの録画機能で有料放送を録画する場合には、本機に付属している赤い B-CAS カードを有料放送の受信契約時に登録し、本機に挿入してください。

デジタルチューナー付きレコーダーで有料放送の受信契約をしている場合には

- お手持ちのデジタルチューナー付きレコーダーで有料放送を録画するときは、有料放送の受信契約時に登録した B-CAS カードをレコーダーに挿入しておく必要があります。挿入していないと、有料放送が録画できません。

有料放送で登録したB-CASカードは、レコーダーに挿入します。

- レコーダーで受信している内容を本機で視聴したいときは、リモコンの入力切換ボタンでレコーダーが接続されている外部入力に切り換えてください。
- 有料放送を録画しながら別の有料放送を視聴したい場合は、複数の有料受信契約をする必要があります。

受信できる放送の種類について

VHF アンテナ
地上アナログ放送のみ受信できます。
地上デジタル放送は、受信できません。

UHF アンテナ
地上デジタル放送と、UHF 帯の地上アナログ放送を受信できます。

地上アナログ放送

- 従来の放送です。
- 地上アナログ放送と BS アナログ放送は、一部の地域を除き 2011 年 7 月 24 日までに終了することが、国の法令によって定められています。
  地上アナログ放送終了後は、本機の地上アナログチューナーでは、視聴・録画できません。

受信に必要なアンテナ

- VHF 対応のアンテナや UHF 対応のアンテナが必要です。

◆ 重　要 ◆

- データ放送の双方向通信などで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

デジタル放送のその他の特長

B-CAS カード

- **デジタル放送を受信するには、B-CAS カードが必要です。本機に B-CAS カードを入れてください。****(⇒ 27 ページ)**

臨時放送(臨時編成サービス)

- スポーツ中継の延長などで、臨時に行うマルチチャンネル放送です。案内画面が表示されたときに、決定ボタンで切り換えます。

イベントリレーサービス

- スポーツ中継の延長時などに、別チャンネルで続きを放送するサービスです。案内画面が表示されるので、決定ボタンで切り換えます。延長された番組を録画予約していた場合、自動的に追従します。
  ※ ファミリンク録画予約(電子取説「目次から探す」−「ファミリンク機能」−「本機の番組表で AQUOS レコーダーに録画予約する」)の場合、お使いの AQUOS レコーダーによっては追従されません。

マルチビューサービス

- 一つの番組の中で、カメラアングルを変えて最大 3 つの映像が放送されるサービスです。ツールメニューを表示して「映像切換」を選んで切り換えます。

地上デジタル放送

- 2003 年 12 月から東京・大阪・名古屋の 3 大都市圏の一部地域で開始され、2006 年 12 月に全国の都道府県庁所在地で開始された放送です。

特長

- 迫力あるワイド画面とデジタルハイビジョンの高画質
- 高音質と多チャンネルの放送
- 天気予報やニュースなどの、番組に連動したデータ放送
- 視聴者参加型の双方向通信番組

受信に必要なアンテナ

- UHF 対応のアンテナが必要です。お使いのアンテナが UHF 対応のアンテナであればそのまま使えます(取り替えや調整が必要になることもあります)。**VHF アンテナでは受信できません。**

地上デジタル放送の CATV 放送対応について

- 本機で受信できるケーブルテレビ(CATV)の方式は「パススルー方式」(UHF 帯、ミッドバンド[MID]帯、スーパーハイバンド[SHB]帯、VHF 帯)です。トランスモジュレーション方式の場合、ケーブルテレビ専用受信機を介して視聴できます。

緊急警報放送

- 地震などの際の緊急警報放送です。案内画面が表示されたときに、決定ボタンで切り換えます。

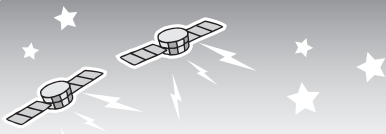
ご案内チャンネルの表示

- 非契約の有料放送事業者の放送番組を選局したとき、「視聴するには契約登録が必要」である旨の案内に加え、代替番組の視聴案内が表示されます。

ブックマーク

- コンテンツ画面にブックマーク※アイコンが表示されているときは、その情報(ブックマーク記録コンテンツ)を登録しておき、後でブックマークを一覧表示・選択して、関連チャンネルを呼び出すことができます。
  ※「ブックマーク」とは、しおりのことです。画面によっては、特定のページを表示するための絵文字(ブックマークアイコン)が表示されます。インターネットのブックマークとは異なります。

◇**おしらせ**◇

- ARIB 放送規格の変更により、本機のホームメニューなどの仕様が変わる場合があります。
- ARIB(Association of Radio Industries and Businesses)とは、通信・放送分野の電波利用システムの標準化や、電波利用に関する調査、研究などを行う社団法人の名称です。

- BSデジタル放送
- 110度CSデジタル放送

BS・110 度 CS 共用アンテナ
BS デジタル放送も 110 度 CS デジタル放送も、このアンテナで受信できます。
(他の衛星放送は、衛星の向きが違うため受信できません。)

BS デジタル放送

- 放送衛星(Broadcasting Satellite)を使ったデジタル放送です。
- 地デジ難視対策衛星放送(BS291ch ～ BS298ch)は一般の方は視聴できない放送のため、非視聴に設定されています。この放送を視聴される場合は、スキップ設定を「両方しない」に設定してください。(スキップ設定⇒**60**ページ)
- 有料放送を視聴するときは、受信契約する必要があります。

特長

- 迫力あるワイド画面とデジタルハイビジョンの高画質
- 視聴者参加型の双方向通信番組
- 2 種類のデータ放送(独立データ放送･番組に連動したデータ放送)

受信に必要なアンテナ

- BS･110 度 CS デジタル放送共用のアンテナ(市販品)が必要です。

110 度 CS デジタル放送

- BS デジタル放送用人工衛星と同じ東経 110 度にある通信衛星(Communication Satellite)を使ったデジタル放送です。おもなサービスに「スカパー！ e2」があります。110 度 CS デジタル放送は一部を除き有料です。
- 受信するには、見たいチャンネルを視聴契約する必要があります。

特長

- テーマ別に専門化した多数のチャンネル
- 画面をブックマーク登録し、簡単に再表示可能
- ボード(掲示板)機能でサービス情報の案内を閲覧可能

受信に必要なアンテナ

- BS･110 度 CS デジタル放送共用のアンテナ(市販品)が必要です。
- **従来の CS アンテナや BS アナログ用アンテナでは受信できません。また、ブースターや分配器等をご使用になっている場合は、110 度 CS 帯域(2.6GHz)まで対応したものに交換する必要があります。**

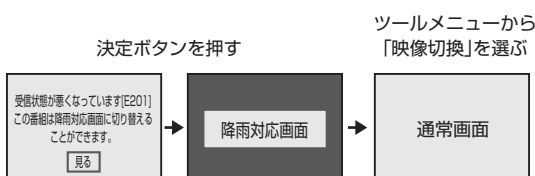
BS デジタル放送のみの専用サービス

降雨対応放送

- 降雨･降雪による電波減衰時に画質や音質を落とした信号を放送するサービスです。案内画面が表示されたときに、決定ボタンで切り換えます。ホームメニューから「ツール」－「映像切換」を選ぶと元の映像に戻れます。

(画面例)

決定ボタンを押す → ツールメニューから「映像切換」を選ぶ

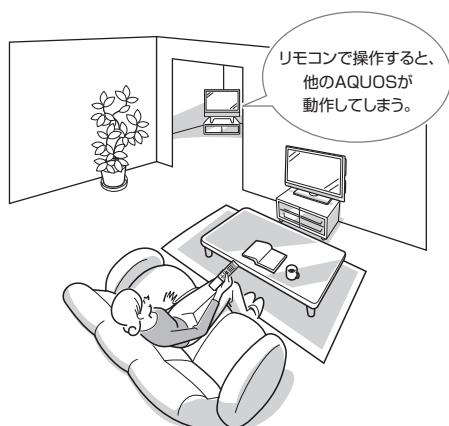
受信状態が悪くなっています[E201] この番組は降雨対応画面に切り替えることができます。 見る → 降雨対応画面 → 通常画面

110 度 CS デジタル放送のみの専用サービス

ボード(掲示板)

- プラットホーム(スカパー！ e2)単位で、いろいろなサービス情報の案内がボード(掲示板)に表示されます。ホームメニューから「設定」－「✉(お知らせ)」－「ボード(CS デジタル)」でボード画面を呼び出し、サービス情報を見ることができます。

(画面例)

2台のAQUOSをそれぞれのリモコンで操作するには

・2台のAQUOSを近くに設置している場合に、リモコンの操作でAQUOSが2台とも動作してしまうことがあります。このとき、リモコン番号の設定を変えると他のAQUOSの動作を防ぐことができます。

リモコン番号について

・リモコン番号には「1」「2」があります。リモコン側と本体側の番号を合わせてください。
・2台のAQUOSを近くに設置している場合は、本機のリモコン番号を他のAQUOSと異なる番号に設定してお使いください。例えば、他のAQUOSが「1」なら本機は「2」にします。
・設定されている番号が本体とリモコンとで異なっていると、リモコンボタンを続けて押したとき、画面左下に「リモコン番号の設定が異なります」と表示されます。
・個人情報を初期化すると本体のリモコン番号は「1」に戻ります。

◇**おしらせ**◇
・工場出荷時の設定は、本体側·リモコン側ともリモコン番号「1」です。

本体側とリモコン側のリモコン番号を設定する

◆ **重 要** ◆
・先にリモコン側の番号を変更すると、リモコンで本体側の設定が行えません。

本体側のリモコン番号を切り換える

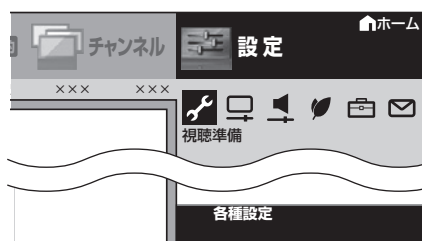
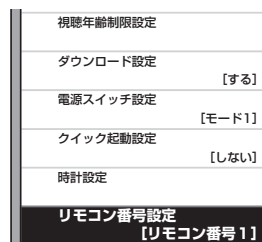
1 ホームメニューを表示して、「設定」−「（視聴準備）」−「各種設定」を選ぶ

ホーム を押し

で選び

を押す

2 「リモコン番号設定」を選ぶ

で選び

決定 を押す

3 「リモコン番号1」または「リモコン番号2」を選ぶ

で選び

決定 を押す

本機のリモコン番号を切換えます。
本機：リモコン番号1

リモコン番号2

4 「する」を選ぶ

本機のリモコン番号を2に変更します。
リモコン番号を変更しますか？

する　しない

本機のリモコン番号を変更した後は、
リモコン側のリモコン番号も合わせてください。
（詳しい設定方法は、付属の「取扱説明書」をご覧ください。）

で選び

決定 を押す

◆ リモコン側のリモコン番号を切り換える

5 リモコンの「1」または「2」を押した状態で電源ボタンを5秒以上押す

- **前**ページ手順 **3** で選んだリモコン番号と同じ番号にしてください。

上記の手順 5 で使うボタン
[1][2] のどちらか一方を押しながら [電源] を 5 秒以上押します。
- [1] の場合、リモコン番号 1 になります。
- [2] の場合、リモコン番号 2 になります。

本体側のリモコン番号をリモコン側に合わせるときに使うボタン

フタを開けたところ

リモコン側と本体側でリモコン番号が異なるときは

- 本体側のリモコン番号を、リモコン側のリモコン番号に合わせます。

1 リモコン番号が異なるときに、画面表示ボタンを5秒以上押し続ける

画面表示 を押す

- 本体側のリモコン番号変更画面が表示されます。

2 メッセージを確認し、「する」を選ぶ

で選び 決定 を押す

▼本体側のリモコン番号変更画面

リモコンと本機のリモコン番号が違います。
本機のリモコン番号を変更しますか？

本機 ：リモコン番号1
リモコン ：リモコン番号2

- リモコン番号切換メニューが表示され、番号切換ができます。
- 設定されているリモコン番号が本体側とリモコン側とで異なっている場合、リモコンのボタンを続けて押すと、画面左下に「リモコン番号の設定が異なります」と表示されます。

◇**おしらせ**◇
- 本体側のリモコン番号変更画面が表示されてから、約 20 秒以内に操作を行ってください。約 20 秒を経過すると、画面が消えます。
- 乾電池が消耗したり、乾電池を交換したときに、リモコン側のリモコン番号が「1」に戻ることがあります。

本体のボタンで、本体側のリモコン番号を設定するには

1. **本体の入力／放送切換（決定）ボタンを 5 秒以上押し続けて、リモコン番号切換メニューを表示する**
2. **本体の音量（＋／－）ボタンで「リモコン番号 1」または「リモコン番号2」を選択する**
3. **本体の入力／放送切換（決定）ボタンを押して決定する**

本機を電源オフにするときは／電源プラグを抜くときは

・本体の電源スイッチで本機の電源をオフにしたいときは､｢電源スイッチ設定｣を｢モード 2｣にしてください。
｢モード 1｣に設定されていると、本体の電源スイッチを押しても｢待機状態｣となり、電源オフにはなりません。

「電源スイッチ設定」について

項目	内容
モード 1	・本体の電源スイッチを押すと、本機が｢待機状態｣になります。USB ハードディスクへの録画中や録画予約設定中に本体の電源スイッチを押しても、録画が正常に行われるための設定です。
モード 2	・本体の電源スイッチを押すと、本機が電源オフになります。録画中の場合は録画が中断されます。録画予約が設定されている場合は録画予約が実行されません。

◆ 重 要 ◆

・｢モード 1｣に設定されていて本機が待機状態のときに電源プラグを抜くと、故障の原因となることがあります。

・電源プラグをコンセントから抜くときは、次の手順で操作してください。

1 **USBハードディスクを取りはずす**

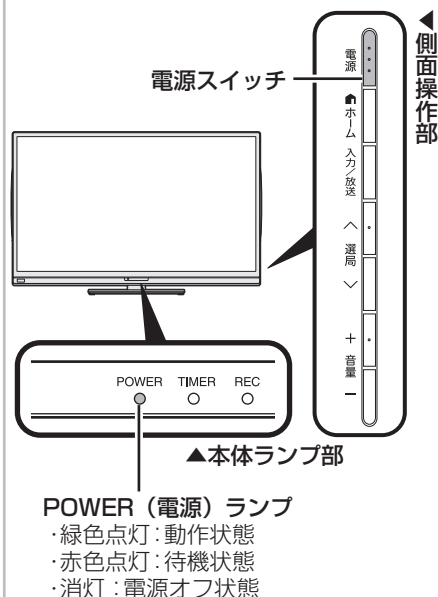
(電子取説｢目次から探す｣−｢USB ハードディスク｣−｢準備｣−｢USB ハードディスクを取りはずすときは｣)

2 **電源スイッチ設定を｢モード2｣にする**

・ホームメニューから｢設定｣ − ｢(視聴準備)｣−｢各種設定｣−｢電源スイッチ設定｣−｢モード 2｣を選びます。

3 **電源を切る**

・本体の電源スイッチを押し、POWER(電源)ランプが消灯していることを確認します。

POWER（電源）ランプ
・緑色点灯：動作状態
・赤色点灯：待機状態
・消灯 ：電源オフ状態

4 **電源プラグを抜く**

◇おしらせ◇

・次に電源を入れたとき、画面が表示されるまで時間がかかることがあります。

本機から個人情報をすべて消すには（本機を廃棄するときなど）

- 本機には、放送局とデータの送受信を行うために入力した個人情報と操作情報が記録されています。本機を譲渡したり廃棄したりする際には、個人情報の初期化を行いこれらの情報を消去してください。

◆ 重 要 ◆

- お客様が設定した情報内容（チャンネル設定、予約、各調整値、LAN 設定、暗証番号、IPTV の基本登録情報やアクトビラの購入情報、インターネット関連のデータなど）がすべて初期化されます。
- **この操作は元に戻せません。必要のない場合は、操作を行わないでください。**
  データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化･消失した場合の損害や不利益について、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

◇おしらせ◇

初期化すると

- 本体のリモコン番号は 1 になります。リモコン番号を変更してお使いになっていた場合は、リモコンのリモコン番号を「1」にしてください。

1 ホームメニューを表示して、「設定」−「（視聴準備）」−「個人情報初期化」を選ぶ

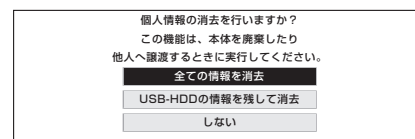
を押し

で選び

を押す

2 「全ての情報を消去」または「USB-HDDの情報を残して消去」を選ぶ

で選び

を押す

- USB-HDD に録画したコンテンツの情報を初期化したくないときは、「USB-HDD の情報を残して消去」を選んでください。
- 「全ての情報を消去」を選ぶと、USB ハードディスクに録画した番組も消去されます。

3 「する」を選ぶ

で選び

を押す

- 表示が「初期化実行中」（点滅）に変わります。初期化には、しばらく時間がかかります。
- 初期化が終了すると、画面が数秒間消え、かんたん初期設定画面が表示されます。電源を切るときは、「電源スイッチ設定」を「モード 2」にして本体の電源スイッチを押してください。

本機のソフトウェアを更新する

- ソフトウェアの更新とは、本機内のソフトウェアを書き換えて、機能アップや機能改善などを行うためのものです。
- 本機のソフトウェア更新はダウンロードで行います。自動的に行う方法とお客様が必要に応じ、手動で行う方法があります。お買いあげ時は利便性を考えて「する」（自動）に設定されています。

ダウンロードの可能な環境について

- ダウンロードはBSデジタル放送および地上デジタル放送で実施されます。ケーブルテレビのセットトップボックスを利用してデジタル放送を受信している場合など、デジタル放送を直接受信できない環境ではダウンロードできません。

ダウンロードについてのご注意

- ソフトウェアの受信（ダウンロード）には、数分程度の時間がかかります。その間は、リセットの操作、電源プラグの抜き差しを行わないでください。ダウンロードが失敗する場合があります。
- ダウンロードによって、設定内容が工場出荷時の状態に戻ったり、予約設定がなくなる場合があります。その場合は、設定をやり直してください。
- ダウンロードは、本機の電源が待機状態（POWER（電源）ランプが赤色点灯）のときに実行されます。リモコンの電源ボタンで、待機状態にしてください。「電源スイッチ設定」を「モード2」に設定しているときに、本体の電源スイッチで電源を切っている場合や電源コードをコンセントから抜いている場合は、ダウンロードは実行されません。

自動ダウンロードを「しない」に設定する

- 自動的にダウンロードを行いたくない場合は、「しない」に設定します。

1 ホームメニューを表示して、「設定」–「（視聴準備）」–「各種設定」を選ぶ

ホーム を押し

で選び

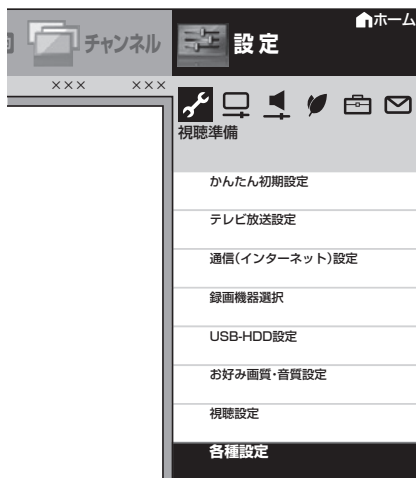
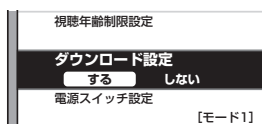
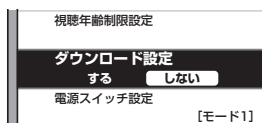
を押す

2 「ダウンロード設定」を選ぶ

で選ぶ

視聴年齢制限設定
ダウンロード設定
する　しない
電源スイッチ設定
［モード1］

3 「しない」を選ぶ

で選び 決定 を押す

- 操作を終了する場合には、ホームボタンを押します。

手動でダウンロードを行う

- 自動ダウンロードを「しない」に設定した場合、放送局メッセージに「ダウンロードのお知らせ」が届いているときに、手動でダウンロードできます。

1 ホームメニューを表示して、「設定」–「（お知らせ）」–「放送局メッセージ」を選ぶ

ホーム を押し　で選び　決定 を押す

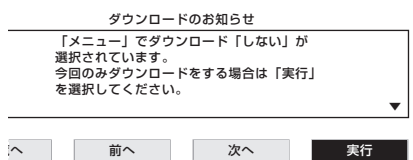
2 ダウンロードに関する放送局メッセージを選ぶ

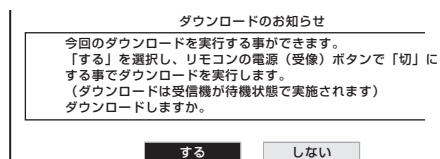
で選び

を押す

3 ①画面の表示内容を確認し、「実行」を選ぶ

で選び

を押す

②画面の表示内容を確認し、「する」を選ぶ

ダウンロードのお知らせ
今回のダウンロードを実行する事ができます。
「する」を選択し、リモコンの電源（受像）ボタンで「切」にする事でダウンロードを実行します。
（ダウンロードは受信機が待機状態で実施されます）
ダウンロードしますか。
する　しない

- ダウンロードが成功すると、ホームメニューの「設定」–「（お知らせ）」–「放送局メッセージ」の中に、ダウンロードが成功した旨のメッセージが書き込まれます。

USB メモリーを使用してソフトウェアを更新する

- USB メモリーを使用してソフトウェアの更新ができます。
- ソフトウェアの更新をするときは、パソコンを使用して、あらかじめ更新用ソフトウェアを USB メモリーに書き込んでおく必要があります。更新用ソフトウェアをパソコンから書き込むときは、USB メモリーが空の状態で書き込んでください。

ソフトウェアの更新情報について

- ソフトウェアの更新情報は、パソコンを使用してシャープホームページ内のサポートステーションでご確認ください。

> **AQUOS サポートステーション**
> http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

- 更新用ソフトウェアが公開されているときは、パソコンにダウンロードした後、USB メモリーにコピーしてください。

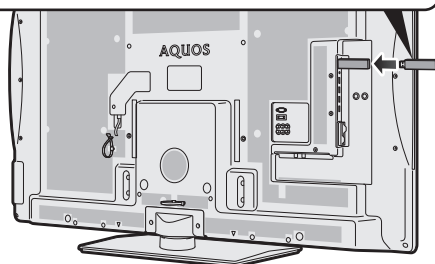
◆ 重 要 ◆

- ソフトウェアの更新中は、USB メモリーを取り外さないでください。
- ソフトウェアの更新中は、電源プラグを抜かないでください。

1 本機のUSB端子に、更新用ソフトウェアを書き込んだUSBメモリーを取り付ける

- USB メモリーは本体右側面の USB 端子に取り付けてください。

USB機器の接続部は右記以下のものを使用してください。

端子部の上端から接続部の下端までの厚さ：9mm以下

2 ホームメニューを表示して、「設定」－「✉(お知らせ)」－「ソフトウェアの更新」を選ぶ

を押し

で選び

決定 を押す

- 電子取扱説明書を表示しているときは、ソフトウェアの更新はできません。電子取扱説明書を閉じてください。

3 暗証番号を設定しているときは暗証番号を入力する

- 電子取説「目次から探す」－「便利な機能を使う」－「視聴できる番組や操作を制限する」－「暗証番号を設定する」

4 画面に従って操作する

5 「はい」で決定する

- ソフトウェアの更新に失敗した場合は、USB メモリーのデータを確認し、もう一度ソフトウェアの更新を行ってください。
- ソフトウェアの更新が終了すると画面が数秒間消え、ソフトウェアの更新完了メッセージが表示されます。

ソフトウェアの更新が正しくできないときは

- USB メモリーが正しく取り付けられていないときや、正しい更新データが USB メモリーの中に見つからないときは、エラーメッセージが表示されます。
- 更新用ソフトウェアのデータが書き込まれている USB メモリーを取り付けてから、ソフトウェアの更新を行ってください。

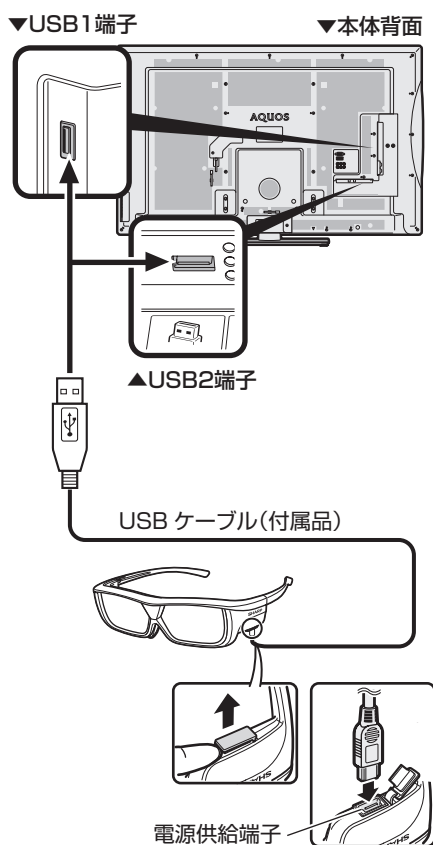
6 アップデートが完了するまで待つ

7 USBメモリーを本機から取り外す

3D メガネを充電するには

- 3D メガネの電池残量が少なくなると電源ランプが点滅(1 秒に 1 回)します。
- 電池がなくなった場合、付属の USB ケーブルで本体の USB 端子と 3D メガネの電源供給用端子をつなぐと、3D メガネを充電することができます。

1 テレビの電源を切り、3Dメガネの電源・3D／2D切換スイッチを「OFF」にする

2 3Dメガネとテレビを接続し、テレビの電源を入れる

- 電源ランプが点滅(2 秒に 1 回)し、充電が始まります。電源ランプが消えたら充電完了です。(約 90 分必要です)
- 電源ランプが 0.5 秒に 1 回の点滅になった場合、USB ケーブルを挿し直してください。それでも直らない場合はお買いあげの販売店またはシャープお客様相談センターにお問い合わせください。

3 充電が完了したらテレビの電源を切り、USBケーブルを取り外す

◆ 重 要 ◆

- 3D メガネをかけたまま充電しないでください。
- 使用温度(10℃～ 40℃) をお守りください。低温や高温の環境下では充電できないことがあります。

◇おしらせ◇

- 充電するときには、必ずテレビの電源を「入」にしてください。テレビの電源が「切」のときは充電できません。
- 3D メガネを充電する場合は、テレビ本体の USB 端子とのみ接続してください。

3D メガネに電源を供給しながら使用するには

- **左記**の手順 **1** を行ったあと、3D メガネとテレビを USB ケーブルで接続し、テレビの電源を入れる。3D メガネの電源・3D ／ 2D 切換スイッチを「3D」または「2D」にすると、3D メガネに電源を供給しながら使用することができます。(充電はされません。)

◇おしらせ◇

- 3D メガネをかけたまま移動しないでください。ケーブルに引っ掛けるなど、テレビの転倒、けがの原因となることがあります。
- USB ケーブルを 3D メガネにつないで使用するときは、周りの人が足を引っ掛けることがないようにご注意ください。テレビの転倒、けがの原因になることがあります。
- 3D メガネに給電する場合は、テレビ本体の USB 端子とのみ接続してください。
- 給電中は、赤外線信号が途絶えてから 10 分が経過しても、電源は入ったままです。

壁に掛けて設置する場合は

- 別売の壁掛け金具※で壁掛け設置する場合などは、付属のスタンドをはずして使用します。スタンドをはずす前に、壁掛け設置に必要な準備を行ってください。(壁掛け設置のしかた(例)⇒ **86** ページ)

※ LC-60L5、LC-52L5、LC-46L5 は、AN-52AG6 に対応しています。
※ LC-40L5 は、AN-37AG4 に対応しています。

◆ 重 要 ◆

- **取付方法など詳しくは、壁掛け金具に付属の取扱説明書をご覧ください。**
- **液晶カラーテレビの設置には、特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付工事業者にご依頼ください。お客さまご自身による工事は一切行わないでください。配線工事についても、壁の厚さや強度を事前に確認ください。当社製の専用壁掛け金具以外をご使用された場合や、取付不備、取扱い不備による事故、損傷については、当社は責任を負いません。**
- はずしたスタンドは本機以外に使用しないでください。
- 必ず 2 人以上で作業してください。

取り付け角度について

- LC-60L5 は、0°,5°です。
- LC-52L5 ／ LC-46L5 ／ LC-40L5 は、0°, 5°,10°です。

準備する

- 本機に接続するケーブルやコードは、確実に取り付けてください。
- 電源プラグは、コンセントから抜いておいてください。また、録画機器などと接続するためのケーブルや LAN ケーブルは、相手の機器側をはずしておいてください。これらのコードやケーブルは、壁に掛けたあとにつなぎます。

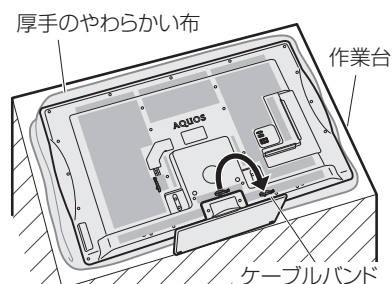
ネジは、JIS 2番のプラスドライバー(市販品)で取りはずしてください。

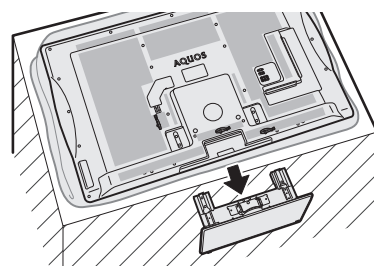
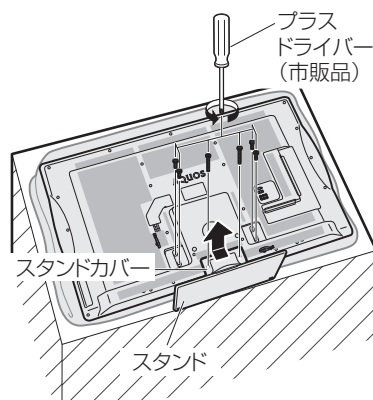
◆ LC-60L5の場合

1 本体を寝かせる

- テーブルなどの台の上に毛布など厚手の柔らかい布を敷き、その上に本体を寝かせます。

2 ケーブルバンドを付け変える

- ケーブルバンドは、つまみをつまんで引っ張るとはずれます。

3 スタンドおよびスタンドカバーを固定しているネジをはずし、スタンドカバーとスタンドをはずす

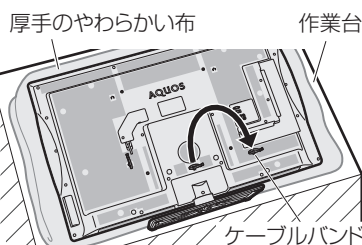
▼

- **次**ページの手順 **6** へ進みます。

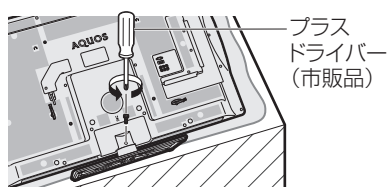
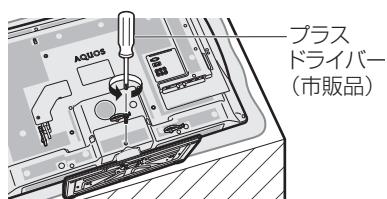
◆ LC-52L5／LC-46L5／LC-40L5の場合

1 本体を寝かせる

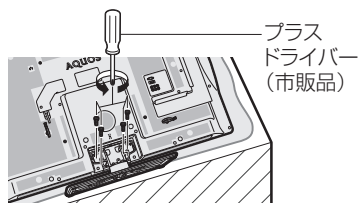
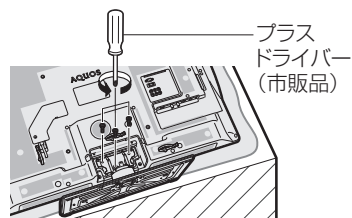
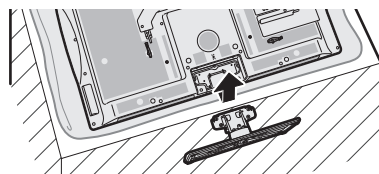
- テーブルなどの台の上に毛布など厚手の柔らかい布を敷き、その上に本体を寝かせます。

2 ケーブルバンドを付け変える

- ケーブルバンドは、つまみをつまんで引っ張るとはずれます。

3 スタンドカバーを固定しているネジをはずし、スタンドカバーを外す

◆ LC-52L5 ／ LC-46L5 の場合

◆ LC-40L5 の場合

4 スタンドを固定しているネジをはずす

◆ LC-52L5 ／ LC-46L5 の場合

◆ LC-40L5 の場合

5 スタンドを取りはずす

6 壁掛け金具ユニットを取り付ける

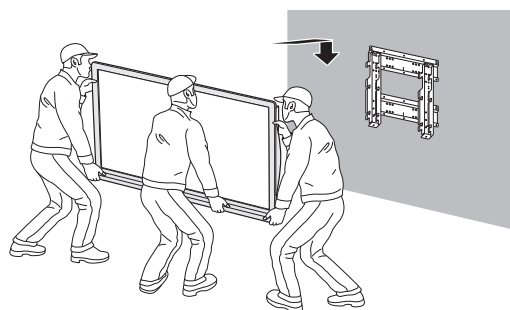
- 角度設定していない状態(0°設定)で取り付けます。

◇ **おしらせ** ◇

- 本機に、壁掛け金具 AN-52AG6 または壁掛け金具 AN-37AG4 を取り付ける場合は、壁掛け金具に付属のテレビ取付用ねじⒷ(M6、長さ12mm)をご使用ください。

7 壁掛け金具の取扱説明書に従って、壁掛け金具のユニットの角度を調整する

8 壁掛け金具の取扱説明書に従って、壁掛け設置する

- 本機はかなりの重量があります。硬い床などに落とさないよう、また足の上に落とさないようご注意ください。
- 壁掛け設置については、**次**ページをご覧ください。

壁掛け設置のしかた（例）

・本機を別売の壁掛け金具を使って壁掛け設置して使用することができます。スタンドを取り付けている場合は、必ず付属のスタンドをはずしてください。(スタンドをはずす⇒**84**～**85**ページ)

◇**おしらせ**◇
・本機に、壁掛け金具 AN-52AG6 ／ AN-37AG4 を取り付ける場合は、AN-52AG6 に付属のテレビ取付用ねじⒷ(M6、長さ 12mm)をご使用ください。
・壁に、壁掛け金具 AN-52AG6 ／ AN-37AG4 の壁用金具を取り付ける場合は、市販のネジ(径 6mm)をご使用ください。

1 液晶テレビを設置する壁面のテレビの四隅となる位置にテープなどを貼り、テレビの外形寸法の目印をつける

・水平･垂直の角度や寸法は正確に測ってください。
・テープ類は跡が残らないものをご使用ください。

2 4箇所の目印から対角線を引き、その交点(テレビの中心となる位置)に目印を付ける

・糸を対角線に張り、交点に目印を付けるなど跡が残らないようにします。

3 この目印と壁用金具のディスプレイ中心を示す刻印を合わせ、壁用金具を壁に取り付ける

・**左記**の寸法の数値は目安です。作業状態などにより異なってきます。

4 スタンドをはずす (⇒84 ～ 85ページ)

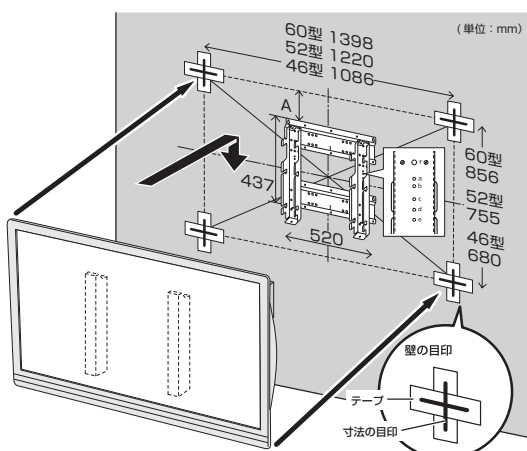
5 壁掛け金具ユニットを液晶テレビに取り付ける

6 壁に掛ける

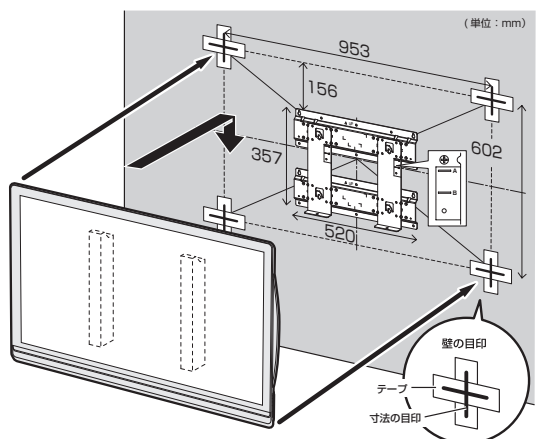
・壁面の寸法の目印(テレビの四隅)を目安にして取り付けます。

7 目印のテープ類を取り除く

AN-52AG6

・LC-60/52/46L5 に対応しています。

	60 型	52 型	46 型
A	164	164	88
画面の中心	e	c の 20mm 上	e の 13mm 上
ディスプレイの中心	e の 26mm 下	c の 5mm 下	e の 14mm 下

AN-37AG4

・LC-40L5 に対応しています。

画面の中心は A の 2mm 上、ディスプレイの中心は A の 25mm 下になります。

本機で使用している特許など

本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報

ソフトウェア構成

本機に組み込まれているソフトウェアは、それぞれ当社または第三者の著作権が存在する、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成されています。

当社開発ソフトウェアとフリーソフトウェア

本機のソフトウェアコンポーネントのうち、当社が開発または作成したソフトウェアおよび付帯するドキュメント類には当社の著作権が存在し、著作権法、国際条約およびその他の関連する法律によって保護されています。
また本機は、第三者が著作権を所有しフリーソフトウェアとして配布されているソフトウェアコンポーネントを使用しています。それらの一部には、GNU General Public License（以下、GPL）、GNU Lesser General Public License（以下、LGPL）、またはその他のライセンス契約の適用を受けるソフトウェアコンポーネントが含まれています。

ソースコードの入手方法

フリーソフトウェアには、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、そのコンポーネントのソースコードの入手を可能にすることを求めるものがあります。GPL および LGPL も、同様の条件を定めています。こうしたフリーソフトウェアのソースコードの入手方法ならびに GPL、LGPL およびその他のライセンス契約の確認方法については、以下の WEB サイトをご覧ください。
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/source/download/index.html（シャープ GPL 情報公開サイト）
なお、フリーソフトウェアのソースコードの内容に関するお問合わせはご遠慮ください。
また当社が所有権を持つソフトウェアコンポーネントについては、ソースコードの提供対象ではありません。

謝辞

本機には以下のフリーソフトウェアコンポーネントが組み込まれています。

- linux kernel
- module-init-tools
- glibc
- uClibc
- DirectFB
- OpenSSL
- zlib
- AGG(ver.2.3)
- NTP
- XMLRPC-EPI
- Expat
- DHCPv6
- Simple IPv4 Link-Local address
- dlmalloc
- util-linux
- coreutils
- jpeg
- libpng
- SQLite
- LVM2
- bash
- libncurses
- device-mapper
- xfsprogs
- parted

本機で使用しているソフトウェアのライセンス表示

ライセンス表示の義務

本機に組み込まれているソフトウェアコンポーネントには、その著作権者がライセンス表示を義務付けているものがあります。そうしたソフトウェアコンポーネントのライセンス表示を、以下に掲示します。

BSD License

OpenSSL License

次のページに続く

CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

SSLeay License

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.
If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)" The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence
[including the GNU Public Licence.]

XMLRPC-EPI

Subject to the following 3 conditions, Epinions, Inc. permits you, free of charge, to (a) use, copy, distribute, modify, perform and display this software and associated documentation files (the "Software"), and (b) permit others to whom the Software is furnished to do so as well.

1) The above copyright notice and this permission notice shall be included without modification in all copies or substantial portions of the Software.

2) THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT ANY WARRANTY OR CONDITION OF ANY KIND, EXPRESS, IMPLIED OR STATUTORY, INCLUDING WITHOUT LIMITATION ANY IMPLIED WARRANTIES OF ACCURACY, MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE OR NONINFRINGEMENT.

3) IN NO EVENT SHALL EPINIONS, INC. BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR LOST PROFITS ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE (HOWEVER ARISING, INCLUDING NEGLIGENCE), EVEN IF EPINIONS, INC. IS AWARE OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Expat

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd and Clark Cooper
Copyright (c) 2001, 2002, 2003 Expat maintainers.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT.
IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

NTP

Copyright (c) David L. Mills 1992-2009
Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appears in all copies and that both the copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name University of Delaware not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. The University of Delaware makes no representations about the suitability this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

Powered by Adobe® Flash®

Adobe Systems Incorporated による Adobe® Flash® Lite® 技術を採用しています。
この AQUOS（LC-60L5、LC-52L5、LC-46L5、LC-40L5）は、Adobe Systems Incorporated からライセンスを受けた Adobe® Flash® Lite® ソフトウェアを採用しています。
Copyright© 1995-2009 Adobe Macromedia Software LLC. All Rights Reserved.
Adobe、Flash および Lite は、Adobe Systems Incorporated の商標です。

Olivier Gay

Copyright (C) 2005, 2007 Olivier Gay <olivier.gay@a3.epfl .ch>. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditionsare met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE PROJECT AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE PROJECT OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE..

Free Type 2 font engine

Portions of this software are copyright © 1996-2002 The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
この製品に搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Group のソフトウェアを一部利用しております。

MP3 は Fraunhofer IIS および Thomson からライセンスされた MPEG Layer-3 音声コーディング技術です。

Portions Copyright© 2004 Intel Corporation
この製品には Intel Corporation のソフトウェアを一部利用しております。

次のページに続く

Ubiquitous SAFE DTCP-IP
Copyright© 2001-2011 Ubiquitous Corp
この製品には株式会社ユビキタスが開発したDTCP-IP 対応ソフトウェアを使用しております。

この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、ロヴィ社の許可が必要です。また、その使用は、ロヴィ社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペイパービューでの使用に制限されています。この製品を分解したり、改造することは禁じられています。

この製品では、シャープ株式会社が表示画面で見やすく、読みやすくなるように設計したLC フォント（複製禁止）が搭載されております。LC フォント、LCFONT、エルシーフォント及びLC ロゴマークはシャープ株式会社の登録商標です。なお、一部LC フォントでないものも使用しています。

商標・登録商標など

- 本機は、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- Dolby、ドルビーおよびダブルD（DD）記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- DLNA®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- IrSS™ またはIrSimpleShot™ は、Infrared Data Association® の商標です。
- 本機は、THX※社が定めるホームシアター用のディスプレイ規格（THX Certified Display Standard）に準拠した映像品位を実現しました。（本機の映画　THX モード､映画　THX（3D）モード使用時。）
  ※ THX およびTHX ロゴはいくつかの管轄区において登録されているTHX Ltd. の商標です。THX 3D ロゴは、THX Ltd. がすべての権利を保有している商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED ロゴはWi-Fi Alliance の認証マークです。

- 本製品には、株式会社ACCESS のNetFront Browser を搭載しています。

- ACCESS、ACCESS ロゴ、NetFront は、日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESS の登録商標または商標です。
- 本製品の一部分にIndependent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。

おもな仕様について

項目		LC-60L5	LC-52L5	LC-46L5	LC-40L5
品名		液晶カラーテレビ			
形名		LC-60L5	LC-52L5	LC-46L5	LC-40L5
液晶パネル	表示サイズ	60V型（横132.9cm×縦74.8cm／対角152.5cm）	52V型（横115.2cm×縦64.8cm／対角132.2cm）	46V型（横101.8cm×縦57.3cm／対角116.8cm）	40V型（横88.6cm×縦49.8cm／対角101.6cm）
	駆動方式	TFT（薄膜トランジスタ）アクティブマトリクス駆動方式			
	画素数	1,920（水平）×1,080（垂直） 画素			
	使用光源	LED			
アンテナ入力		VHF/UHF 75Ω不平衡型（地上デジタル入力共用）、BS-IF 75Ω不平衡型			
スピーカー		2.0cm 丸型2個 4×10cm トラック型2個 1.5×2.5cm トラック型2個			
		4×7cm トラック型2個			6.5cm 丸型1個
音声実用最大出力（JEITA）		30W （7.5W+7.5W+15W）			
使用電源		AC100V・50/60Hz			
消費電力		210W （待機時電力：0.1W※1、クイック起動「する」時電力：37W）	167W （待機時電力：0.1W※1、クイック起動「する」時電力：37W）	150W （待機時電力：0.1W※1、クイック起動「する」時電力：37W）	132W （待機時電力：0.1W※1、クイック起動「する」時電力：37W）
年間消費電力量		・区分名：DG1（FHD、液晶倍速、付加機能1） ・受信機型サイズ：60V ・年間消費電力量：161kWh／年 ［標準時※2］	・区分名：DG1（FHD、液晶倍速、付加機能1） ・受信機型サイズ：52V ・年間消費電力量：132kWh／年 ［標準時※2］	・区分名：DG1（FHD、液晶倍速、付加機能1） ・受信機型サイズ：46V ・年間消費電力量：120kWh／年 ［標準時※2］	・区分名：DG1（FHD、液晶倍速、付加機能1） ・受信機型サイズ：40V ・年間消費電力量：106kWh／年 ［標準時※2］
接続端子		HDMI入力4系統4端子、D5映像入力1系統1端子、 ビデオ入力2系統2端子（入力6は音声出力兼用）、 音声出力1系統1端子（入力6兼用）、アナログRGB（PC入力）端子、 音声入力端子（入力7／入力4用）、デジタル音声出力（光）1系統1端子、 アンテナ入力地上デジタル／地上アナログ（VHF・UHF）端子、 アンテナ入力BS・110度CS端子、ヘッドホン接続端子、USB端子2系統2端子、 LAN1系統1端子（10BASE-T/100BASE-TX）			
受信チャンネル		地上アナログVHF1〜12ch・UHF13〜62ch、CATV13〜63ch、 BSデジタル001〜999ch、110度CSデジタル000〜999ch、 地上デジタル（ワンセグを除く）011〜528ch （CATVパススルー対応）			
BS・110度CSチャンネル受信仕様	変調	時分割多重mPSK			
	トランスポート	MPEG2 システム			
	映像	MPEG2 （MP@HL）			
	音声	MPEG2 AAC			
	限定受信システム	ARIB CASシステム			
	受信周波数帯域	11.71GHz〜12.75GHz			
	IRD受信周波数帯域	1032MHz〜2071MHz			
地上デジタルチャンネル受信仕様	変調	直交周波数分割多重（OFDM）			
	トランスポート	MPEG2 システム			
	映像	MPEG2 （MP@HL）			
	音声	MPEG2 AAC			
	限定受信システム	ARIB CASシステム			
	受信周波数帯域	93MHz〜767MHz			
	CATVパススルー対応	UHF帯、ミッドバンド（MID）帯、スーパーハイバンド（SHB）帯、VHF帯			

次のページに続く

品名		液晶カラーテレビ			
形名		LC-60L5	LC-52L5	LC-46L5	LC-40L5
タイマー	予約番組数(最大)	32番組			
外形寸法	ディスプレイ部のみ	幅139.8× 奥行10.8× 高さ85.6(cm)	幅122.0× 奥行10.8× 高さ75.5(cm)	幅108.6× 奥行10.8× 高さ68.0(cm)	幅95.3× 奥行11.8× 高さ60.2(cm)
	スタンド装着時	幅139.8× 奥行36.2× 高さ90.5(cm)	幅122.0× 奥行30.2× 高さ80.4(cm)	幅108.6× 奥行30.2× 高さ72.8(cm)	幅95.3× 奥行26.8× 高さ64.8(cm)
本体質量	ディスプレイ部のみ	約29.5kg	約23.0kg	約19.5kg	約14.5kg
	スタンド装着時	約36.5kg	約27.0kg	約23.5kg	約17.5kg
使用温度		0℃~40℃			

■ 製品改良のため仕様の一部を予告なく変更することがあります。
■ 表示サイズの「××V型」は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
■ 液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素があります。0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますが故障ではありません。
■ JIS C 61000-3-2適合品
JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部:限度値－高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。
■ 年間消費電力量とは:省エネ法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間(4.5時間)を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。
■ 年間消費電力量の区分名とは:「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」では、テレビの画素数、表示素子、動画表示、及び付加機能の有無等に基づいた区分を行なっています。その区分名称を言います。
■「標準」:一般的にご家庭でご使用される際のメーカー推奨の画質設定モードです。
※1 USB入力未接続時。
※2 設定が、AVポジション「標準」で、明るさセンサー「切」の場合です。

3D メガネの仕様について

品名	3Dメガネ
レンズ方式	液晶シャッター方式
使用電源	DC5V(本体のUSB端子より供給)
電池	リチウムイオンポリマー充電池(DC 3.7V、70mAh)
電池持続時間※	連続約30時間
電池充電時間	約90分
使用温度	10℃~40℃ (低温では3Dメガネは十分な性能を発揮できません。使用温度をお守りください。)

※ 充電池は使用を繰り返すうちに劣化し、次第に電池持続時間が短くなっていきます。(お客様の使用環境により持続時間は異なります。)上記の数値は工場出荷時の状態を示すもので、性能を保証するものではありません。

内蔵無線 LAN の仕様について

データ転送速度(理論値)	IEEE802.11n	300 ~ 6Mbps
	IEEE802.11a/g	54/48/36/24/18/12/9/ 6Mbps
	IEEE802.11b	11/5.5/2/1Mbps
チャンネル(中心周波数)※	5GHz	W52 36、40、44、48ch W53 52、56、60、64ch W56 100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch
	2.4GHz	1ch ~ 13ch
セキュリティ		WPA2-PSK(TKIP/AES)【推奨】、WPA-PSK(TKIP/AES)、WEP(128/64bit)

※ 基本的に携帯電話、コードレスホン、テレビ、ラジオ等とは混信しませんが、これらの機器が 2.4GHz 帯の無線を使用する場合は、混信が発生する可能性があります。

※ 電波法により、W 52 /W 53 は屋外での使用は禁止されています。

保証とアフターサービス

よくお読みください

保証書(別添)

■ 保証書は、「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

■ **保証期間**
お買いあげの日から1年間です。
保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
※ 本機を分解すると、保証が無効になります。

使い方や修理のご相談など

■ 修理・使い方・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、及び万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、または下記窓口にお問い合わせください。

【お客様相談センター】

0120 - 001 - 251
携帯·PHS OK
携帯電話･PHSからもご利用いただけます。

※詳細は、取扱説明書の裏表紙をご確認ください。

補修用性能部品の保有期間

■ 当社は、液晶カラーテレビの補修用性能部品を、製品の製造打切後、8年保有しています。
■ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは 出張修理

■ 「故障かな?と思ったら」(⇒**65～72**ページおよび『電子取扱説明書』)を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

- 品　　　名　:液晶カラーテレビ
- 形　　　名　:LC-60L5／LC-52L5／LC-46L5／LC-40L5
- お買いあげ日(年月日)
- 故障の状況(できるだけくわしく)
- ご　住　所
(付近の目印もあわせてお知らせください)
- お　名　前
- 電話番号
- ご訪問希望日

便利メモ

お客様へ…お買いあげ日･販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年　月　日	電話(　　)　―

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

愛情点検

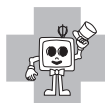
●長年ご使用のテレビの点検をぜひ! (熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。)

このような症状はありませんか

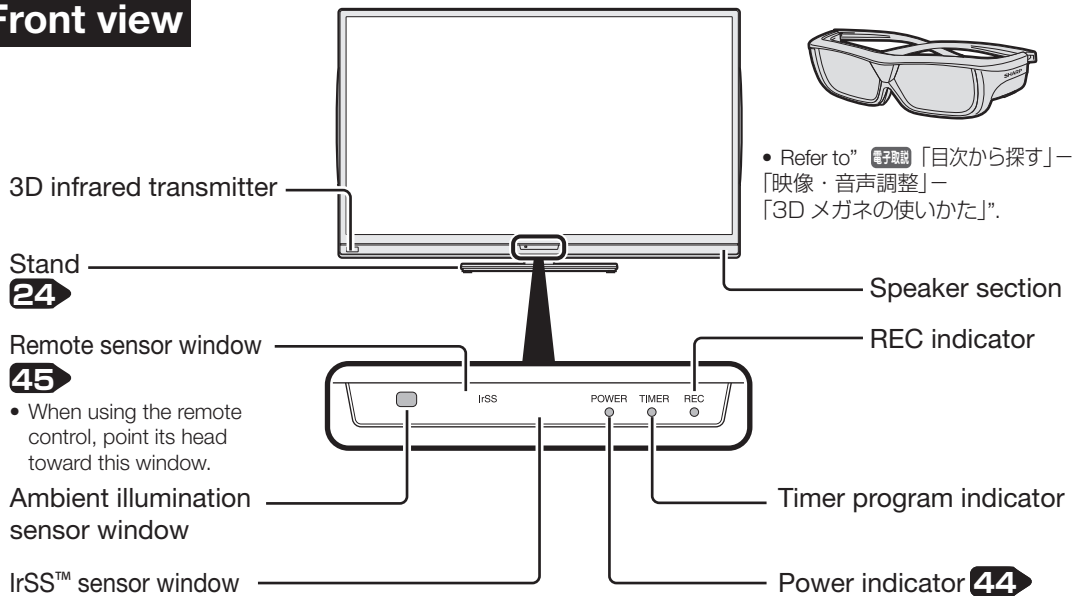
- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 上下、または左右の映像が欠けて映る。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。

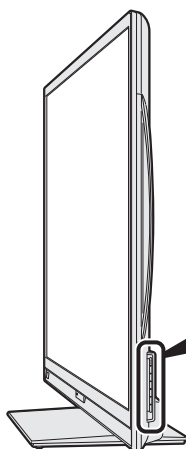
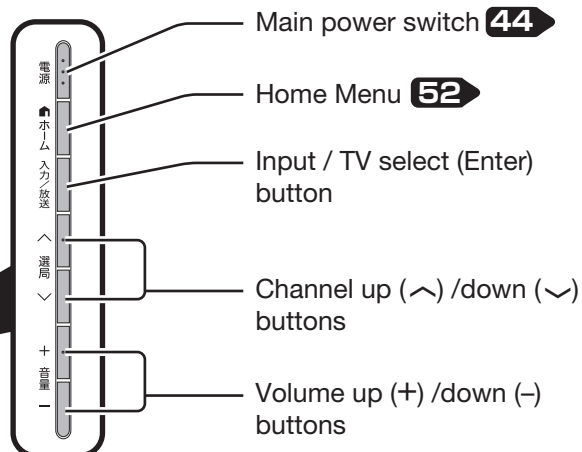
ご使用中止

故障や事故防止のため、スイッチを切りコンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

English Guide
Part Names

- The number shown in each ▶ is the page number where the part's function and/or use are explained in Japanese.

Front view

Adjusting the LCD panel angle
- The LCD panel can be rotated horizontally up to 20° clockwise and counter-clockwise.
- Hold the stand firmly when you adjust the monitor's angle.

Right side view

Control panel

Back view

The illustrations below are those of LC-60L5.
LC-52L5/LC-46L5/LC-40L5 has the same layout of jacks and terminals as LC-60L5.

USB 1 terminal **41・82**

Headphones jack

Connect a Blu-ray Disc player, AV amplifier, etc.

AV in 1・2・3 and 4 (HDMI) **32・36～37・38**

B-CAS card slot **27**

- IC chip side of B-CAS card is turned to a front side of this product, and B-CAS card is inserted.

AV in 7 (PC) **39**

Connect a video game equipment, video camera, etc.

AV in 5 (D5) **32**

AV in 6/Audio out **32**

USB 2 terminal **41**

- The USB 2 terminal is compatible with portable hard disk drives that operate using USB terminal-provided power.

PC input (audio) **38**

VHF·UHF antenna input terminal **28～31**

BS·CS 110 antenna input terminal **28～31**

Digital audio output jack (optical) **33・35・37**

LAN jack (10BASE-T/100BASE-TX) **40・41**

次のページに続く

Remote Control Unit

Active/Standby 44
Press to engage the TV set in the active or standby mode.

地上 **Terrestrial digital select** 51
Terrestrial analog select 51
BS **BS select** 51
CS **CS select** 51

When selecting the CS digital channel for the first time. 50

データ連動
d **Linked data broadcast** 51
Press to call the data broadcast linked with the current digital TV program.

消音 **Mute** 51
Press to mute audio.

音量 **Volume up (+)/down (-)** 51
Press to adjust the volume.

番組表(予約) **EPG** 51
Press to display or turn off the Electronic Program Guide (EPG: 番組表) when receiving a digital broadcast.

ホーム **Display the "Home" Menu** 52・53
Press to start some useful operations of the TV.

番組情報
Program info
Press to display detailed information on the current digital program.

Finish
Press to finish menu operation, etc.

録画消去
Delete recording
Press to telete a title recorded on the USB-HDD.

2画面
Split screen
Press to switch between the split screen mode and the normal screen mode.

操作切換
Operable screen
Press to switch the operable screen when the TV set is in the split screen mode.

静止
Freeze
Press to freeze the picture.

3桁入力
Digital channel number input
Use to select a digital channel by entering the 3-digit channel number.

AVポジション
AV mode select
Press to select the picture/sound setting that best matches the current program.

オフタイマー
Sleep timer
Press to select the remaining time period after which the TV set automatically enters the standby mode.

画面表示
Display
Press to display or turn off the channel call, etc.

3D
3D
Press to switch to 3D mode when the TV set receives a 3D signal.

セーブモード
Power saving mode
Select power saving settings.

インフォメーション
Information
Press to display AQUOS information.

Channel select 51
- Press to select a channel.
- Use to input a number for various settings.

インターネット
Internet
Press to connect to the internet.

選局 **Channel up (∧)/down (∨)** 51
Press to select channels in the ascending or descending order.
*CATV channels are factory set to be skipped. 64

入力切換
Input select 51
Press to select the input.

Display the Tool Menu 52・53

Cursor (up, down, left, right) 52・53
Use to select a menu item, column, etc.

決定 **Enter/Confirm** 52・53
Press to confirm a selected setting or menu item.

Return 52
Press to go back to the previous screen.

青 赤 緑 黄 **Color**
Use to operate EPGs and data program screens.

Familink
Press to operate "Familink" Recorders and AQUOS Audio connected via HDMI cables.

音声切換
Audio select
Press to select the audio.

取扱説明 (操作ガイド)
Operation guide 54
Press to display the operation guide.

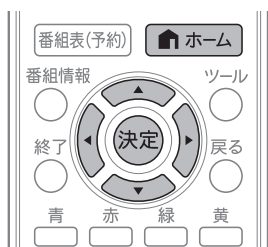
字幕
Caption
Press to display, select, or turn off captions when watching a digital program with captions.

常連番組
Recommended programs select
Press to select a program which the TV set recommends.

To open the cover
Hold the cover by the projections on both sides and lift upwards.

電源 3D セーブモード インフォメーション 地上 BS CS
あ ./ 1 か ABC 2 さ DEF 3 た GHI 4 な JKL 5 は MNO 6 ま PQRS 7 や TUV 8 ら WXYZ 9 、。?! 10/0 わをん 11 ゛゜全/半 12
データ連動 d 音量 選局 インターネット 消音 入力切換 番組表(予約) ホーム 番組情報 ツール 決定 終了 戻る 青 赤 緑 黄
録画 録画リスト ファミリンク 機器選択 早戻し 再生 早送り 録画停止 停止 一時停止 10秒戻し 前 次 30秒送り 録画消去 2画面 操作切換 静止 3桁入力 オフタイマー 字幕 音声切換 AVポジション 画面表示 常連番組 取扱説明 (画質切換) (操作ガイド)

Switching the Display Language to English
ホームメニューなどの言語を英語にする

- Using the Home menu screen, you can switch the on-screen display language to English.
  ホームメニューなどの画面表示を英語にすることができます。

◇おしらせ◇

誤ってホームメニューを英語にしてしまったときは

- ホームメニューから「Setup」－「（View Setting）」－「言語（Language）」を選んで決定し、「日本語」を選んで決定すると日本語になります。

1 Select "設定" (Setup) on the Home menu.
ホームメニューから「設定」を選ぶ

Press and select with

2 Select "（視聴準備）" (View Setting).
「（視聴準備）」を選ぶ

Select with

3 Select "Language(言語)".
「Language(言語)」を選ぶ

Select with and press

4 Select "English".
「English」を選ぶ

Enter.
決定する

Select with and press

- The menu screen is now displayed in English.
- 画面表示が英語になります

5 Finish this operation.
終了する

Press ホーム

ホームメニュー項目の一覧

項目の内容は、本機をお使いになる条件によって異なることがあります。

設定

視聴準備

通信（インターネット）設定

- LAN 設定
  - 接続タイプ切換 → 接続タイプ切換：有線、無線／設定完了：終了
  - 無線設定 → 現在の設定：変更する、初期化する／アクセスポイント登録：WPS、検索、手動設定／接続方式選択：プッシュボタン、PIN コード／設定開始：次へ／設定完了：終了
  - IPv4 設定 → 現在の設定（設定の確認）／IP アドレス設定／DNS 設定／ネットワーク設定確認：テスト実行、完了
  - IPv6 設定 → 現在の設定（設定の確認）／IP アドレス設定／DNS 設定／ネットワーク設定確認：テスト実行、完了
- IPTV 設定
  - サービス設定：する、しない
  - 基本登録：事業者 ID、事業者名
  - チャンネル設定 → IPTVー自動：する、しない／ー追加：する、しない／ー個別：各 CH の設定
  - 受信状態
- 起動モード設定：テレビ、テレビ＋インターネット
- インターネットボタン設定：する、しない
- AQUOS リモート設定
  - 機器名設定 → 機器名
  - 詳細設定 → AQUOS リモート状態／ログイン ID／パスワード／コントロールポート
- ホームネットワーク設定
  - リモート再生設定：許可する、許可しない
  - タイムアウト設定：しない、10 秒、60 秒
- ネットサービス制限設定
  - デジタル放送接続制限 → 現在の設定：禁止する、禁止しない／設定画面：する、しない
  - インターネット接続制限 → 現在の設定：禁止する、禁止しない／設定画面：する、しない
  - プロキシサーバー設定 → 現在の設定：プロキシサーバー、利用する、利用しない、アドレス、ポート／設定画面：する、しない、完了
  - ブラウザ制限 → 現在の設定：禁止する、禁止しない／設定画面：する、しない

次のページに続く

視聴準備（つづき）

- 録画機器選択：録画時に選択する、USB-HDD、ファミリンクレコーダー
- USB－HDD 設定
  - USB－HDD の選択：USB-HDD1、USB-HDD2、USB-HDD3、USB-HDD4、選択しない
  - 機器の初期化
    - する
      - USB1 / USB2
        - 常連録画時間設定：なし、10 時間、20 時間、40 時間
        - 機器の初期化：する、しない
    - しない
  - 機器の登録解除
  - 機器の取りはずし：取りはずす
  - 常連録画設定
    - 常連録画機能：有効、無効
    - 録画時間帯
    - 録画放送設定(地上デジタル)：録画する、録画しない
    - 録画放送設定(BS)：録画する、録画しない
    - 録画放送設定(CS)：録画する、録画しない
    - 常連録画時間設定：なし、10 時間、20 時間、40 時間
  - 録画画質：標準(DR)、モード 1、モード 2
  - 省エネ設定：する、しない
  - オートチャプター設定：おまかせ、しない、10 分、15 分、30 分
  - 機器名の変更
    - USB-HDD1 / USB-HDD2 / USB-HDD3 / USB-HDD4
      - 機器名の変更：する、しない
- お好み画質・音質設定
  - お好み画質設定：する、しない
  - お好み音質設定：する、しない
- 視聴設定
  - 明るさセンサー(OPC)感度設定
    - 感度：－8 ～ +8
    - 感度(暗めな部屋)：－8 ～ +8
    - 色温度：低 8 ～高 8
  - 音質補正 (設置部屋別)：しない、洋室、寝室、和室
  - 音質補正 (設置場所別)：しない、壁寄せ、コーナー置き、壁掛け
- 各種設定
  - 起動チャンネル設定：通常、常連番組
  - 暗証番号設定：する、しない
  - 視聴年齢制限設定：XX 歳、無制限
  - ダウンロード設定：する、しない(⇒**81** ページ)
  - 電源スイッチ設定：モード 1、モード 2(⇒**78** ページ)
  - クイック起動設定：しない、する (常に有効)、する (2 時間のみ有効)
  - 時計設定
    - 時刻設定：年　月　日　時　分
    - 時刻表示：する、する(30 分ごと)、しない
    - 時計タイプ：デジタル、アナログ
  - リモコン番号設定（⇒**76** ページ）
    - リモコン番号 1：する、しない
    - リモコン番号 2：する、しない
- Language (言語)：日本語、English(⇒**97** ページ)
- 個人情報初期化：全ての情報を消去、USB-HDD の情報を残して消去、しない(⇒**79** ページ)

映像調整

- AV ポジション(画質切換)：ぴったりセレクト、標準、映画、映画　THX、映画(クラシック)、ゲーム、PC、AV メモリー、フォト、ダイナミック、ダイナミック(固定)、標準(3D)、映画(3D)、映画　THX(3D)、ゲーム(3D)
- お好み画質詳細設定
  - お好み画質：する、しない
  - ジャンル切換：スポーツ、ビデオ、フィルム
  - 映像：－10 ～ +10
  - 黒レベル：－10 ～ +10
  - 色の濃さ：－10 ～ +10
  - 色あい：－10 ～ +10
  - 画質：－10 ～ +10
  - プロ設定
    - カラーマネージメント－色相 / カラーマネージメント－彩度 / カラーマネージメント－明度
      - R：－30 ～ 0 ～ +30
      - Y：－30 ～ 0 ～ +30
      - G：－30 ～ 0 ～ +30
      - C：－30 ～ 0 ～ +30
      - B：－30 ～ 0 ～ +30
      - M：－30 ～ 0 ～ +30
      - リセット
    - アンベールコントロール：0 ～ +15
    - ガンマ設定：－2 ～ 0 ～ +2
    - アクティブガンマ：+1 ～ +15
  - 学習機能
    - 映像取得
      - 映像：-20 ～ +20
      - 黒レベル：-20 ～ +20
      - 色の濃さ：-20 ～ +20
      - 色あい：-20 ～ +20
      - 画質：-20 ～ +20
      - 保存
    - 編集
      - 映像
      - 黒レベル
      - 色の濃さ
      - 色あい
      - 画質
      - 初期化
  - リセット：する、しない
- 明るさセンサー(OPC)：切、入、入：表示あり
- 明るさ：－16 ～ 0 ～ +16
- 3D 明るさアップ：標準、強、弱
- 映像：0 ～ +40
- 黒レベル：－30 ～ 0 ～ +30
- 色の濃さ：－30 ～ 0 ～ +30
- 色あい：－30 ～ 0 ～ +30
- 画質：－10 ～ +10
- プロ設定
  - カラーマネージメント－色相 / カラーマネージメント－彩度 / カラーマネージメント－明度
    - R：－30 ～ 0 ～ +30
    - Y：－30 ～ 0 ～ +30
    - G：－30 ～ 0 ～ +30
    - C：－30 ～ 0 ～ +30
    - B：－30 ～ 0 ～ +30
    - M：－30 ～ 0 ～ +30
    - リセット
  - 色温度
    - 色温度：自動、高、高－中、中、中－低、低
    - Rゲイン(低)：－30 ～ 0 ～ +30
    - Gゲイン(低)：－30 ～ 0 ～ +30
    - Bゲイン(低)：－30 ～ 0 ～ +30
    - Rゲイン(高)：－30 ～ 0 ～ +30
    - Gゲイン(高)：－30 ～ 0 ～ +30
    - Bゲイン(高)：－30 ～ 0 ～ +30
    - リセット
  - アンベールコントロール：0 ～ +15
  - QS 駆動：240Hz スキャン、スキャン、アドバンス(強)、アドバンス(標準)、スタンダード、しない
  - シャッター効果：0 ～ +6
  - フルハイプラス：する、しない
  - アクティブコントラスト：する、しない
  - ガンマ設定：－2 ～ 0 ～ +2
  - I/P 設定：動画より、静止画より
  - フィルムモード：アドバンス(強)、アドバンス(標準)、スタンダード、しない
  - デジタル NR：オート、強、中、弱、しない
  - モノクロ：する、しない
  - 明るさセンサー(OPC)設定
    - 最大値設定：－16 ～ 0 ～ +16
    - 最小値設定：－16 ～ 0 ～ +16
- リセット：する、しない

音声調整

オートボリューム	強、中、弱、切
高音	−15～0～+15
低音	−15～0～+15
バランス	左 30 ～中央～右 30
サラウンド	自動、入、切
3D サラウンド	標準、ムービーシアター、コンサートホール、切
音質補正	標準、映画、ダイナミック、ニュース
リセット	する、しない
声の聞きやすさ	標準、マイルド、くっきり、しない

安心・省エネ

照明オフ連動	照明オフ連動	設定、解除
	電源切(待機状態)移行時間	0 分、15 分、30 分、60 分
	表示設定	アイコン + 文字、文字のみ

セーブモード設定	モード 1、モード 2
映像オフ	する、しない
無信号オフ	する、しない
無操作オフ	30 分、3 時間、しない
ゲーム時間表示設定	する、しない
チャイルドロック	しない、リモコン操作ロック、本体操作ロック

機能切換

お知らせ

受信機レポート	
放送局メッセージ	
ボード(CS デジタル)	CS1、CS2
B-CAS カード	実行
システム動作テスト	テスト実行
ソフトウェアの更新	(⇒**82** ページ)

ツール

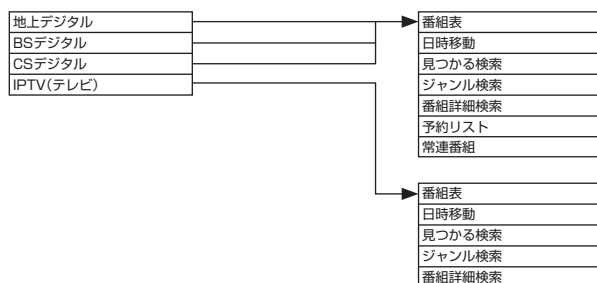
2D→3D 変換効果調整	
お知らせタイマー	
映像切換	
テレビ／データ／ポータル	
AQUOS インフォメーション	
AV ポジション(画質切換)	
画面表示設定	
USB-HDD 設定	⇒**100** ページの「USB-HDD 設定」
3D ストレッチ	
前画面	
お知らせ(受信機レポート)	
録画状態	

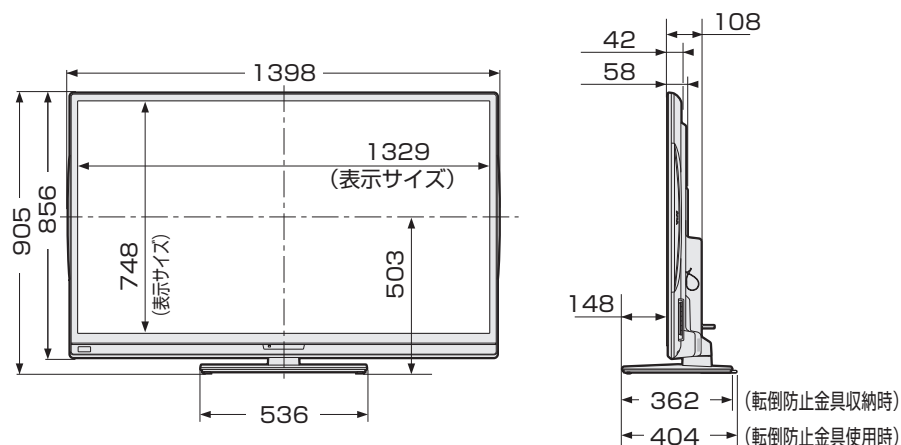
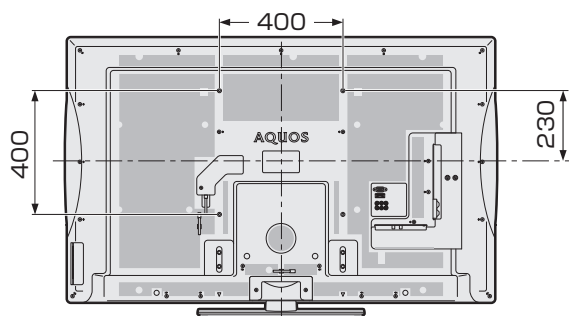
リンク操作

レコーダー電源入／切	
ファミリンクパネル	
録画リストから再生	
スタートメニュー表示	
機器のメディア切換	
リンク予約(録画予約)	
音声出力機器切換	AQUOS オーディオで聞く、AQUOS で聞く
ファミリンク機器リスト	
ファミリンク設定	⇒**102** ページの「ファミリンク設定」

リンク予約

レコーダーの番組表を表示

番組表（予約）

チャンネル（電子取説「目次から探す」－「番組の選びかた」－「はじめに」－「ホームメニューの項目一覧」－「チャンネル」）

寸法図／壁掛け金具取り付け時の寸法

（単位：mm）

LC-60L5

壁掛け金具取り付け時の寸法

金具取付ピッチは400mmです。

・ご使用になる機能の入出力をあらかじめ、接続してから
アングルの取り付けを行ってください。

壁掛け金具AN-52AG6使用時

（単位：mm）

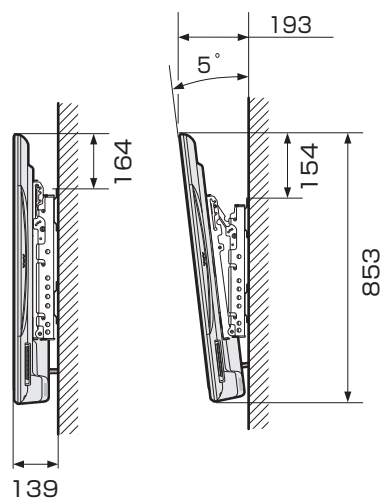
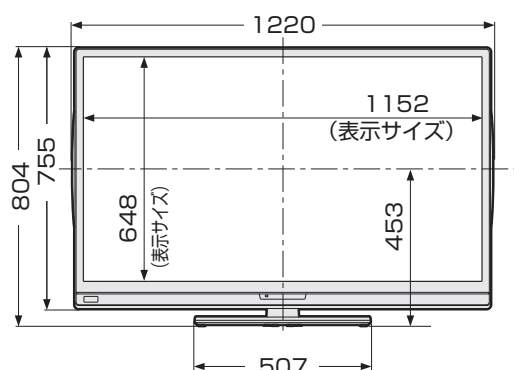
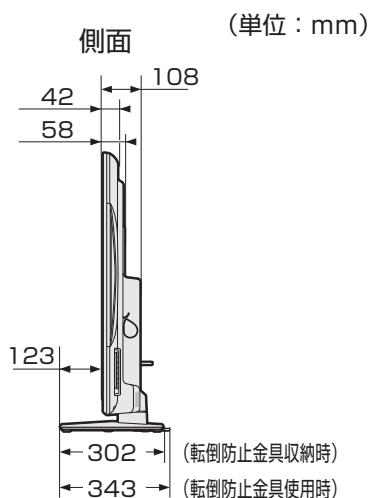
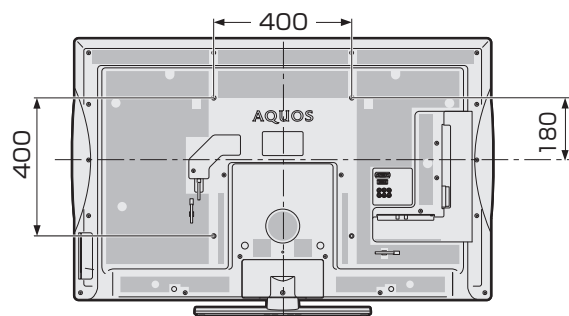
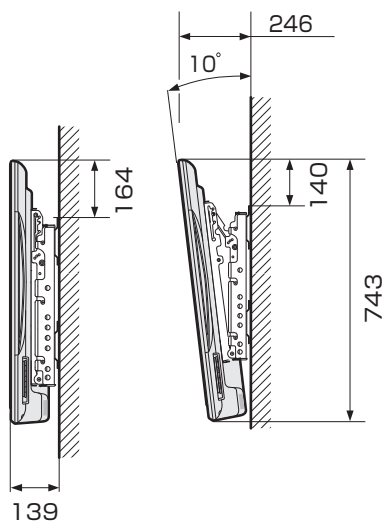
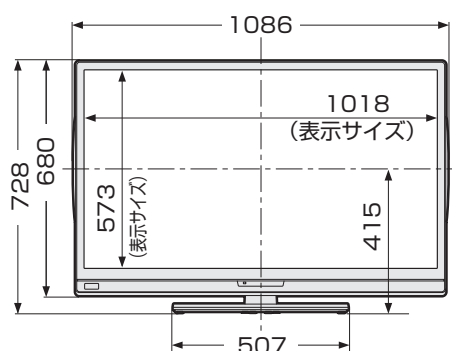
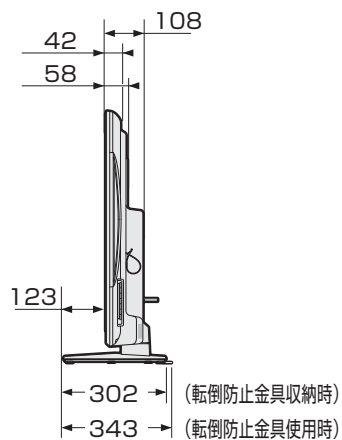
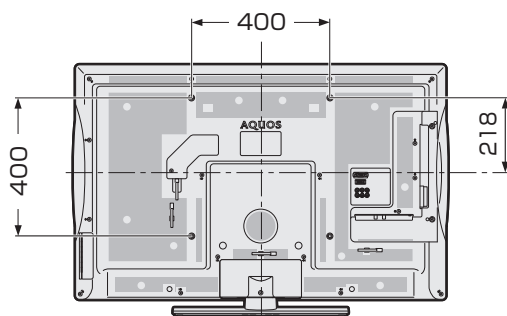
金具取付ピッチは400mmです。

・ご使用になる機能の入出力をあらかじめ、接続してからアングルの取り付けを行ってください。

壁掛け金具AN-52AG6使用時

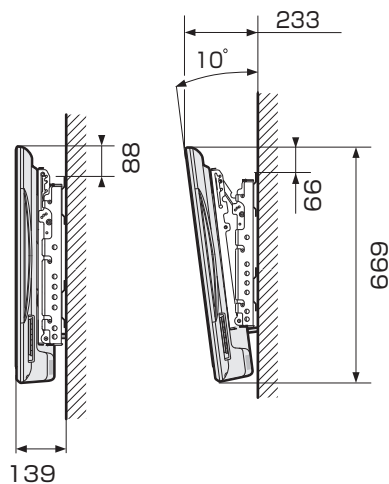
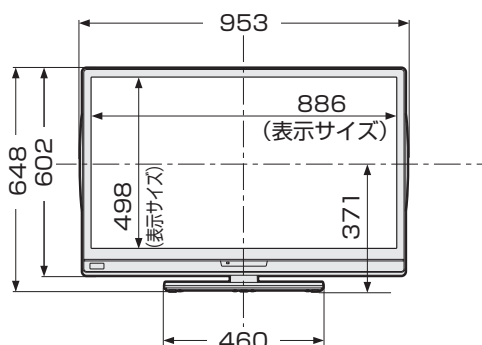
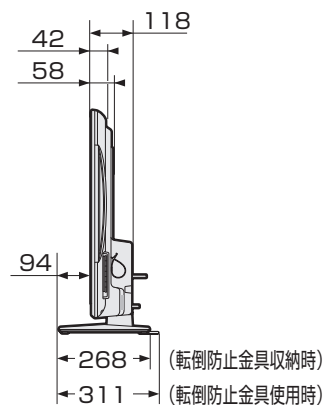
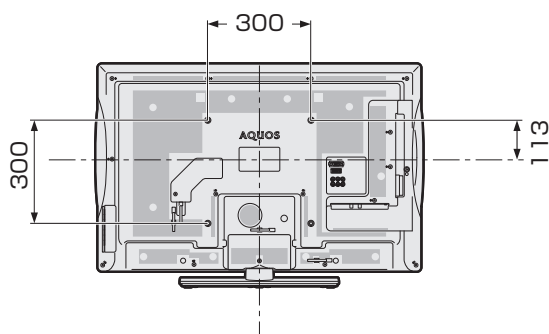
（単位：mm）

側面

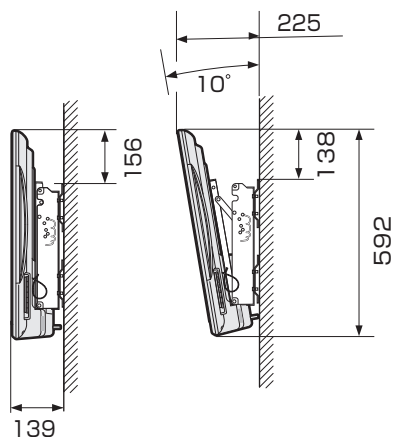
108
42
58
123
302 （転倒防止金具収納時）
343 （転倒防止金具使用時）

壁掛け金具取り付け時の寸法

金具取付ピッチは
400mmです。

・ご使用になる機能の入出力をあらかじめ、接続してから
アングルの取り付けを行ってください。

壁掛け金具AN-52AG6使用時

（単位：mm）

壁掛け金具取り付け時の寸法

金具取付ピッチは300mmです。

・ご使用になる機能の入出力をあらかじめ、接続してからアングルの取り付けを行ってください。

壁掛け金具AN-37AG4使用時

地域番号早見表

五十音	都市名	地域番号
あ	会津若松市	021
	青森市	010
	明石市	063
	昭島市	030
	秋田市	015
	阿久根市	095
	上尾市	027
	朝霞市	027
	旭川市	002
	足利市	027
	厚木市	033
	網走市	001
	我孫子市	029
	尼崎市	061
	安城市	054
い	飯田市	045
	池田市	061
	生駒市	061
	石巻市	014
	和泉市	061
	伊勢崎市	025
	伊丹市	061
	市川市	029
	一宮市	054
	市原市	029
	茨木市	061
	今治市	081
	入間市	027
	いわき市	020
	岩国市	077
う	宇治市	060
	宇都宮市	101
	宇部市	076
	浦安市	029
え	海老名市	033
	江別市	001
お	青梅市	030
	大分市	091

五十音	都市名	地域番号
お	大垣市	047
	大阪市	061
	大館市	016
	大津市	058
	大牟田市	086
	岡崎市	054
	岡山市	070
	沖縄市	096
	小樽市	007
	小田原市	035
	帯広市	005
	小山市	027
か	各務原市	106
	加古川市	063
	鹿児島市	094
	橿原市	065
	柏市	029
	春日井市	054
	春日部市	027
	門真市	061
	金沢市	041
	鎌倉市	033
	刈谷市	054
	川口市	027
	川越市	027
	川崎市	033
	河内長野市	061
	川西市	064
き	木更津市	029
	岸和田市	061
	北九州市	084
	北見市	009
	岐阜市	047
	京都市1	060
	京都市2	098
	桐生市	102
く	釧路市	004
	熊谷市	103

五十音	都市名	地域番号
く	熊本市	090
	倉敷市	070
	久留米市	085
	呉市	073
こ	高知市	082
	甲府市	043
	神戸市	061
	郡山市	019
	小金井市	030
	越谷市	027
	小平市	030
	小牧市	054
	小松市	041
さ	さいたま市	027
	堺市	061
	佐賀市	087
	酒田市	018
	相模原市	033
	佐倉市	029
	佐世保市	089
	札幌市	001
	座間市	033
	狭山市	027
し	静岡市	049
	下関市	075
	周南市	074
	上越市	038
す	吹田市	061
	鈴鹿市	057
せ	瀬戸市	054
	仙台市	013
そ	草加市	027
た	大東市	061
	高岡市	040
	高崎市	025
	高槻市	061
	高松市	078
	宝塚市	061

五十音	都市名	地域番号
た	立川市	030
	多摩市	105
ち	茅ケ崎市	034
	千葉市	029
	調布市	030
つ	津市	057
	つくば市	029
	土浦市	029
	鶴岡市	018
と	東京２３区	030
	徳島市	097
	所沢市	027
	鳥取市	067
	苫小牧市	006
	富山市	039
	豊川市	055
	豊田市	056
	豊中市	061
	豊橋市	055
	富田林市	061
な	長岡市	037
	長崎市	088
	長野市	044
	流山市	029
	名古屋市	054
	那覇市	096
	奈良市	065
	習志野市	029
に	新潟市	037
	新座市	027
	新居浜市	080
	西宮市	061
ぬ	沼津市	052
ね	寝屋川市	061
の	野田市	029
	延岡市	093
は	函館市	003
	秦野市	036

五十音	都市名	地域番号
は	八王子市	104
	八戸市	011
	羽曳野市	061
	浜田市	069
	浜松市	050
	半田市	054
ひ	東大阪市	061
	東久留米市	030
	東村山市	030
	彦根市	059
	日立市	023
	ひたちなか市	022
	日野市	030
	姫路市	062
	枚方市	061
	平塚市	034
	弘前市	010
	広島市	071
ふ	福井市	042
	福岡市	083
	福島市	019
	福山市	072
	藤枝市	053
	藤沢市	033
	富士市	051
	富士宮市	051
	府中市（東京）	030
	船橋市	029
へ	別府市	091
ほ	防府市	074
ま	前橋市	025
	町田市	033
	松江市	068
	松阪市	057
	松戸市	029
	松原市	061
	松本市	046
	松山市	079

五十音	都市名	地域番号
み	三郷市	027
	三島市	052
	三鷹市	030
	水戸市	022
	都城市	092
	宮崎市	092
む	武蔵野市	030
	室蘭市	008
も	盛岡市	012
	守口市	061
や	矢板市	100
	焼津市	049
	八尾市	061
	八千代市	029
	八代市	090
	山形市	017
	山口市	074
	大和市	033
よ	横須賀市	033
	横浜市	033
	四日市市	057
	米子市	068
わ	和歌山市１	107
	和歌山市２	099

地域番号一覧表

都道府県	都市名	リモコン番号 / 地域番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			受信チャンネル / 放送局名											
工場出荷時設定		000	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
北海道	札幌	001	1	2	3	17	5	6	27	8	35	10	11	12
			北海道放送		NHK 総合	テレビ北海道	札幌テレビ		北海道文化放送		北海道テレビ			NHK 教育
	旭川	002	1	2	33	37	39	6	7	8	9	10	11	12
				NHK 教育	テレビ北海道	北海道文化放送	北海道テレビ		札幌テレビ		NHK 総合		北海道放送	
	函館	003	21	27	35	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			テレビ北海道	北海道文化放送	北海道テレビ	NHK 総合		北海道放送				NHK 教育		札幌テレビ
	釧路	004	1	2	39	41	5	6	7	8	9	10	11	12
				NHK 教育	北海道テレビ	北海道文化放送			札幌テレビ		NHK 総合		北海道放送	
	帯広	005	32	2	34	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			北海道文化放送		北海道テレビ	NHK 総合		北海道放送				札幌テレビ		NHK 教育
	苫小牧	006	47	49	51	53	55	57	61	8	9	10	11	12
			テレビ北海道	NHK 教育	NHK 総合	北海道文化放送	北海道放送	札幌テレビ	北海道テレビ					
	小樽	007	24	2	26	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			テレビ北海道	NHK 教育	北海道文化放送	北海道テレビ			札幌テレビ		北海道放送		NHK 総合	
	室蘭	008	1	2	29	37	39	6	7	8	9	10	11	12
				NHK 教育	テレビ北海道	北海道文化放送	北海道テレビ		札幌テレビ		NHK 総合		北海道放送	
	北見	009	1	2	3	4	59	61	7	8	9	10	53	12
				NHK 教育			北海道文化放送	北海道テレビ	札幌テレビ		NHK 総合		北海道放送	
青森	青森	010	1	2	3	4	5	6	38	8	34	10	11	12
			青森放送テレビ		NHK 総合		NHK 教育		青森テレビ		青森朝日放送			
	八戸	011	1	2	33	4	31	6	7	8	9	10	11	12
					青森テレビ		青森朝日放送		NHK 教育		NHK 総合		青森放送テレビ	
岩手	盛岡	012	1	2	3	4	5	6	7	8	31	35	11	33
						NHK 総合		IBC テレビ		NHK 教育	岩手朝日テレビ	テレビ岩手		めんこいテレビ
宮城	仙台	013	1	2	3	4	5	6	32	8	34	10	11	12
			東北放送		NHK 総合		NHK 教育		東日本放送		宮城テレビ			仙台放送
	石巻	014	59	2	51	4	49	6	61	8	55	10	11	57
			東北放送		NHK 総合		NHK 教育		東日本放送		宮城テレビ			仙台放送
秋田	秋田	015	1	2	3	4	5	6	7	8	9	31	11	37
				NHK 教育							NHK 総合	秋田朝日放送	秋田放送テレビ	秋田テレビ
	大館	016	1	2	3	4	5	6	7	8	9	59	11	57
				(NHK 教育)		NHK 総合		秋田放送テレビ		NHK 教育	(NHK 総合)	秋田朝日放送	(秋田放送テレビ)	秋田テレビ
山形	山形	017	1	2	3	4	5	36	30	8	9	10	11	38
						NHK 教育		テレビユー山形	さくらんぼテレビ	NHK 総合		山形放送		山形テレビ
	鶴岡	018	1	2	3	4	5	6	7	39	9	22	11	24
			山形放送		NHK 総合			NHK 教育		山形テレビ		テレビユー山形		さくらんぼテレビ
福島	福島	019	1	2	31	4	33	6	35	8	9	10	11	12
				NHK 教育	テレビユー福島		福島中央テレビ		福島放送		NHK 総合		福島テレビ	
	いわき	020	1	62	3	4	5	58	7	8	9	10	11	60
				テレビユー福島		NHK 総合		福島中央テレビ		福島テレビ		NHK 教育		福島放送
	会津若松	021	1	2	3	4	5	6	7	47	9	37	11	41
			NHK 総合		NHK 教育			福島テレビ		テレビユー福島		福島中央テレビ		福島放送
茨城	水戸	022	44	2	46	42	5	40	7	38	9	36	11	32
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ		TBS テレビ		フジテレビ		テレビ朝日		テレビ東京
	日立	023	52	2	50	54	5	56	7	58	9	60	11	62
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ		TBS テレビ		フジテレビ		テレビ朝日		テレビ東京
栃木	矢板	100	40	2	30	36	33	42	7	45	9	59	11	61
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ	とちぎテレビ	TBS テレビ		フジテレビ		テレビ朝日		テレビ東京
	宇都宮	101	51	2	49	53	5	55	7	57	31	41	11	44
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ		TBS テレビ		フジテレビ	とちぎテレビ	テレビ朝日		テレビ東京
群馬	前橋	025	52	2	50	54	40	56	7	58	9	60	48	62
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ	放送大学	TBS テレビ		フジテレビ		テレビ朝日	群馬テレビ	テレビ東京
	桐生	102	51	2	57	53	40	55	7	35	9	59	41	61
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ	放送大学	TBS テレビ		フジテレビ		テレビ朝日	群馬テレビ	テレビ東京
埼玉	さいたま	027	1	2	3	4	16	6	7	8	38	10	11	12
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ	放送大学	TBS テレビ		フジテレビ	テレビ埼玉	テレビ朝日		テレビ東京
	熊谷	103	51	2	35	53	5	55	16	57	30	59	11	61
			NHK 総合		NHK 教育	日本テレビ		TBS テレビ	放送大学	フジテレビ	テレビ埼玉	テレビ朝日		テレビ東京

	リモコン番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	都市名	地域番号	受信チャンネル 放送局名											
千葉	千葉	029	1 NHK 総合	2	3 NHK 教育	4 日本テレビ	16 放送大学	6 TBS テレビ	7	8 フジテレビ	42 テレビ神奈川	10 テレビ朝日	46 千葉テレビ	12 テレビ東京
東京	23 区	030	1 NHK 総合	2	3 NHK 教育	4 日本テレビ	14 東京メトロポリタン	6 TBS テレビ	38 テレビ埼玉	8 フジテレビ	42 テレビ神奈川	10 テレビ朝日	46 千葉テレビ	12 テレビ東京
	八王子	104	33 NHK 総合	2	29 NHK 教育	35 日本テレビ	40 東京メトロポリタン	37 TBS テレビ	7	31 フジテレビ	9	45 テレビ朝日	11	62 テレビ東京
	多摩	105	49 NHK 総合	2	47 NHK 教育	51 日本テレビ	61 東京メトロポリタン	53 TBS テレビ	7	55 フジテレビ	9	57 テレビ朝日	11	59 テレビ東京
神奈川	横浜	033	1 NHK 総合	2	3 NHK 教育	4 日本テレビ	16 放送大学	6 TBS テレビ	7	8 フジテレビ	42 テレビ神奈川	10 テレビ朝日	11	12 テレビ東京
	茅ヶ崎	034	33 NHK 総合	2	29 NHK 教育	35 日本テレビ	5	37 TBS テレビ	7	39 フジテレビ	31 テレビ神奈川	41 テレビ朝日	11	43 テレビ東京
	小田原	035	52 NHK 総合	2	50 NHK 教育	54 日本テレビ	5	56 TBS テレビ	7	58 フジテレビ	46 テレビ神奈川	60 テレビ朝日	11	62 テレビ東京
	秦野	036	47 NHK 総合	2	49 NHK 教育	51 日本テレビ	5	53 TBS テレビ	7	55 フジテレビ	61 テレビ神奈川	57 テレビ朝日	11	59 テレビ東京
新潟	新潟	037	21 新潟テレビ 21	2	29 テレビ新潟	4	5 新潟放送	6	7	8 NHK 総合	9	35 新潟総合テレビ	11	12 NHK 教育
	上越	038	1 NHK 教育	2	3 NHK 総合	4	5	37 新潟テレビ 21	7	27 テレビ新潟	9	10 新潟放送	11	33 新潟総合テレビ
富山	富山	039	1 北日本テレビ	2	3 NHK 総合	4	5	6	7	8	9	10 NHK 教育	32 チューリップ	34 富山テレビ
	高岡	040	50 北日本テレビ	2	48 NHK 総合	4	5	6	7	8	9	46 NHK 教育	42 チューリップ	44 富山テレビ
石川	金沢	041	1	2	3	4 NHK 総合	5	6 MRO テレビ	25 北陸朝日放送	8 NHK 教育	9	33 テレビ金沢	11	37 石川テレビ
福井	福井	042	39 福井テレビ	2	3 NHK 教育	4	5	6 MRO テレビ	7	8	9 NHK 総合	10	11 FBC テレビ	12
山梨	甲府	043	1 NHK 総合	2	3 NHK 教育	4	5 山梨放送	6	37 テレビ山梨	8	9	10	11	12
長野	長野	044	1	44 NHK 総合	50 長野朝日放送	4	40 テレビ信州	6	42 長野放送	8	46 NHK 教育	10	48 信越放送	12
	飯田	045	44 長野朝日放送	2	3 NHK 教育	4 NHK 総合	5	6 信越放送	7	42 テレビ信州	9	40 長野放送	11	12
	松本	046	1	44 NHK 総合	50 長野朝日放送	4	48 テレビ信州	6	42 長野放送	8	46 NHK 教育	10	40 信越放送	12
岐阜	岐阜	047	1 東海テレビ	2	39 NHK 総合	4	5 CBC テレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK 教育	10	11 メ~テレ	37 ぎふチャン
	各務原	106	1 東海テレビ	2	3 NHK 総合	4	5 CBC テレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK 教育	10	11 メ~テレ	41 ぎふチャン
静岡	静岡	049	1	2 NHK 教育	31 静岡第一テレビ	4	33 静岡朝日テレビ	6	35 テレビ静岡	8	9 NHK 総合	10	11 静岡放送	12
	浜松	050	1	30 静岡第一テレビ	3	4 NHK 総合	5	6 静岡放送	7	8 NHK 教育	9	28 静岡朝日テレビ	11	34 テレビ静岡
	富士	051	1	54 NHK 教育	27 静岡第一テレビ	4	29 静岡朝日テレビ	6	39 テレビ静岡	8	52 NHK 総合	10	41 静岡放送	12
	沼津	052	1	51 NHK 教育	61 静岡第一テレビ	4	57 静岡朝日テレビ	6	59 テレビ静岡	8	53 NHK 総合	10	55 静岡放送	12
	藤枝	053	1	44 NHK 教育	24 静岡第一テレビ	4	26 静岡朝日テレビ	6	38 テレビ静岡	8	42 NHK 総合	10	40 静岡放送	12
愛知	名古屋	054	1 東海テレビ	2	3 NHK 総合	4	5 CBC テレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK 教育	10	11 メ~テレ	25 テレビ愛知
	豊橋	055	56 東海テレビ	2	54 NHK 総合	4	62 CBC テレビ	6	58 中京テレビ	8	50 NHK 教育	10	60 メ~テレ	52 テレビ愛知
	豊田	056	57 東海テレビ	2	53 NHK 総合	4	55 CBC テレビ	6	59 中京テレビ	8	51 NHK 教育	10	61 メ~テレ	49 テレビ愛知
三重	津	057	1 東海テレビ	2	3 NHK 総合	4	5 CBC テレビ	6	35 中京テレビ	8	9 NHK 教育	33 三重テレビ	11 メ~テレ	25 テレビ愛知
滋賀	大津	058	1	28 NHK 総合	3	36 毎日テレビ	5	38 ABC テレビ	7	40 関西テレビ	9	42 読売テレビ	30 びわ湖放送	46 NHK 教育
	彦根	059	1	52 NHK 総合	3	54 毎日テレビ	56 びわ湖放送	58 ABC テレビ	7	60 関西テレビ	9	62 読売テレビ	11	50 NHK 教育

次のページに続く

都道府県	都市名	地域番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		リモコン番号	受信チャンネル 放送局名											
京都	京都 1	060	1	2 NHK 総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABC テレビ	34 京都テレビ	8 関西テレビ	26 奈良テレビ	10 読売テレビ	11	12 NHK 教育
	京都 2	098	32 NHK 京都	2 NHK 総合	34 京都テレビ	4 毎日テレビ	21 テレビ大阪	6 ABC テレビ	7	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	11	12 NHK 教育
大阪	大阪	061	1	2 NHK 総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABC テレビ	34 京都テレビ	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	30 テレビ和歌山	12 NHK 教育
兵庫	神戸	061	1	2 NHK 総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABC テレビ	34 京都テレビ	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	30 テレビ和歌山	12 NHK 教育
	姫路	062	1	50 NHK 総合	56 サンテレビ	54 毎日テレビ	5	58 ABC テレビ	7	60 関西テレビ	9	62 読売テレビ	11	52 NHK 教育
	明石	063	1	51 NHK 総合	55 サンテレビ	53 毎日テレビ	19 テレビ大阪	57 ABC テレビ	7	59 関西テレビ	9	61 読売テレビ	30 テレビ和歌山	49 NHK 教育
	川西	064	1	29 NHK 総合	33 サンテレビ	35 毎日テレビ	5	37 ABC テレビ	7	39 関西テレビ	9	41 読売テレビ	11	31 NHK 教育
奈良	奈良	065	51 (NHK 総合)	2 NHK 総合	36 サンテレビ	4 毎日テレビ	19 テレビ大阪	6 ABC テレビ	62 奈良テレビ	8 関西テレビ	55 (奈良テレビ)	10 読売テレビ	11	12 NHK 教育
和歌山	和歌山 1	107	1	32 NHK 総合	3	42 毎日テレビ	5	44 ABC テレビ	7	46 関西テレビ	9	48 読売テレビ	30 テレビ和歌山	25 NHK 教育
	和歌山 2	099	1	50 NHK 総合	3	54 毎日テレビ	5	58 ABC テレビ	7	60 関西テレビ	9	62 読売テレビ	56 テレビ和歌山	52 NHK 教育
鳥取	鳥取	067	1 日本海テレビ	2	3 NHK 総合	4 NHK 教育	5	6	7	24 山陰中央テレビ	9	22 BSS テレビ	11	12
島根	松江	068	30 日本海テレビ	2	34 山陰中央テレビ	4	5	6 NHK 総合	7	8	9	10 BSS テレビ	11	12 NHK 教育
	浜田	069	1	2 NHK 総合	54 日本海テレビ	4	5 BSS テレビ	6	7	58 山陰中央テレビ	9 NHK 教育	10	11	12
岡山	岡山	070	23 テレビせとうち	2	3 NHK 教育	4	5 NHK 総合	25 瀬戸内海テレビ	35 OHK テレビ	8	9 西日本放送	10	11 山陽放送	12
広島	広島	071	31 テレビ新広島	2	3 NHK 総合	4 RCC テレビ	5	6	7 NHK 教育	8	9	35 広島ホームテレビ	11	12 広島テレビ
	福山	072	5 NHK 総合	2	57 広島ホームテレビ	4	54 テレビ新広島	6	3 NHK 教育	8	9	7 RCC テレビ	11	11 広島テレビ
	呉	073	1 NHK 教育	2	24 広島ホームテレビ	4	5 広島テレビ	6	26 テレビ新広島	8	9 RCC テレビ	10	11 NHK 総合	12
山口	山口	074	1 NHK 教育	2	3	4	28 山口朝日放送	6	38 テレビ山口	8	9 NHK 総合	10	11 山口放送	12
	下関	075	41 NHK 教育	2 九州朝日放送	23 TVQ 九州放送	4 山口放送	21 山口朝日放送	6 (NHK 総合)	33 テレビ山口	8 RKB 毎日放送	39 NHK 総合	10 テレビ西日本	35 福岡放送	12 (NHK 教育)
	宇部	076	55 NHK 教育	2 九州朝日放送	3	4	24 山口朝日放送	6 (NHK 総合)	44 テレビ山口	8 RKB 毎日放送	58 NHK 総合	10 テレビ西日本	61 山口放送	12
	岩国	077	1 NHK 教育	2	3	4 RCC テレビ	62 テレビ山口	6	28 山口朝日放送	8	9 NHK 総合	10 南海テレビ	11 山口放送	12 広島テレビ
徳島	徳島	097	1 四国テレビ	2	3 NHK 総合	4 毎日テレビ	5	6 ABC テレビ	7	8 関西テレビ	9	10 読売テレビ	11	38 NHK 教育
香川	高松	078	33 瀬戸内海テレビ	2	39 NHK 教育	4	37 NHK 総合	6	31 OHK テレビ	8	41 西日本放送	10	29 山陽放送	19 テレビせとうち
愛媛	松山	079	1	2 NHK 教育	3	29 あいテレビ	25 愛媛朝日テレビ	6 NHK 総合	7	37 テレビ愛媛	9	10 南海テレビ	11	35 広島ホームテレビ
	新居浜	080	1	2 NHK 総合	3	4 NHK 教育	14 愛媛朝日テレビ	6 南海テレビ	7	36 テレビ愛媛	9	10	27 あいテレビ	12
	今治	081	1	30 NHK 教育	3	27 あいテレビ	14 愛媛朝日テレビ	32 NHK 総合	7	36 テレビ愛媛	9	34 南海テレビ	11	38 広島ホームテレビ
高知	高知	082	1	2	3	4 NHK 総合	5	6 NHK 教育	7	8 高知放送	9	38 テレビ高知	11	40 高知さんさんテレビ
福岡	福岡	083	1 九州朝日放送	2	3 NHK 総合	4 RKB 毎日放送	5	6 NHK 教育	7	8	9 テレビ西日本	10	19 TVQ 九州放送	37 福岡放送
	北九州	084	1	2 九州朝日放送	23 TVQ 九州放送	35 福岡放送	5	6 NHK 総合	7	8 RKB 毎日放送	9	10 テレビ西日本	11	12 NHK 教育
	久留米	085	57 九州朝日放送	2	46 NHK 総合	48 RKB 毎日放送	5	54 NHK 教育	7	8	60 テレビ西日本	10	14 TVQ 九州放送	52 福岡放送
	大牟田	086	58 九州朝日放送	19 TVQ 九州放送	53 NHK 総合	61 RKB 毎日放送	5	50 NHK 教育	7	8	55 テレビ西日本	10	43 福岡放送	12
佐賀	佐賀	087	19 TVQ 九州放送	36 サガテレビ	40 NHK 教育	38 NHK 総合	48 RKB 毎日放送	52 福岡放送	57 九州朝日放送	60 テレビ西日本	9 (NHK 総合)	10	11 熊本放送	12

都道府県	都市名	地域番号 \ リモコン番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			受信チャンネル 放送局名											
長崎	長崎	088	1 NHK 教育	2	3 NHK 総合	4	5 長崎放送	6	37 テレビ長崎	8	27 長崎文化放送	10	25 長崎国際テレビ	12
長崎	佐世保	089	1	2 NHK 教育	3	17 長崎国際テレビ	5	31 長崎文化放送	7	8 NHK 総合	9	10 長崎放送	11	35 テレビ長崎
熊本	熊本	090	1	2 NHK 教育	16 熊本朝日放送	4	22 熊本県民テレビ	6	34 テレビ熊本	8	9 NHK 総合	10	11 熊本放送	12
大分	大分	091	1 (NHK 教育)	2	3 NHK 総合	34 あいテレビ	5 大分テレビ	6 (NHK 総合)	36 テレビ大分	32 テレビ愛媛	24 大分朝日放送	10 南海テレビ	11	12 NHK 教育
宮崎	宮崎	092	1	2	3	4	5	35 テレビ宮崎	7	8 NHK 総合	9	10 宮崎放送	11	12 NHK 教育
宮崎	延岡	093	1	2 NHK 教育	3	4 NHK 総合	5	6 宮崎放送	7	39 テレビ宮崎	9	10	11	12
鹿児島	鹿児島	094	1 南日本放送	2	3 NHK 総合	4	5 NHK 教育	6	32 鹿児島放送	8	38 鹿児島テレビ	10	30 鹿児島読売テレビ	12
鹿児島	阿久根	095	1	17 鹿児島読売テレビ	3	23 鹿児島放送	5	35 鹿児島テレビ	7	8 NHK 総合	9	10 南日本放送	11	12 NHK 教育
沖縄	那覇	096	1	2 NHK 総合	3	4	5	6	7	8 沖縄テレビ	28 琉球朝日放送	10 琉球放送テレビ	11	12 NHK 教育

◇おしらせ◇

• 地域番号別に設定されたリモコン番号と受信チャンネル·放送局名は、当社が 2007 年 2 月に調査した結果によるものです。

その他の地域番号 （＊印のチャンネルはスキップされません。）

• 地域番号は「000」から「107」までありますが、次の番号に該当する地域はありません。

リモコン番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
地域番号	受信チャンネル											
024	＊29	2	＊27	＊25	5	＊23	7	＊21	＊31	＊19	11	＊17
026	＊43	2	＊45	＊39	＊40	＊37	7	＊35	9	＊33	＊41	＊31
028	＊33	2	＊35	＊25	5	＊23	＊16	＊21	＊28	＊19	11	＊17
031	＊51	2	＊49	＊53	＊47	＊55	7	＊57	9	＊59	11	＊61
032	＊30	2	＊32	＊26	＊28	＊24	7	＊22	9	＊20	11	＊18
048	＊1	2	＊3	4	＊5	6	＊35	8	＊9	10	＊11	＊28
066	1	＊32	3	＊42	5	＊44	7	＊46	9	＊48	＊30	＊26

MY家電登録のご案内

詳しくはホームページで →

http://iclub.sharp.co.jp/m/

SHARP i CLUBは、お客様がご愛用のシャープ製品について、便利な使い方や、製品のサポート・サービス、キャンペーンなど、一人ひとりに合ったサービスをご利用いただける会員様向けサイトです。

ぜひ、ご登録ください。

■ 廃棄時のご注意

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ（ブラウン管式、液晶式、プラズマ式）を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

■ よくあるご質問などは パソコンから検索できます

パソコン

http://www.sharp.co.jp/support/

シャープ　お問い合わせ　検索

使い方や修理のご相談など

【お客様相談センター】

0120 - 001 - 251

携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

■IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

電話：043 - 331 - 1626　FAX：043 - 297 - 2696

〒261-8520　千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2

受付時間　●月曜～土曜:**9:00～20:00**　●日曜・祝日:**9:00～17:00**　（年末年始を除く）

●電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。
●電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。(2011.6)

シャープ株式会社

本　　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
AVシステム事業本部　〒329-2193　栃木県矢板市早川町174番地

アメリカ大豆協会認定の大豆油インキを使用しています。
この取扱説明書は環境に配慮した森林認証紙を使用しています。

TINS-F076WJZZ
11P06-JA-OS